

行政評価報告書

- ◇ 「大竹市民の幸せ感に関するアンケート」調査結果（政策評価）
- ◇ 総合戦略（後期基本計画実施計画）における重要業績評価指標（KPI）の達成状況（施策評価）
- ◇ 総合戦略（後期基本計画実施計画）における指標の達成状況（事業評価）



大 竹 市

令和元年（2019年）12月作成

目 次

第 1 章 「大竹市民の幸せ感に関するアンケート」調査報告書

| | | |
|-----|------------------------------|----|
| I | 調査の概要 | 1 |
| 1 | 調査の目的 | 1 |
| 2 | 調査の内容 | 1 |
| 3 | 調査項目 | 4 |
| 4 | その他 | 4 |
| II | アンケート分析 | 5 |
| A | 「一般回答分」について | 5 |
| 1 | 総括（全体）分析 | 5 |
| | （1）「わがまちプラン」基本目標関連項目（問1）について | 8 |
| | （2）市民自治（問2）について | 13 |
| 2 | 属性別分析 | 14 |
| | （1）性別 | 14 |
| | （2）年齢 | 16 |
| | （3）住所 | 19 |
| | （4）居住年数 | 20 |
| | （5）今後の居留意向 | 22 |
| 3 | 「わがまちプラン」中の数値の動き | 24 |
| | （1）項目毎の推移 | 24 |
| | （2）設問毎の推移 | 25 |
| B | 「モニター回答分」について | 28 |
| 1 | 総括（全体）分析 | 28 |
| | （1）「わがまちプラン」基本目標関連項目（問1）について | 29 |
| | （2）市民自治（問2）について | 31 |
| | （3）一般の回答との比較 | 31 |
| III | 自由記述「幸せ感に関するご意見、ご提案」など | 32 |
| 1 | 個別の設問に関する回答（問1） | 32 |
| 2 | 市民自治について（問2） | 38 |
| 3 | 心配に思っていることと解消する方法（問3） | 40 |
| 4 | 大竹市での「イチオシ」（問4） | 51 |
| 5 | 幸せを感じる時（問5） | 53 |
| IV | 資料 | |
| 1 | アンケート調査用紙（一般用） | 56 |
| 2 | アンケート調査用紙（モニター用） | 64 |

第2章 総合戦略（後期基本計画実施計画）における重要業績評価指標（KPI）及び指標の達成状況

| | | |
|-----|--------------------|----|
| I | 概要 | 70 |
| 1 | 内容 | 70 |
| 2 | 数値の見方 | 70 |
| II | 重要業績評価指標（KPI）の達成状況 | 72 |
| III | 指標の達成状況 | 89 |



大好き  おおたけ
笑顔♪元氣いつまでも

第1章 「大竹市民の幸せ感に関するアンケート」 調査報告書

I 調査の概要

1 調査の目的

このアンケートは、市民の誇りや幸せ感を高め、第五次大竹市総合計画「わがまちプラン（平成23年3月策定）」のまちづくりのテーマである「大竹市に住んでよかった」と思えるようなまちづくりに役立てるため、本市の政策評価として平成23年度から実施しています。

また、アンケートは、市民が心配や不安に思っていることを解消することで、市民の幸せ感に関するポイントを上げることを目標に、モニター登録*いただいた市民の皆さんのご協力も得ながら、わがまちプランの計画期間中（平成23年度～令和2年度）に継続して実施します。

モニター登録・・・モニターは当初、前期・後期の5年ずつで考えていましたが、前年比較を続けるにあたっては、10年間同じ方をお願いする方が長い間の動きがわかるため、平成27年度分以降は、原則平成26年度に引き続き、モニターとして協力いただける方にお送りしています
※ 転出等によりモニターから除いている場合があります。
※ モニター用アンケートを送付したのは、187人です。

2 調査の内容

(1) 調査対象

大竹市内に在住する満18歳以上の男女
(住民基本台帳法に基づく登録者)

(2) 標本数

- ①一般 1,500人
- ②モニター 187人

(3) 抽出方法

- ①一般
地区別層化抽出：1,000人
20歳以上50歳未満から抽出：500人
(いずれも令和元年5月10日現在)
- ②モニター
モニター登録者187人

(4) 調査方法

調査用紙の発送・回収ともに郵送方式

(5) 調査期間

令和元年6月1日(土)～6月21日(金)
(期限後の返信が多数あったため、集計は、7月23日(火)消印分まで実施。)

(6) 有効回答数及び回収率

- ①一般 395件(26.3%)
- ②モニター 133件(71.1%)

(7) 回答者構成

①一般

| 属 性 | | 人 数 | 構成割合 |
|---|---|-------|--------|
| 性別 | 男 | 182 人 | 46.1 % |
| | 女 | 208 人 | 52.7 % |
| | 無回答 | 5 人 | 1.3 % |
| 年齢 | 18～29 歳 | 24 人 | 6.1 % |
| | 30～39 歳 | 37 人 | 9.4 % |
| | 40～49 歳 | 34 人 | 8.6 % |
| | 50～59 歳 | 49 人 | 12.4 % |
| | 60～69 歳 | 77 人 | 19.5 % |
| | 70 歳以上 | 171 人 | 43.3 % |
| | 無回答 | 3 人 | 0.8 % |
| 住所 | 新町, 油見, 本町, 白石, 元町, 大竹町, 木野 | 127 人 | 32.2 % |
| | 西栄, 南栄, 東栄, 北栄 | 59 人 | 14.9 % |
| | 立戸, 御幸町, 御園, 御園台, 小方, 晴海, 黒川, 港町, 三ツ石町, 小方町, 小方ヶ丘 | 111 人 | 28.1 % |
| | 阿多田 | 4 人 | 1.0 % |
| | 防鹿, 穂仁原, 比作, 安条, 前飯谷, 後飯谷 | 4 人 | 1.0 % |
| | 玖波, 玖波町, 湯舟町 | 76 人 | 19.2 % |
| | 松ヶ原町 | 3 人 | 0.8 % |
| | 栗谷町 | 5 人 | 1.3 % |
| | 無回答 | 6 人 | 1.5 % |
| 住んで いる 何 年 前 か ら | 3 年未満 | 27 人 | 6.8 % |
| | 3～10 年 | 50 人 | 12.7 % |
| | 11～20 年 | 51 人 | 12.9 % |
| | 21～30 年 | 52 人 | 13.2 % |
| | 31～40 年 | 67 人 | 17.0 % |
| | 41 年以上 | 145 人 | 36.7 % |
| | 無回答 | 3 人 | 0.8 % |
| 大竹に 住む か こ れ か ら も | ずっと住み続けるつもり | 281 人 | 71.1 % |
| | 当分の間は住むつもり | 56 人 | 14.2 % |
| | 将来的には転居したい | 18 人 | 4.6 % |
| | 近いうちには転居するつもり | 4 人 | 1.0 % |
| | わからない | 34 人 | 8.6 % |
| | 無回答 | 2 人 | 0.5 % |

②モニター

| 属性 | | 人数 | 構成割合 |
|--------------------|---|-------|--------|
| 性別 | 男 | 65 人 | 48.9 % |
| | 女 | 67 人 | 50.4 % |
| | 無回答 | 1 人 | 0.8 % |
| 年齢 | 18～29 歳 | 1 人 | 0.8 % |
| | 30～39 歳 | 8 人 | 6.0 % |
| | 40～49 歳 | 15 人 | 11.3 % |
| | 50～59 歳 | 14 人 | 10.5 % |
| | 60～69 歳 | 24 人 | 18.0 % |
| | 70 歳以上 | 70 人 | 52.6 % |
| | 無回答 | 1 人 | 0.8 % |
| 住所 | 新町, 油見, 本町, 白石, 元町, 大竹町, 木野 | 61 人 | 45.9 % |
| | 西栄, 南栄, 東栄, 北栄 | 18 人 | 13.5 % |
| | 立戸, 御幸町, 御園, 御園台, 小方, 晴海, 黒川, 港町, 三ツ石町, 小方町, 小方ヶ丘 | 32 人 | 24.1 % |
| | 阿多田 | 1 人 | 0.8 % |
| | 防鹿, 穂仁原, 比作, 安条, 前飯谷, 後飯谷 | 1 人 | 0.8 % |
| | 玖波, 玖波町, 湯舟町 | 16 人 | 12.0 % |
| | 松ヶ原町 | — | — |
| | 栗谷町 | 3 人 | 2.3 % |
| | 無回答 | 1 人 | 0.8 % |
| 住んで いる 何年前から | 3 年未満 | 3 人 | 2.3 % |
| | 3～10 年 | 9 人 | 6.8 % |
| | 11～20 年 | 17 人 | 12.8 % |
| | 21～30 年 | 14 人 | 10.5 % |
| | 31～40 年 | 21 人 | 15.8 % |
| | 41 年以上 | 68 人 | 51.1 % |
| | 無回答 | 1 人 | 0.8 % |
| 大竹に住むか これから | ずっと住み続けるつもり | 103 人 | 77.4 % |
| | 当分の間は住むつもり | 17 人 | 12.8 % |
| | 将来的には転居したい | 2 人 | 1.5 % |
| | 近いうちには転居するつもり | 4 人 | 3.0 % |
| | わからない | 6 人 | 4.5 % |
| | 無回答 | 1 人 | 0.8 % |

3 調査項目

(1) 回答者の属性

性別、年齢、住所、大竹市居住年数、今後の居留意向

(2) 大竹市について普段思っていること（問1）

次のわがまちプランの基本目標に関連する項目①～⑤について、それぞれ設定した幸せ感の尺度から、各項目3設問について回答をいただきました。

※ 一般については、「はい」・「いいえ」の2択及び自由記述。

※ モニターについては、特に1年前と比べてどうかという視点で、「そう思う」・「少し思う」・「どちらでもない」・「あまり思わない」・「そう思わない」の5択。

【幸せ感の尺度】

①項目「生活基盤が整ったまち」について

（幸せ感の尺度：「うれしい」、「便利だ」、「ありがたい」）

②項目「安全なまち」について

（幸せ感の尺度：「ほっとする」、「ありがたい」）

③項目「安心できるまち」について

（幸せ感の尺度：「ほっとする」、「うれしい」、「ありがたい」、「充実感がある」）

④項目「心にゆとりを感じるまち」について

（幸せ感の尺度：「うれしい」、「楽しい」、「心地よい」）

⑤項目「大竹を愛する人づくり」について

（幸せ感の尺度：「うれしい」、「好きだ」）

(3) 「市民自治」についての考え（問2）

※ 一般、モニターいずれも問1と同様

(4) 普段の生活で心配なことと、その解消方法（問3）

※ 一般のみ自由記述

(5) 大竹市での「イチオシ」について（一般…問4、モニター…問3）

※ 一般、モニターいずれも自由記述

(6) 幸せを感じる時（問5）

※ 一般のみ自由記述

4 その他

百分率は小数点第2位を四捨五入して小数点第1位まで示しており、百分率の合計が100%とならない場合があります。また、性別や年齢などの基本情報等が未記入の場合は、その条件による分析ができず、数値に反映することができないため、回答者総数と回答数が一致しない場合があります。

平成26年度までは、記述時点での状況を回答していただき、実施年度としていましたが、平成27年度からは、前年度を振り返って回答していただくよう変更しています。

II アンケート分析

A 「一般回答分」について

1 総括（全体）分析

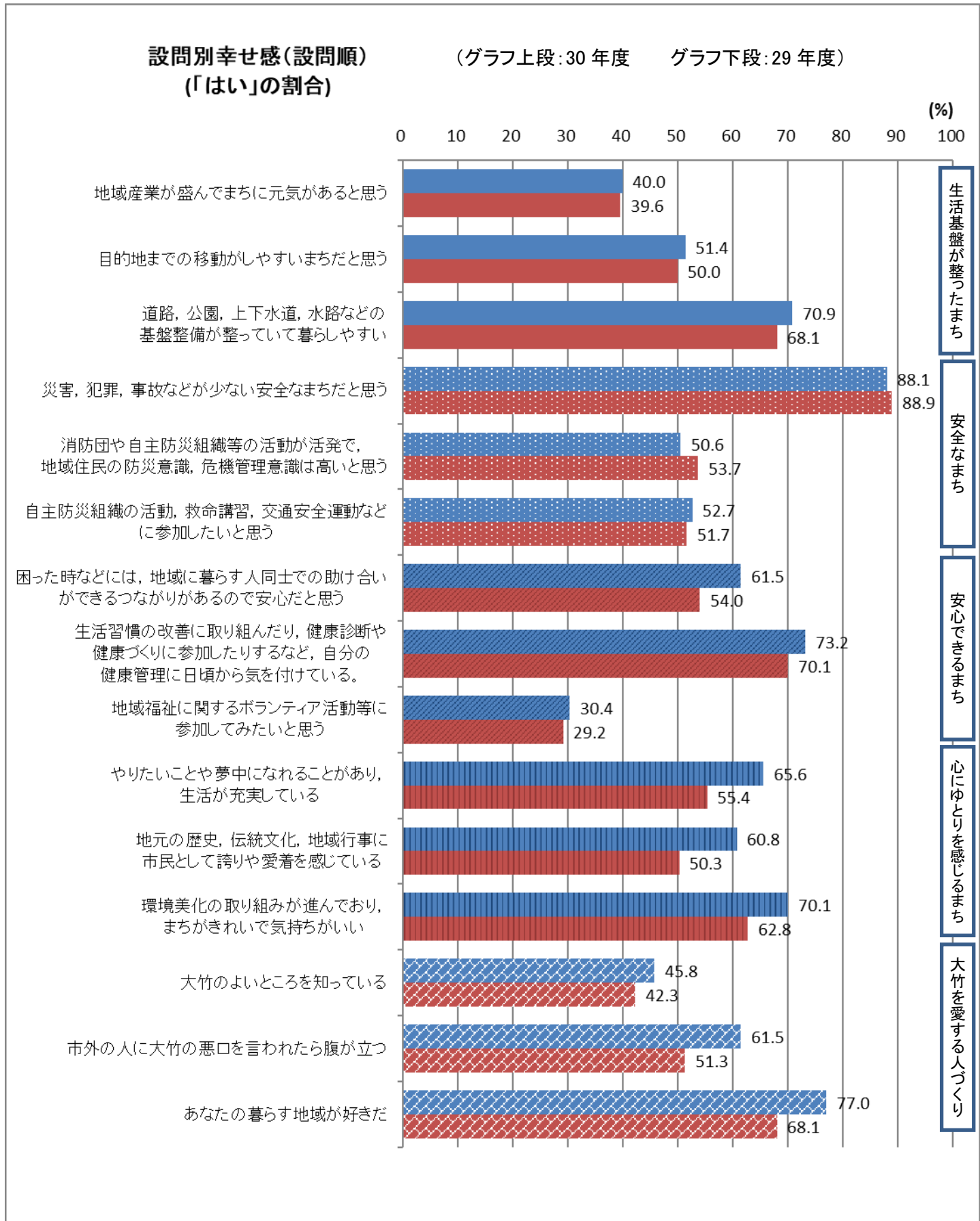
単純集計結果（問・項目・設問別幸せ感）

| 問番号 と項目 | 設 問 | H30 | | | | | | H29 | | | | | | 全項目 での 「はい」 の順位 変動 | | | | |
|------------|--|---|-------------|-------------|---------------|--------|---------------|--------|---------------|--------|---------------|--------|---|--------------------------------|---|---|---|---|
| | | 回答数(人) | | | 設問の 「はい」 | | 項目の 「はい」 | | 設問の 「はい」 | | 項目の 「はい」 | | | | | | | |
| | | は い | い い え | 無 回 答 | 割 合 (%) | 順 位 | 割 合 (%) | 順 位 | 割 合 (%) | 順 位 | 割 合 (%) | 順 位 | | | | | | |
| 問 1 | 生活基盤 が整った まち | 地域産業が盛んでまちに元 気があると思う | 158 | 218 | 19 | 40.0 | 14 | 54.1 | 5 | 39.6 | 14 | 52.6 | 4 | ↘ | | | | |
| | | 目的地までの移動がしやす いまちだと思う | 203 | 184 | 8 | 51.4 | 11 | | | 50.0 | 12 | | | | | | | |
| | | 道路、公園、上下水道、水 路などの基盤整備が整っ ていて暮らしやすい | 280 | 104 | 11 | 70.9 | 4 | | | 68.1 | 3 | | | | | | | |
| | 安 全 な ま ち | 災害、犯罪、事故などが少 ない安全なまちだと思う | 348 | 40 | 7 | 88.1 | 1 | 63.8 | 2 | 88.9 | 1 | 64.8 | 1 | | ↘ | | | |
| | | 消防団や自主防災組織等 の活動が活発で、地域住 民の防災意識、危機管理 意識は高いと思う | 200 | 175 | 20 | 50.6 | 12 | | | 53.7 | 8 | | | | | | | |
| | | 自主防災組織の活動、救 命講習、交通安全運動な どに参加したいと思う | 208 | 174 | 13 | 52.7 | 10 | | | 51.7 | 9 | | | | | | | |
| | 安 ま き 心 る ち | 困った時などには、地域に 暮らす人同士での助け合 いができるつながりがある ので安心だと思う | 243 | 133 | 19 | 61.5 | 7 | 55.0 | 4 | 54.0 | 7 | 51.1 | 5 | | | ↗ | | |
| | | 生活習慣の改善に取り組 んだり、健康診断や健康づ くりに参加したりするなど、 自分の健康管理に日頃か ら気を付けている | 289 | 97 | 9 | 73.2 | 3 | | | 70.1 | 2 | | | | | | | |
| | | 地域福祉に関するボラン ティア活動等に参加してみ たいと思う | 120 | 255 | 20 | 30.4 | 15 | | | 29.2 | 15 | | | | | | | |
| | 心 ゆ と り 感 ま に を る ち | やりたいことや夢中になれ ることがあり、生活が充実 している | 259 | 120 | 16 | 65.6 | 6 | 65.5 | 1 | 55.4 | 6 | 56.2 | 2 | | | | ↗ | |
| | | 地元の歴史、伝統文化、地 域行事に市民として誇りや 愛着を感じている | 240 | 144 | 11 | 60.8 | 9 | | | 50.3 | 11 | | | | | | | |
| | | 環境美化の取り組みが進 んでおり、まちがきれいで 気持ちがいい | 277 | 104 | 14 | 70.1 | 5 | | | 62.8 | 5 | | | | | | | |
| | 大 竹 を る す 人 づ く り | 大竹のよいところを知っ ている | 181 | 181 | 33 | 45.8 | 13 | 61.4 | 3 | 42.3 | 13 | 53.9 | 3 | | | | | → |
| | | 市外の人に大竹の悪口を 言われたら腹が立つ | 243 | 134 | 18 | 61.5 | 7 | | | 51.3 | 10 | | | | | | | |
| | | あなたの暮らす地域が好き だ | 304 | 74 | 17 | 77.0 | 2 | | | 68.1 | 3 | | | | | | | |
| 問1全体 | | 3,553 | 2,137 | 235 | 60.0% | | | 55.7% | | | | | | | | | | |
| 問 2 | 市民自治 | あなたの暮らす地域のこと に普段から興味をもってい る | 224 | 135 | 36 | 56.7 | 48.6 | | 54.0 | 47.0 | | | | | | | | |
| | | 自分もできれば何か地域の 役に立てるようなことをや ってみたい | 160 | 189 | 46 | 40.5 | | | 39.9 | | | | | | | | | |

前年度との比較表（設問別幸せ感）①

| 問・項目 | 設問 | H30 | | H29 | | 前年度からの動き | | | |
|---------|-------------------------------|---|------|------------|------|------------|-------|---|---|
| | | 「はい」の割合(%) | 左の順位 | 「はい」の割合(%) | 左の順位 | 「はい」の割合(%) | 順位 | | |
| 問1 | 生活基盤が整ったまち | 地域産業が盛んでまちに元気があると思う | 40.0 | 14 | 39.6 | 14 | 0.4 | ↗ | → |
| | | 目的地までの移動がしやすいまちだと思う | 51.4 | 11 | 50.0 | 12 | 1.4 | ↗ | ↗ |
| | | 道路、公園、上下水道、水路などの基盤整備が整っていて暮らしやすい | 70.9 | 4 | 68.1 | 3 | 2.8 | ↗ | ↘ |
| | 安全なまち | 災害、犯罪、事故などが少ない安全なまちだと思う | 88.1 | 1 | 88.9 | 1 | △ 0.8 | ↘ | → |
| | | 消防団や自主防災組織等の活動が活発で、地域住民の防災意識、危機管理意識は高いと思う | 50.6 | 12 | 53.7 | 8 | △ 3.1 | ↘ | ↘ |
| | | 自主防災組織の活動、救命講習、交通安全運動などに参加したいと思う | 52.7 | 10 | 51.7 | 9 | 1.0 | ↗ | ↘ |
| | 安心できるまち | 困った時などには、地域に暮らす人同士での助け合いができるつながりがあるので安心だと思う | 61.5 | 7 | 54.0 | 7 | 7.5 | ↗ | → |
| | | 生活習慣の改善に取り組んだり、健康診断や健康づくりに参加したりするなど、自分の健康管理に日頃から気を付けている | 73.2 | 3 | 70.1 | 2 | 3.1 | ↗ | ↘ |
| | | 地域福祉に関するボランティア活動等に参加してみたいと思う | 30.4 | 15 | 29.2 | 15 | 1.2 | ↗ | → |
| | 心にゆとりを感じるまち | やりたいことや夢中になれることがあり、生活が充実している | 65.6 | 6 | 55.4 | 6 | 10.2 | ↗ | → |
| | | 地元の歴史、伝統文化、地域行事に市民として誇りや愛着を感じている | 60.8 | 9 | 50.3 | 11 | 10.5 | ↗ | ↗ |
| | | 環境美化の取り組みが進んでおり、まちがきれいで気持ちがいい | 70.1 | 5 | 62.8 | 5 | 7.3 | ↗ | → |
| | 大竹を愛する人づくり | 大竹のよいところを知っている | 45.8 | 13 | 42.3 | 13 | 3.5 | ↗ | → |
| | | 市外の人に大竹の悪口を言われたら腹が立つ | 61.5 | 7 | 51.3 | 10 | 10.2 | ↗ | ↗ |
| | | あなたの暮らす地域が好きだ | 77.0 | 2 | 68.1 | 3 | 8.9 | ↗ | ↗ |
| 問2 市民自治 | あなたの暮らす地域のことに普段から興味をもっている | 56.7 | / | 54.0 | / | 2.7 | ↗ | / | |
| | 自分もできれば何か地域の役に立てるようなことをやってみたい | 40.5 | / | 39.9 | / | 0.6 | ↗ | / | |

前年度との比較表（設問別幸せ感）②



- 問1の各設問において、「はい」と答えた人の割合を算出し、その値が高いほど、市民の幸せ感も高いと判断します。
- 問2（市民自治）については、「はい」と答えた人の割合が高いほど、「まちづくりを自分自身の問題として捉え、行政と一緒に考え行動する」わがまちプランに定める市民自治の理念が広まっていると判断します。

アンケートは、この割合を用いて、市民が普段の生活で感じている幸せ、あるいは心配な部分について分析を行います。毎年度異なる人にご協力をいただいておりますので、経年比較は傾向としてとらえることになります。

(1)「わがまちプラン」基本目標関連項目（問1）について

問1設問全体で、「はい」と答えた人の割合は、60.0%となっています。

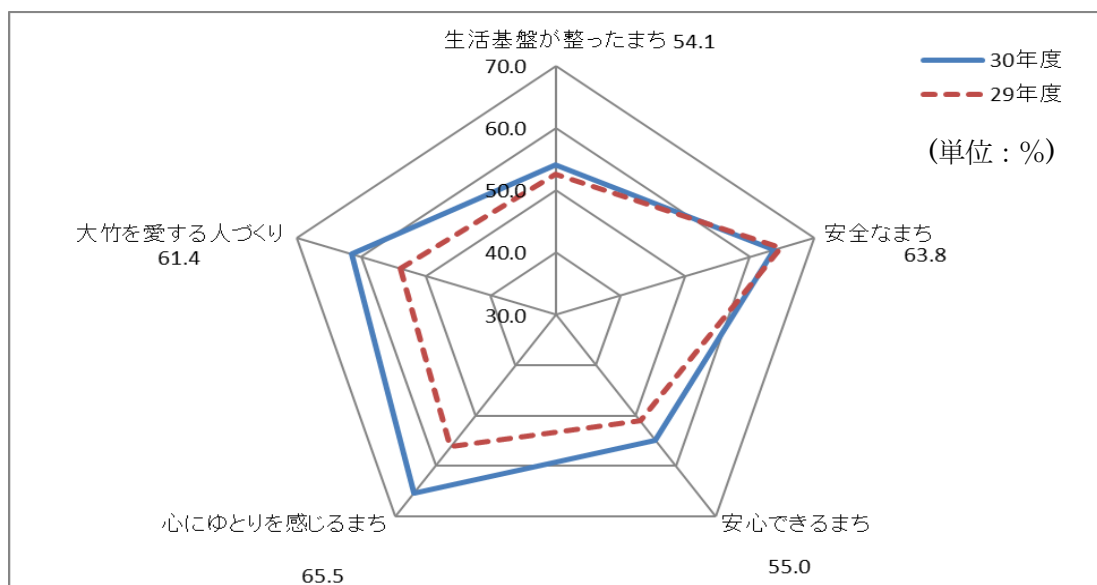
漠然とではありますが、6割の人が幸せを感じながら日々の生活を送っているようです。前年度より4.3ポイント上がる結果となりました。

①項目別順位

項目比較での幸せ感の順位は、次のとおりです。前年度と比べると3位以外は順位が変動しました。「安全なまち」以外の全項目でポイントが上がっており、中でも「心にゆとりを感じるまち」は、前年度に比べ9.3ポイント増加し、最も大きな伸びとなっています。

「安全なまち」は、1.0ポイント減少したものの、大きな変動ではないため、全体的に前年よりも幸せを感じている人が増えているものと思われます。

| 順位 | 項目 | H30 割合（対前年比較） | H29 割合（順位） |
|----|-------------|---------------|------------|
| 1 | 心にゆとりを感じるまち | 65.5%（↑9.3） | 56.2%（2） |
| 2 | 安全なまち | 63.8%（↓1.0） | 64.8%（1） |
| 3 | 大竹を愛する人づくり | 61.4%（↑7.5） | 53.9%（3） |
| 4 | 安心できるまち | 55.0%（↑3.9） | 51.1%（5） |
| 5 | 生活基盤が整ったまち | 54.1%（↑1.5） | 52.6%（4） |



②設問別順位

幸せ感の上位3位及び下位3位の設問の状況は、次のとおりです。

多少の順位の変動はありますが、上位3位及び下位3位の設問は8年間同じになりました。

| 順位 []内は前年度 | 設 問 | 割合(%) []内は前年度 |
|----------------|---|-------------------|
| 1 [1] | 災害、犯罪、事故などが少ない安全なまちだと思う | 88.1 [88.9] |
| 2 [3] | あなたの暮らす地域が好きだ | 77.0 [68.1] |
| 3 [2] | 生活習慣の改善に取り組んだり、健康診断や健康づくりに参加したりするなど、自分の健康管理に日頃から気を付けている | 73.2 [70.1] |
| . | . | . |
| . | . | . |
| 13 [13] | 大竹のよいところを知っている | 45.8 [42.3] |
| 14 [14] | 地域産業が盛んでまちに元気があると思う | 40.0 [39.6] |
| 15 [15] | 地域福祉に関するボランティア活動等に参加してみたいと思う | 30.4 [29.2] |

③特徴

項目「生活基盤が整ったまち」（5位：54.1%）

「地域産業が盛んでまちに元気があると思う」（14位：40.0%）は、前年度と同じ順位ですが、0.4ポイント増加しています。

また、「道路、公園、上下水道、水路などの基盤整備が整っていて暮らしやすい」（4位：70.9%）は、前年度より順位を1つ下げたものの、2.8ポイント増加していることから幸せ感は増していると考えられます。

項目の順位としては最下位となりましたが、これは他の項目の幸せ感が上がったためと考えられます。項目の幸せ感は1.5ポイント増加し、幸せを感じる人の割合は増えています。

項目「安全なまち」（2位：63.8%）

「災害、犯罪、事故などが少ない安全なまちだと思う」（1位：88.1%）は、前年度より0.8ポイント下がりましたが、2位とのポイント差は11.1ポイントあり、依然として他の設問に比べ幸せ感が高くなっています。

「消防団や自主防災組織等の活動が活発で、地域住民の防災意識、危機管理意識は高いと思う」（12位：50.6%）は前年度の8位から4つ順位を下げました。幸せ感も前年度から3.1ポイント減少し、順位・幸せ感とも最も変動が大きくなっています。

前年度から幸せ感を下げたのは、この項目の設問だけです。結果、項目の幸せ感も1.0ポイント減少し、順位を1つ下げる結果となりました。

項目「安心できるまち」(4位:55.0%)

「困った時などには、地域に暮らす人同士での助け合いができるつながりがあるので安心だと思う」(7位:61.5%)は、前年度と同順位でしたが、7.5ポイント増加し、6割を超えました。アンケート開始以来2番目に高い幸せ感になりました。

「生活習慣の改善に取り組んだり、健康診断や健康づくりに参加したりするなど、自分の健康管理に日頃から気を付けている」(3位:73.2%)は、前年度と比べて順位が1つ下がりましたが、3.1ポイント増加しており、幸せを感じている人の割合は増えています。

「地域福祉に関するボランティア活動等に参加してみたいと思う」(15位:30.4%)は、前年度から1.2ポイント増加し3割を超えましたが、幸せ感は依然として最も低くなっています。

項目「心にゆとりを感じるまち」(1位:65.5%)

「やりたいことや夢中になれることがあり、生活が充実している」(6位:65.6%)と「環境美化の取り組みが進んでおり、まちがきれいで気持ちがいい」(5位:70.1%)は、前年度と同順位ですが、それぞれ10.2ポイント、7.3ポイント増加しました。

「地元の歴史、伝統文化、地域行事に市民として誇りや愛着を感じている」(9位:60.8%)は、前年度の11位から順位を2つ上げました。また、幸せ感は10.5ポイント増加し、全体で一番の伸びとなっています。

この結果、項目全体としても一番の伸びとなり9.3ポイント増加しました。

項目「大竹を愛する人づくり」(3位:61.4%)

「大竹のよいところを知っている」(13位:45.8%)は、前年度より3.5ポイント増加したものの、前年度と同順位で依然として低い水準となっています。

「市外の人に大竹の悪口を言われたら腹が立つ」(7位:61.5%)は、前年度から10.2ポイント増加し、順位は3つ上がりました。

「あなたの暮らす地域が好きだ」(2位:77.0%)は、前年度から8.9ポイント増加し、順位は1つ上がりました。

この結果、項目の順位は3位と変わりありませんが、前年度と比べて幸せ感が7.5ポイント増加し、全項目の中で2番目の伸びとなりました。

④特徴(設問と問3の自由記述(P43~55)[設問に付随した心配に思っていること]から)

項目「生活基盤が整ったまち」

◆ 設問「地域産業が盛んでまちに元気があると思う」(14位)

15設問中14位で、幸せ感も40.0%と、平均値を20.0ポイントも下回っています。駅前や商店街など身近なところを参考に回答された人が多いようで、昔に比べて個人商店が減り近所で買い物をするところが少なくなってきたことなどを心配する意見が多く見られました。また、少子化や人口減少により、まちに元気がなくなってきたという意見もありました。

◆ 設問「目的地までの移動がしやすいまちだと思う」(11位)

前年度より1つ順位を上げましたが、ポイントはほぼ横ばいとなりました。高齢で

免許を返納した等の理由により、車を運転できなくなった時が心配という意見が多くなっています。バスの増便やエリア・ルートの見直しなど、公共交通機関の充実について、様々な意見が出ています。また、渋滞の改善、乗り合いタクシー、小方駅の設置などを求める意見も寄せられました。

- ◆ 設問「道路、公園、上下水道、水路などの基盤整備が整っていて暮らしやすい」（4位）
順位は1つ下がりましたが、前年度から2.8ポイント増加し、7割を超える人が暮らしやすさを感じています。一方で、豪雨による道路等の冠水を防ぐ下水の整備、公園や道路の整備を要望する意見が寄せられました。

項目「安全なまち」

- ◆ 設問「災害、犯罪、事故などが少ない安全なまちだと思う」（1位）
前年度と比べると0.8ポイント減少していますが、88.1%という高い幸せ感で、常に上位を保っています。今年度は平均値を28.1ポイント上回り、2位との差も10ポイント以上開く結果となりました。しかし、これから起こるかもしれない大地震や近年増加している豪雨等が引き起こす災害への心配、イノシシやクマ等の野生動物の出現への不安は少なからずありました。
- ◆ 設問「消防団や自主防災組織等の活動が活発で、地域住民の防災意識、危機管理意識は高いと思う」（12位）
この設問は、前年度と比べて順位が全項目の中で最も変動し、4つ下げました。しかし、幸せ感としては3.1ポイントの減少にとどまり、5割を超える人が防災意識、危機管理意識は高いと感じています。
また、不安を感じている約半数の人の意見として、災害が少ない「安全なまち」であるが故に、防災意識が低いという声や、消防団や自主防災組織等の活動について、よくわからないという意見がありました。
- ◆ 設問「自主防災組織の活動、救命講習、交通安全運動などに参加したいと思う」（10位）
幸せ感は52.7%と前年度とほぼ同じですが、順位は1つ下がりました。ただ、「いいえ」と答えた人の中にも、近年災害等が増えてきていることから、救命講習や防災訓練等に時間があれば参加したいという意見もありました。

項目「安心できるまち」

- ◆ 設問「困った時などには、地域に暮らす人同士での助け合いができるつながりがあるので安心だと思う」（7位）
前年度より7.5ポイント増加しましたが、順位に変動はありませんでした。6割以上の人が安心だと感じている一方で、高齢化や地域住民のつながりの希薄化により、困った時に相談できる人がいないという意見も多くありました。
- ◆ 設問「生活習慣病の改善に取り組んだり、健康診断や健康づくりに参加したりするなど、自分の健康管理に日頃から気を付けている」（3位）
順位は前年度から1つ下がりましたが、3.1ポイント増加しました。健康については多くの人に関心を持ち、例年高水準を保っています。病院の充実や、参加型の健康増進イベントの開催を希望する声もありました。

◆ 設問「地域福祉に関するボランティア活動等に参加してみたいと思う」(15位)

前年度より1.2ポイント増加しましたが、最下位が続いています。そういった中で、災害ボランティアや、地域の清掃活動等に参加しているなどの積極的な回答もありました。また、高齢者の手伝いや話し相手、子どもの見守り活動、ボランティアならどんなことでもやってみたい等、色々な活動に興味があるという回答もありました。

項目「心にゆとりを感じるまち」

◆ 設問「やりたいことや夢中になれることがあり、生活が充実している」(6位)

前年度と同順位ですが、幸せ感は10.2ポイント増加し、全体で2番目の伸びとなっています。

◆ 設問「地元の歴史、伝統文化、地域行事に市民として誇りや愛着を感じている」(9位)

前年度から大きくポイントを上げており(10.5ポイント増)、一番の伸びとなっています。6割の人が誇りや愛着を感じている中、伝統文化や地域行事の担い手の減少を心配する声が見られます。

◆ 設問「環境美化の取り組みが進んでおり、まちがきれいで気持ちがいい」(5位)

7割の人が「きれいなまち」に関して気持ちがいいと感じており、前年度から7.3ポイント増加しています。実際に花いっぱい運動に取り組んでいる人やごみ拾いなどの地域清掃行事等に参加している人が多いためか、たばこのポイ捨てなどのマナーの悪さに関する意見が多く出ています。

項目「大竹を愛する人づくり」

◆ 設問「大竹のよいところを知っている」(13位)

順位は13位ですが、豊かな自然や地域のつながりがあるなど、自分の暮らす地域の良いところが挙がっています。順位に変動はありませんが、前年度と比較して3.5ポイント増加しています。

◆ 設問「市外の人に大竹の悪口を言われたら腹が立つ」(7位)

この設問と次の設問は、ストレートに感覚を尋ねています。前年度から10.2ポイント増加し、順位も3つ上がりました。6割を超える人がそう思うと回答しており、大竹市に対する愛着が感じられます。

◆ 設問「あなたの暮らす地域が好きだ」(2位)

前年度より8.9ポイント増加し、順位も1つ上がりました。約8割の人が好きだと回答している一方で、好きになれないところについても、たくさんの意見をいただいています。

(2) 市民自治（問2）について

わがまちプランに定める市民自治の理念は、半数程度の人に受け入れられているようで、「はい」と答えた人の割合は、前年度と同様の水準を維持しています。

「あなたの暮らす地域のことに普段から興味をもっている」(56.7%)は、前年度より2.7ポイント増加し、「自分もできれば何か地域の役に立てるようなことをやってみたい」(40.5%)は、前年度より0.6ポイント増加しています。

自由記述から、地域のためにやってみたいこととして、子ども食堂、地域の清掃、花や木を植える、子どもの登下校の見守りなど具体的なことから、ボランティアなど困っていることや自分にできることがあれば協力したいという意見がありました。

一方、やってみたいと思ってもできない理由として、仕事や育児・家族の介護等や、自身・家族の健康に関する問題などが多く見られました。

2 属性別分析

(1) 性別

①問1について

| 項目 | 設問 | 男性 | | | | 女性 | | | |
|--------------------|---|---------|----|---------|----|---------|----|---------|----|
| | | 設問の「はい」 | | 項目の「はい」 | | 設問の「はい」 | | 項目の「はい」 | |
| | | 割合(%) | 順位 | 割合(%) | 順位 | 割合(%) | 順位 | 割合(%) | 順位 |
| 生活基盤 まちが整った | 地域産業が盛んでまちに元気があると思う | 41.2 | 14 | | | 39.4 | 14 | | |
| | 目的地までの移動がしやすいまちだと思う | 56.0 | 9 | 56.0 | 4 | 48.6 | 12 | 53.4 | 5 |
| | 道路、公園、上下水道、水路などの基盤整備が整っていて暮らしやすい | 70.9 | 4 | | | 72.1 | 5 | | |
| 安全なまち | 災害、犯罪、事故などが少ない安全なまちだと思う | 91.2 | 1 | | | 86.5 | 1 | | |
| | 消防団や自主防災組織等の活動が活発で、地域住民の防災意識、危機管理意識は高いと思う | 54.9 | 10 | 65.4 | 1 | 47.6 | 13 | 63.5 | 2 |
| | 自主防災組織の活動、救命講習、交通安全運動などに参加したいと思う | 50.0 | 12 | | | 56.3 | 10 | | |
| 安心できるまち | 困った時などには、地域に暮らす人同士での助け合いができるつながりがあるので安心だと思う | 59.9 | 8 | | | 63.0 | 8 | | |
| | 生活習慣の改善に取り組んだり、健康診断や健康づくりに参加したりするなど、自分の健康管理に日頃から気を付けている | 74.2 | 2 | 54.4 | 5 | 73.6 | 4 | 56.3 | 4 |
| | 地域福祉に関するボランティア活動等に参加してみたいと思う | 29.1 | 15 | | | 32.2 | 15 | | |
| 心にゆとりを感じ まちを感じる | やりたいことや夢中になれることがあり、生活が充実している | 62.1 | 7 | | | 69.7 | 6 | | |
| | 地元の歴史、伝統文化、地域行事に市民として誇りや愛着を感じている | 54.4 | 11 | 61.0 | 2 | 66.8 | 7 | 70.4 | 1 |
| | 環境美化の取り組みが進んでおり、まちがきれいで気持ちがいい | 66.5 | 5 | | | 74.5 | 3 | | |
| 大竹を愛する | 大竹のよいところを知っている | 41.8 | 13 | | | 50.5 | 11 | | |
| | 市外の人に大竹の悪口を言われたら腹が立つ | 63.7 | 6 | 59.9 | 3 | 59.6 | 9 | 63.3 | 3 |
| | あなたの暮らす地域が好きだ | 74.2 | 2 | | | 79.8 | 2 | | |
| 問1全体 | | 59.3 | | | | 61.3 | | | |

ア 全体的な傾向

問1全体では、男性 59.3%、女性 61.3%と性別による大きな差は見られません。

イ 項目・設問にみられる顕著な傾向・特徴

項目による幸せ感の幅は、男性の 11.0 ポイント（65.4%－54.4%）に比べ、女性は 17.0 ポイント（70.4%－53.4%）と大きく、幸せの感じ方がはっきりしているということが見て取れます。男女間で大きく幸せ感に差がついた項目は「心にゆとりを感じるまち」で、項目内全ての設問で女性の方が男性よりも高くなっています。特に設問「地元の歴史、伝統文化、地域行事に市民として誇りや愛着を感じている」は 12.4 ポイントの開きがあり、性別によって幸せの感じ方の違いがはっきり出ています。

項目「安全なまち」の設問「災害、犯罪、事故などが少ない安全なまちだと思う」は、男女とも1位でしたが、男性のポイントが非常に高く、9割を超える人が「安全なまち」であると感じているようです。

また、項目「安心できるまち」の設問「地域福祉に関するボランティア活動等に参加してみたいと思う」は、男女とも最下位でしたが、特に男性のポイントが低く、1つ上の順位と 10 ポイント以上の差が出ています。

②問2について

問2の設問では、前年度と逆の結果になり、いずれも女性のポイントが男性より高くなっています。設問「自分もできれば何か地域の役に立てるようなことをやってみたい」は、男性が4割以下で、女性と7ポイントの差が生じています。

| 設問 | 男性 (%) | 女性 (%) |
|-------------------------------|-------------|-------------|
| あなたの暮らす地域のことに普段から興味をもっている | 53.8 (59.1) | 59.6 (49.1) |
| 自分もできれば何か地域の役に立てるようなことをやってみたい | 36.8 (43.9) | 43.8 (36.6) |

※()内は前年度

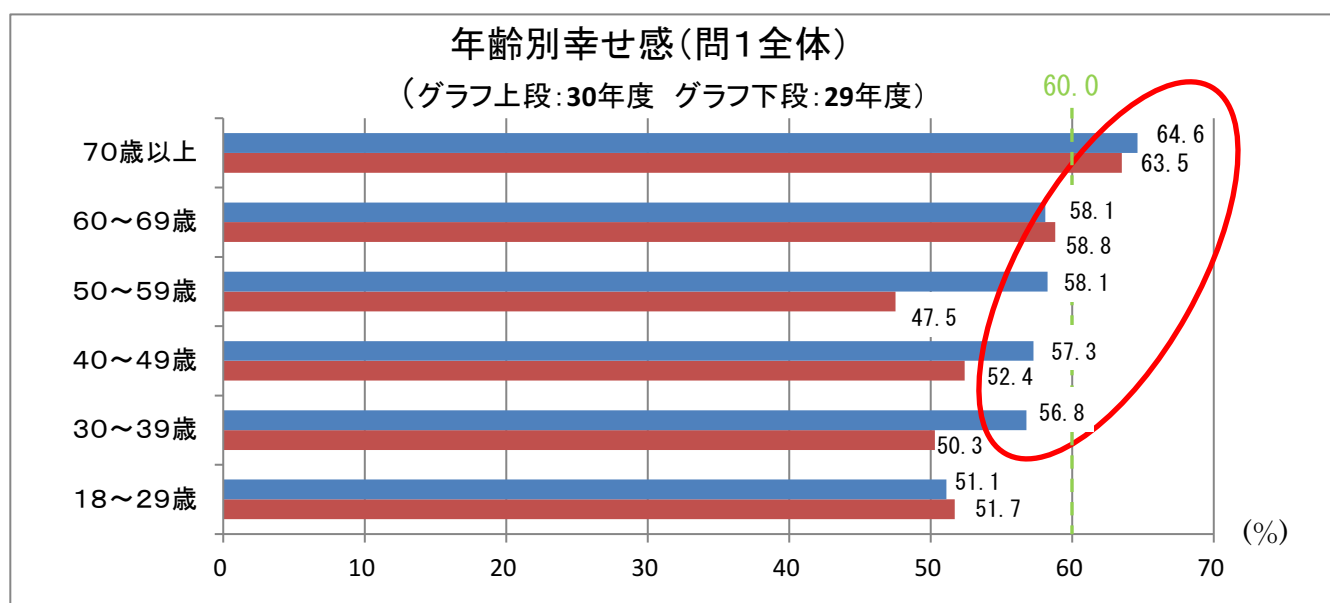
(2) 年齢

①問1について

ア 全体的な傾向

どの年齢層においても半数以上の方が幸せを感じています。

18～29歳の年齢層の幸せ感が50%程度で最も低く、年齢が上がるにつれて幸せ感が増加する傾向にあります。特に50～59歳の年齢層は、前年度より10.6ポイント増え、幸せ感が最も伸びた年齢層になっています。



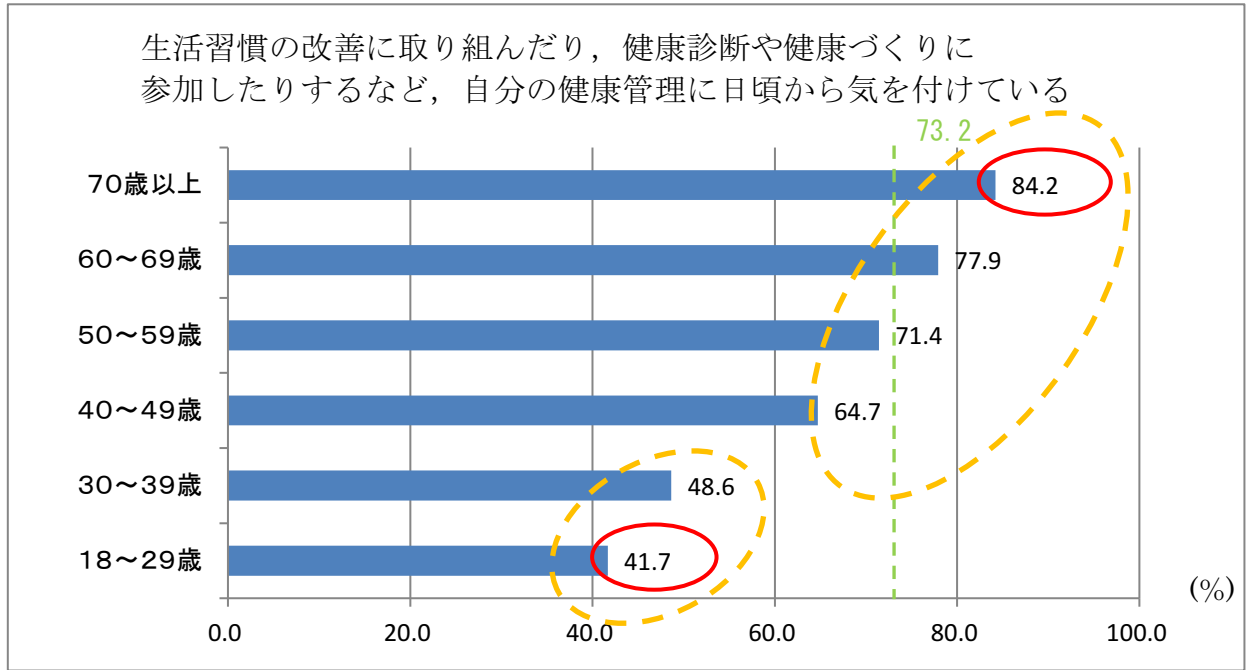
イ 項目・設問に見られる顕著な傾向・特徴

全項目において、70歳以上の幸せ感は上位となっています。反対に18～29歳は、3つの項目で最下位となっています。特に「安心できるまち」の幸せ感が低く、3割にとどまりました。また、50～59歳は、1位や最下位がなく、4つの項目で3位となりました。

単位：% (順位)

| 年齢 | 生活基盤が整ったまち | 安全なまち | 安心できるまち | 心にゆとりを感じるまち | 大竹を愛する人づくり |
|--------|------------|----------|----------|-------------|------------|
| 70歳以上 | 59.1 (1) | 64.5 (2) | 62.4 (1) | 73.3 (1) | 63.7 (2) |
| 60～69歳 | 48.9 (6) | 66.7 (1) | 55.8 (2) | 59.7 (4) | 59.3 (5) |
| 50～59歳 | 50.3 (5) | 63.9 (3) | 53.1 (3) | 61.2 (3) | 61.9 (3) |
| 40～49歳 | 56.7 (2) | 63.4 (4) | 47.1 (5) | 57.8 (5) | 64.7 (1) |
| 30～39歳 | 53.2 (3) | 63.1 (5) | 48.6 (4) | 64.0 (2) | 55.0 (6) |
| 18～29歳 | 51.4 (4) | 59.7 (6) | 30.6 (6) | 54.2 (6) | 59.7 (4) |

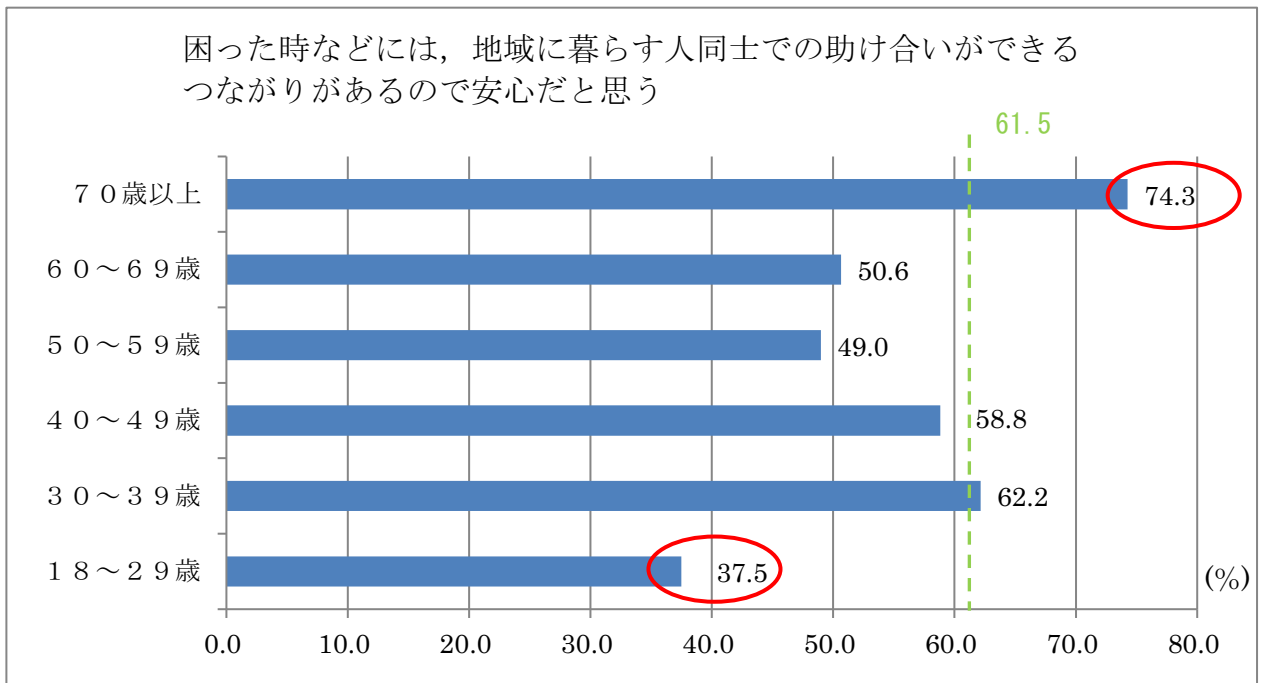
年齢層別で最も幸せ感に差が出た設問は、「生活習慣の改善に取り組んだり、健康診断や健康づくりに参加したりするなど、自分の健康管理に日頃から気を付けている」です。この設問は、70歳以上の84.2%に対し、18～29歳の年齢層では41.7%と、2倍以上もの差が生じています。また、40歳を境に、健康に対する認識が大きく変わっており、年齢が上がるにつれて健康に気を付ける人が増えています。



設問「困った時などには，地域に暮らす人同士での助け合いができるつながりがあるので安心だと思う」でも，70歳以上が首位であるのに対し，18～29歳は最下位になっています。

全体での幸せ感のポイントは61.5%で，70歳以上の幸せ感が際立っています。

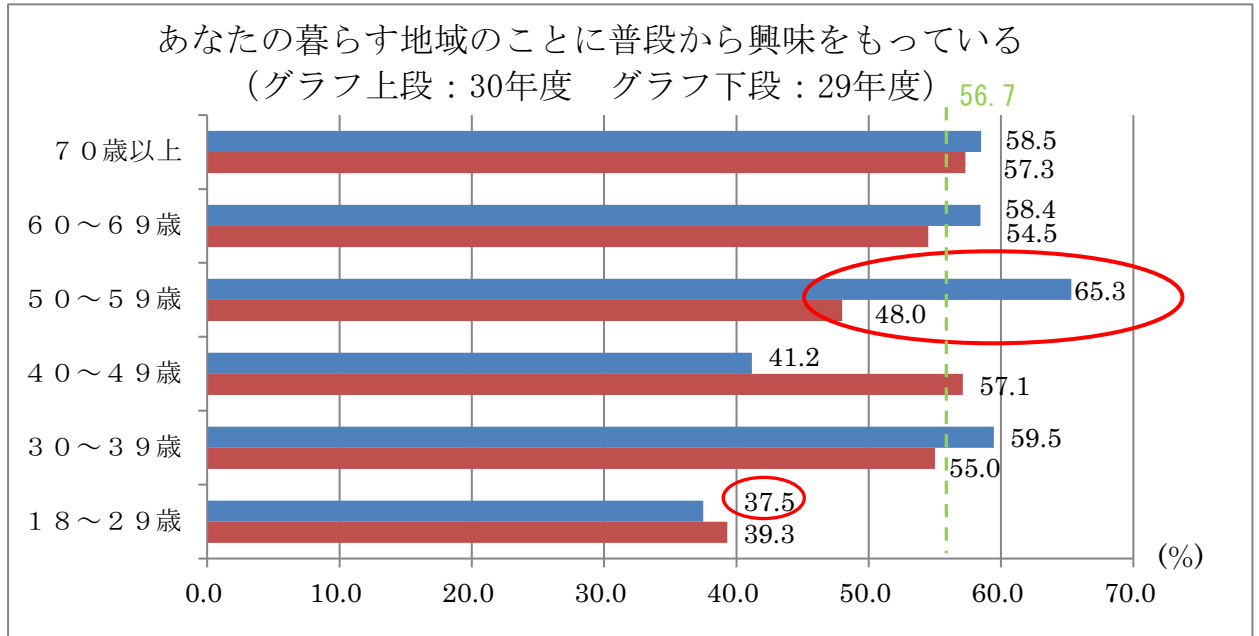
この設問も，70歳以上の74.3%に対し，18～29歳は37.5%と全設問で2番目となる36.8ポイントの差が生じています。



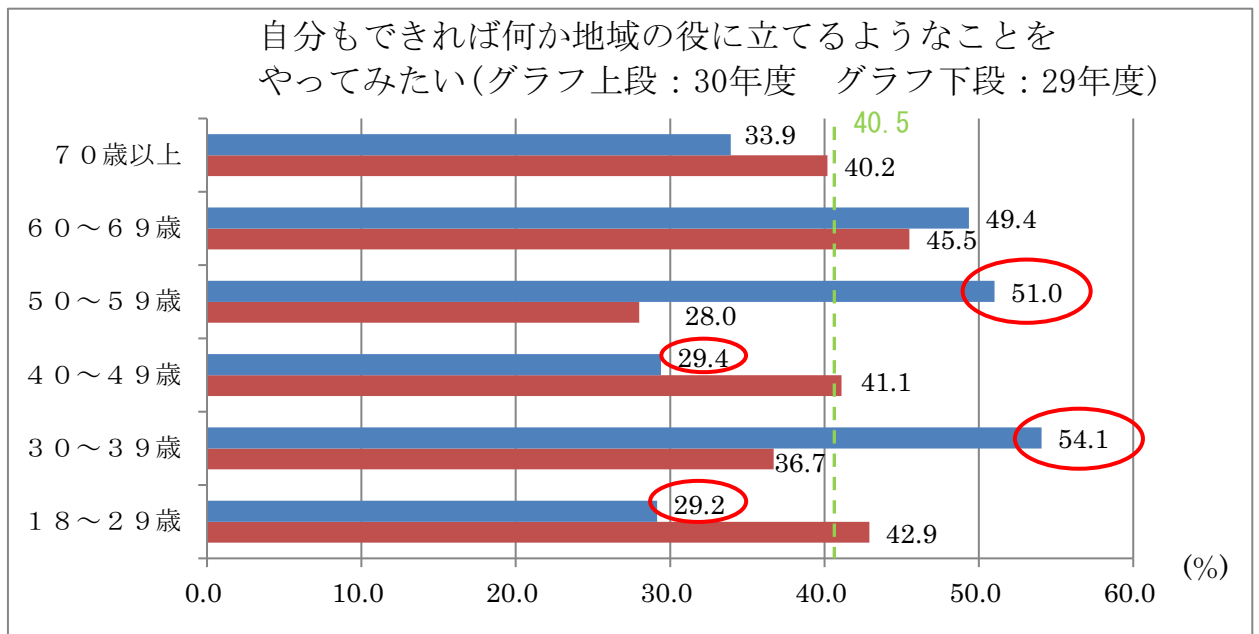
このため，これら2つの設問を含む項目「安心できるまち」は，全項目の中で年齢層による差が最も大きくなっています。

②問2について

設問「あなたの暮らす地域のことに普段から興味をもっている」では、18～29歳が他の年齢層より低く、4割に満たない状況です。一方で、50～59歳は、前年度より17.3ポイント増加して6割を超え、全年齢層で一番の伸びを見せ、1位となっています。



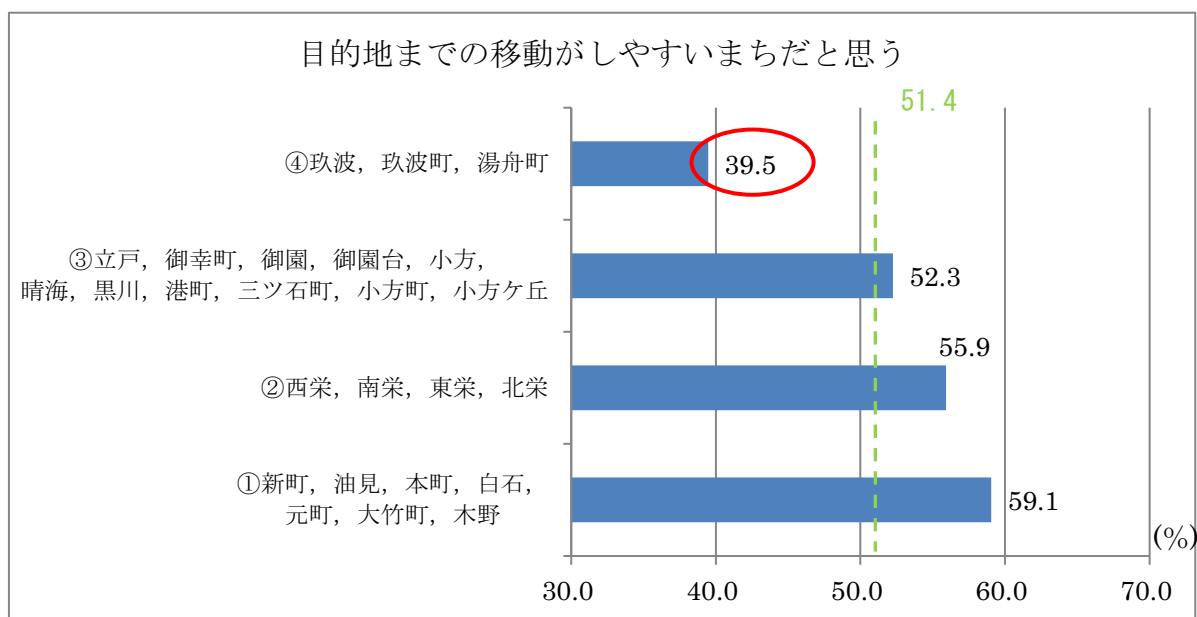
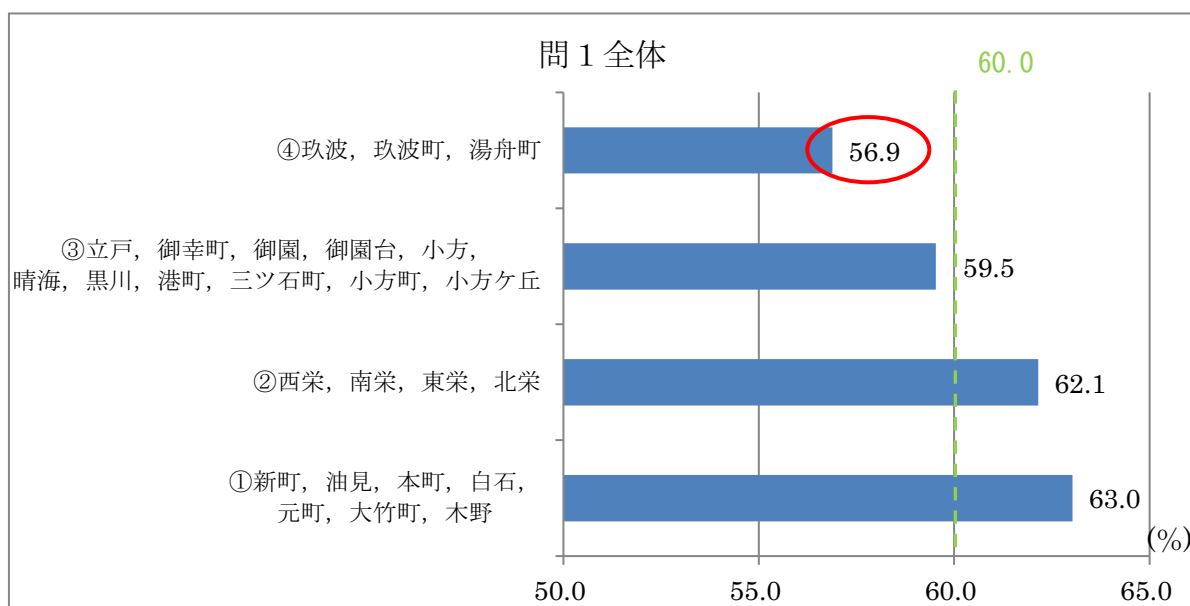
設問「自分もできれば何か地域の役に立てるようなことをやってみたい」では、18～29歳と40～49歳は、前年度より10ポイント以上も減少し、3割を切りました。一方で、30～39歳と50～59歳は、ポイントが大きく増え、いずれも5割を超えました。



(3) 住所

回答数に大きな差があるため、問1、問2いずれも住所の違いによる特徴を分析できません。回答数50以上の4つの地域（【①新町，油見，本町，白石，元町，大竹町，木野】・【②西栄，南栄，東栄，北栄】・【③立戸，御幸町，御園，御園台，小方，晴海，黒川，港町，三ツ石町，小方町，小方ヶ丘】・【④玖波，玖波町，湯舟町】）で比較してみると、問1全体の幸せ感はいずれも60%前後となっていますが、④の地域が他の地域に比べやや低くなっています。

特に設問「目的地までの移動がしやすいまちだと思う」では、④の地域は4割を下回り、幸せ感の平均値51.4ポイントを4つの地域の中で唯一下回り、①の地域とは、19.6ポイントの差があります。

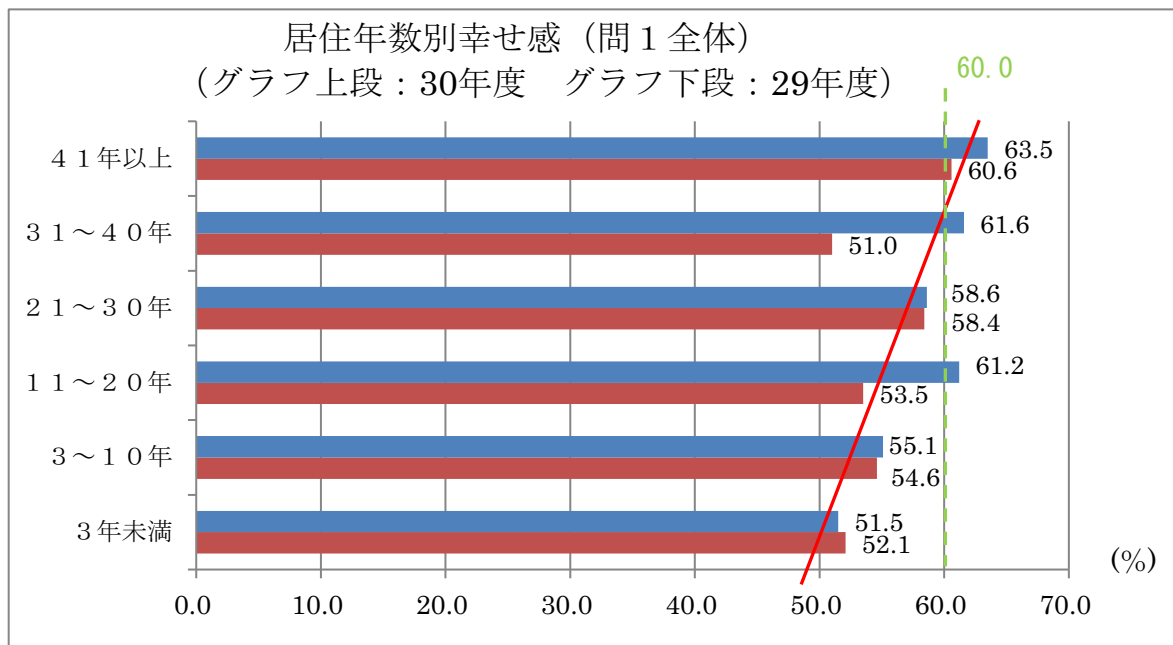


(4) 居住年数

①問1について

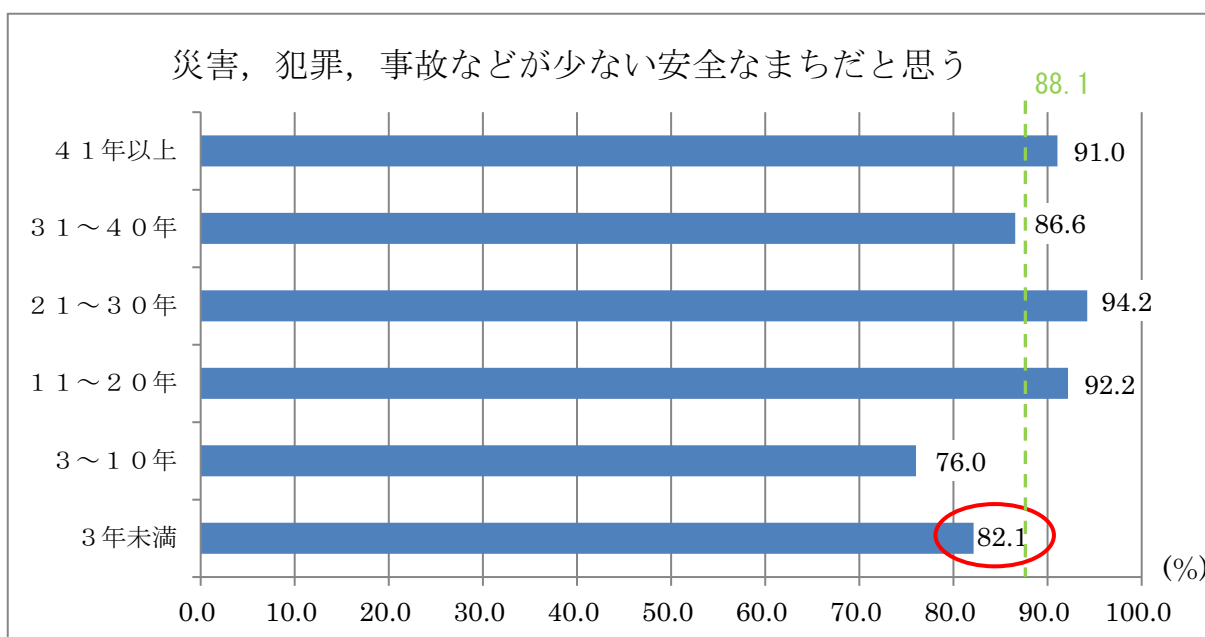
ア 全体的な傾向

前年度と比較して居住年数が3年未満の層で幸せ感が0.6ポイント減少していますが、それ以外の層ではポイントが上がっています。年数によってばらつきがあるものの、居住年数が長くなるにつれて、幸せ感が高くなる傾向にあります。

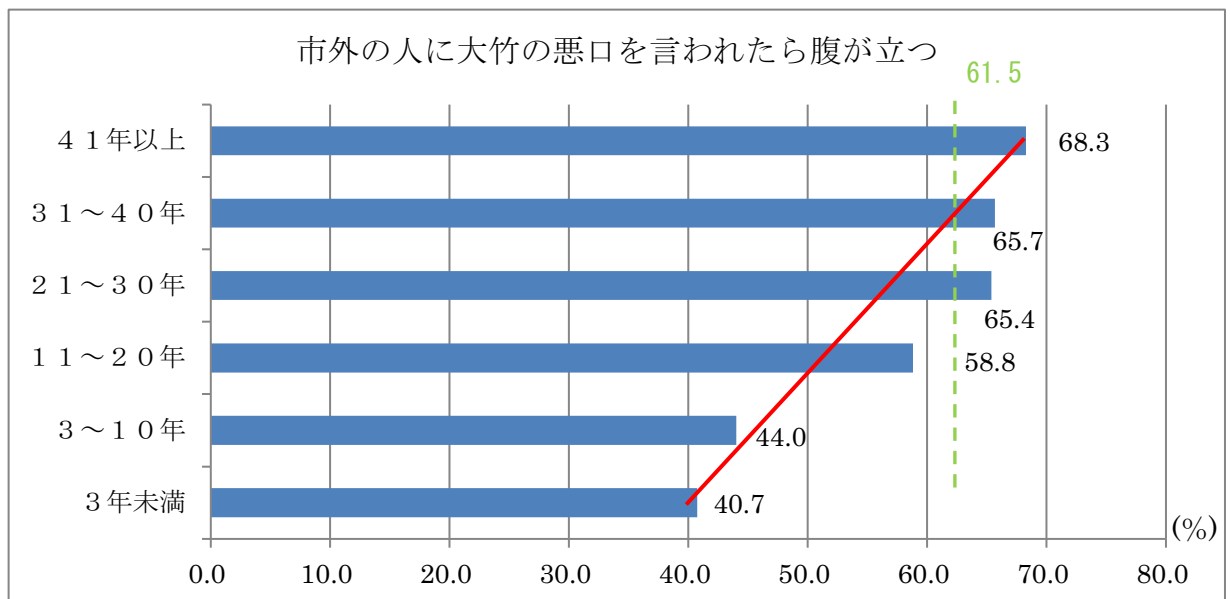
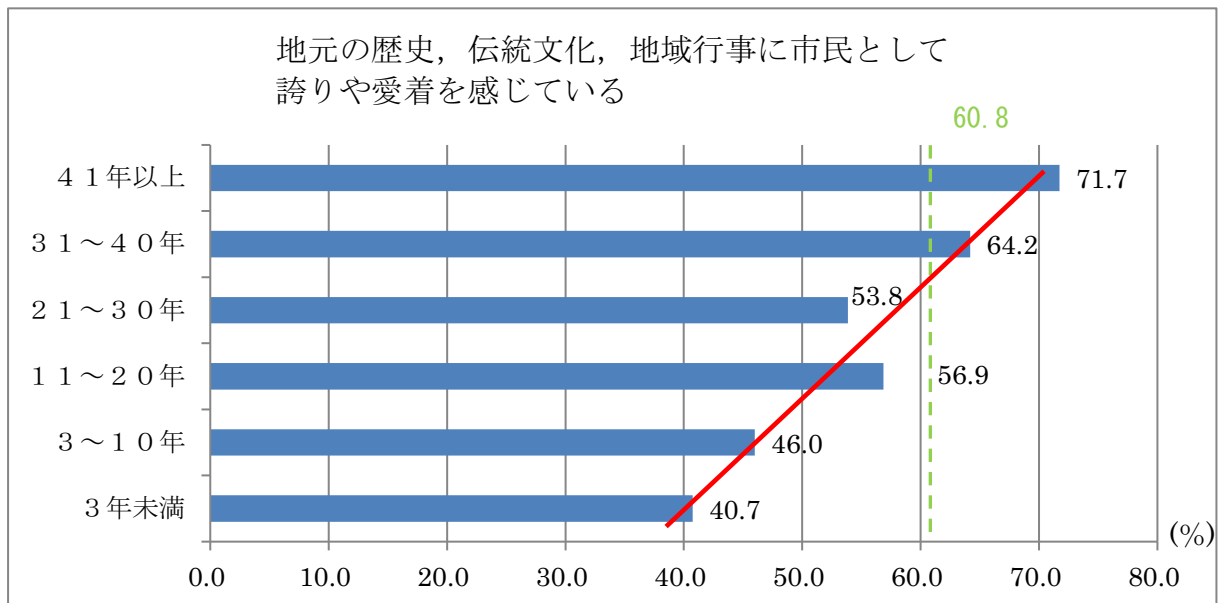


イ 項目・設問に見られる顕著な傾向・特徴

設問「災害、犯罪、事故などが少ない安全なまちだと思う」は、7割以上の方が「はい」と答えています。なかでも、他市町から転入してきて間もない人は、8割以上の方が「はい」と答えていることから、「安全なまち」であると実感していることが伺えます。

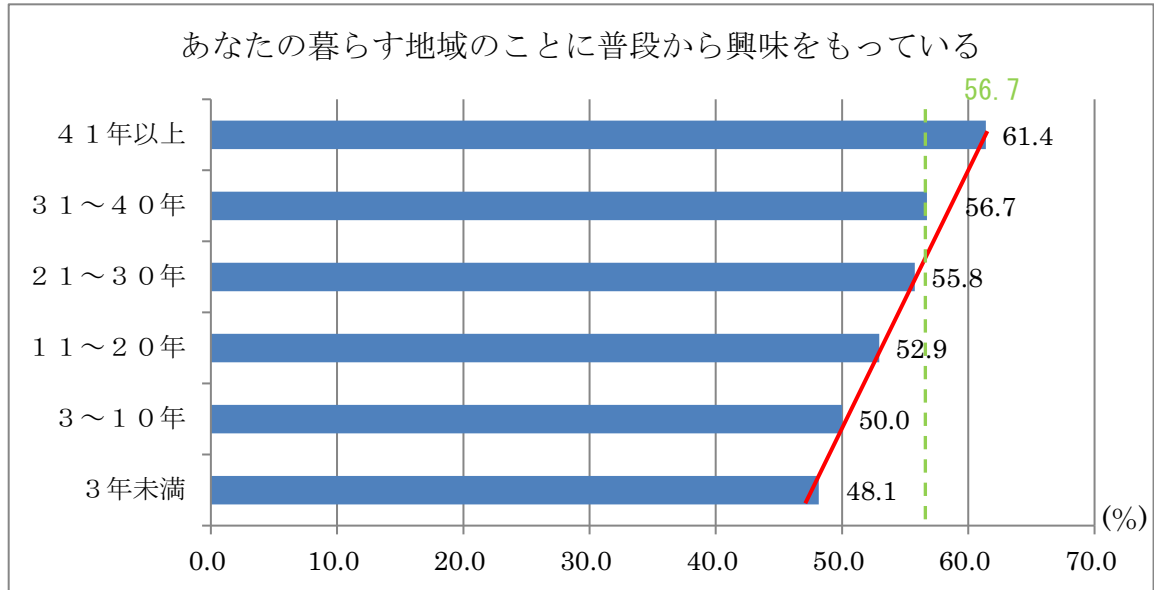


設問「地元の歴史、伝統文化、地域行事に市民として誇りや愛着を感じている」は、居住年数が増えていくにつれて、「はい」と回答している人が多くなる傾向が見られます。また、設問「市外の人に大竹の悪口を言われたら腹が立つ」も同様の傾向となっており、これらの設問から居住年数が増えるにつれて、大竹により愛着を感じているものと伺えます。



②問2について

設問「あなたの暮らす地域のことに普段から興味をもっている」は、問1と同様で、居住年数が増えるにつれて「はい」と回答をしている人が増えています。



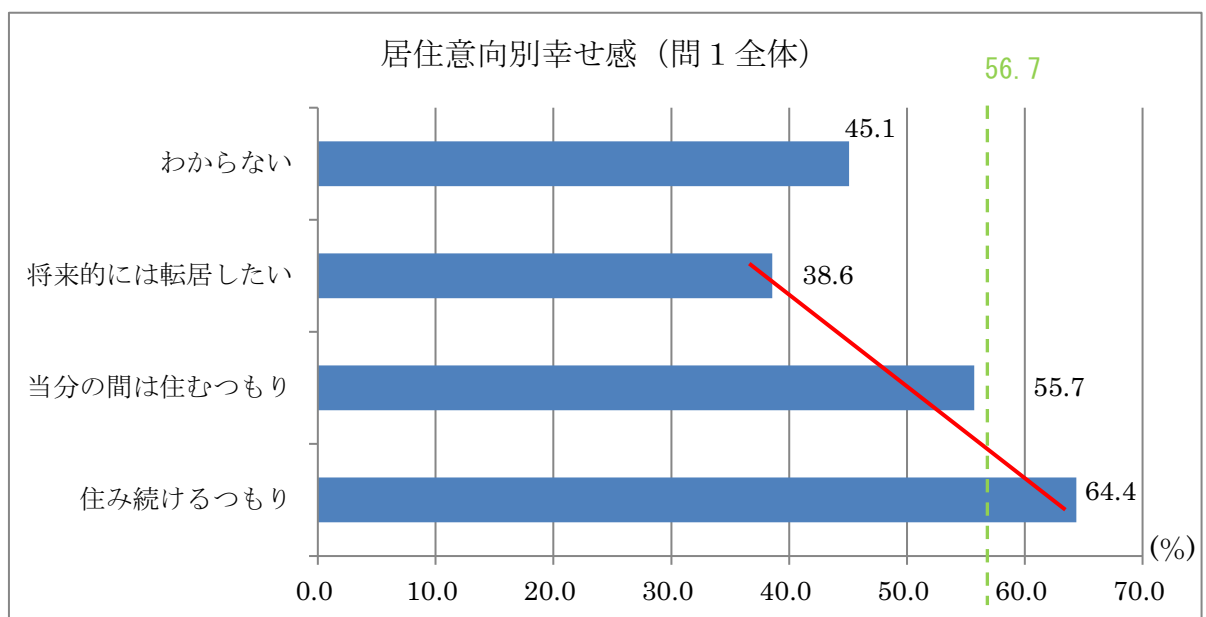
(5) 今後の居留意向

選択肢のうち、「近いうちに転居するつもり」と回答した人は、4人と人数が少なく、傾向として判断できないため掲載していません。

①問1について

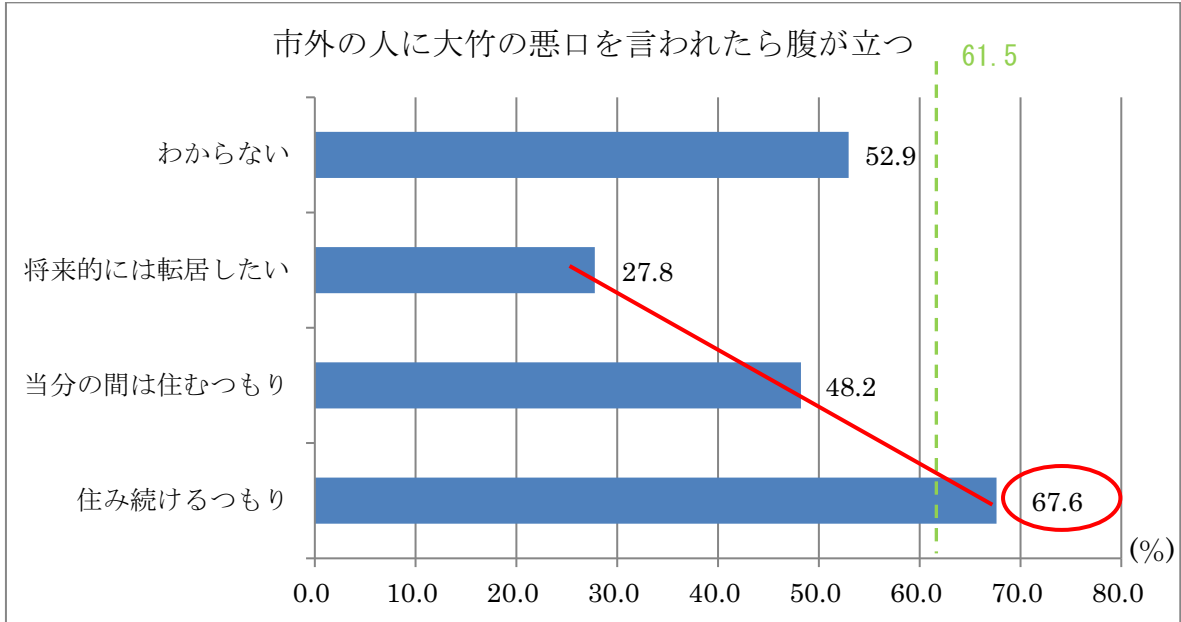
ア 全体的な傾向

「わからない」を除くと、「将来的には転居したい」<「当分の間は住むつもり」<「住み続けるつもり」の順で幸せ感が高くなっており、長く住み続ける意向を持つ人ほど、幸せを感じているようです。また、「わからない」の人も、半数近くが幸せを感じています。

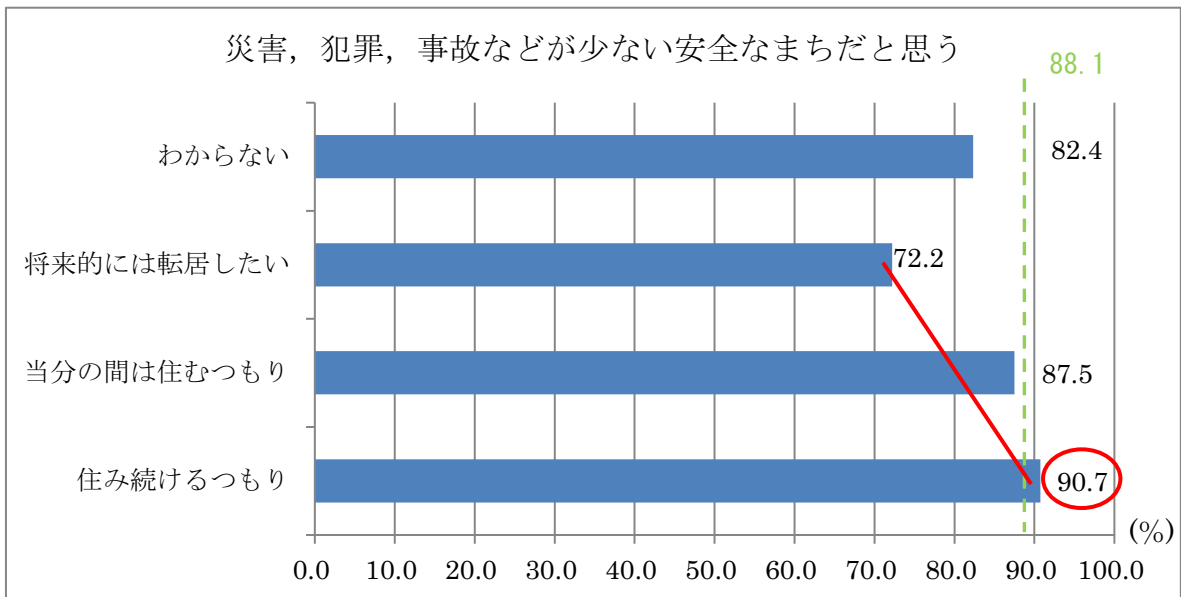


イ 項目・設問に見られる顕著な傾向・特徴

多くの項目において全体的な傾向と類似しています。特に設問「市外の人に大竹の悪口を言われたら腹が立つ」では、「住み続けるつもり」の人の幸せ感「将来的には転居したい」と考えている人より約40ポイント高くなっています。長く住む意思がある人は、地域への愛着が高い傾向にあります。

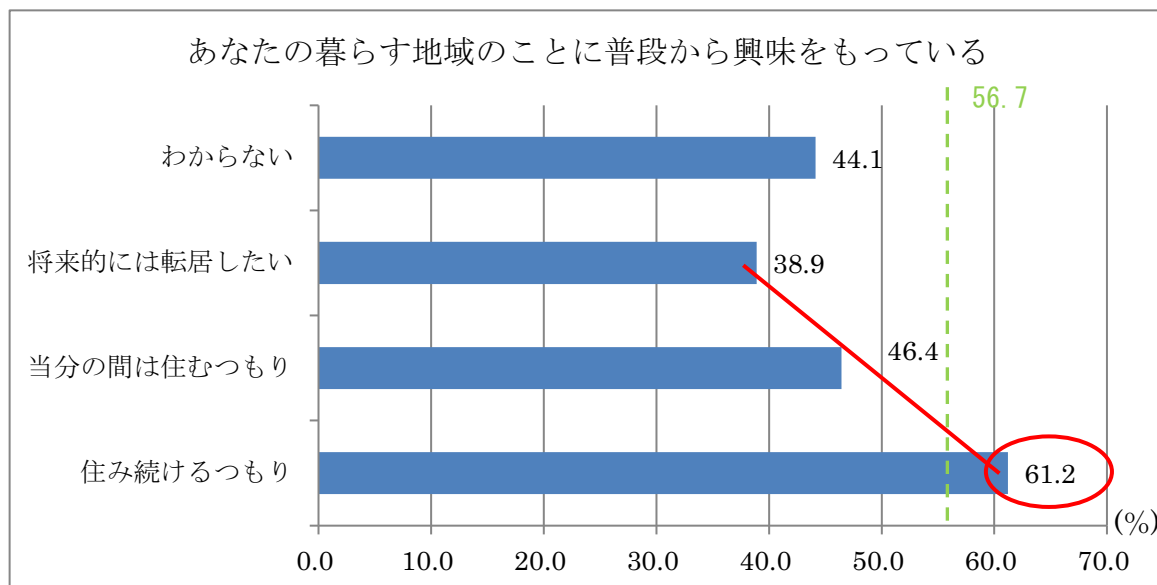


「災害、犯罪、事故などが少ない安全なまちだと思う」は、9割近くの人が「はい」と回答しており、「将来的には転居したい」と考えている人も、7割以上の方が「安全なまち」だと思っていることがわかります。「住み続けるつもり」の人の割合は90.7%で、全設問で最も高い数値となっています。



②問2について

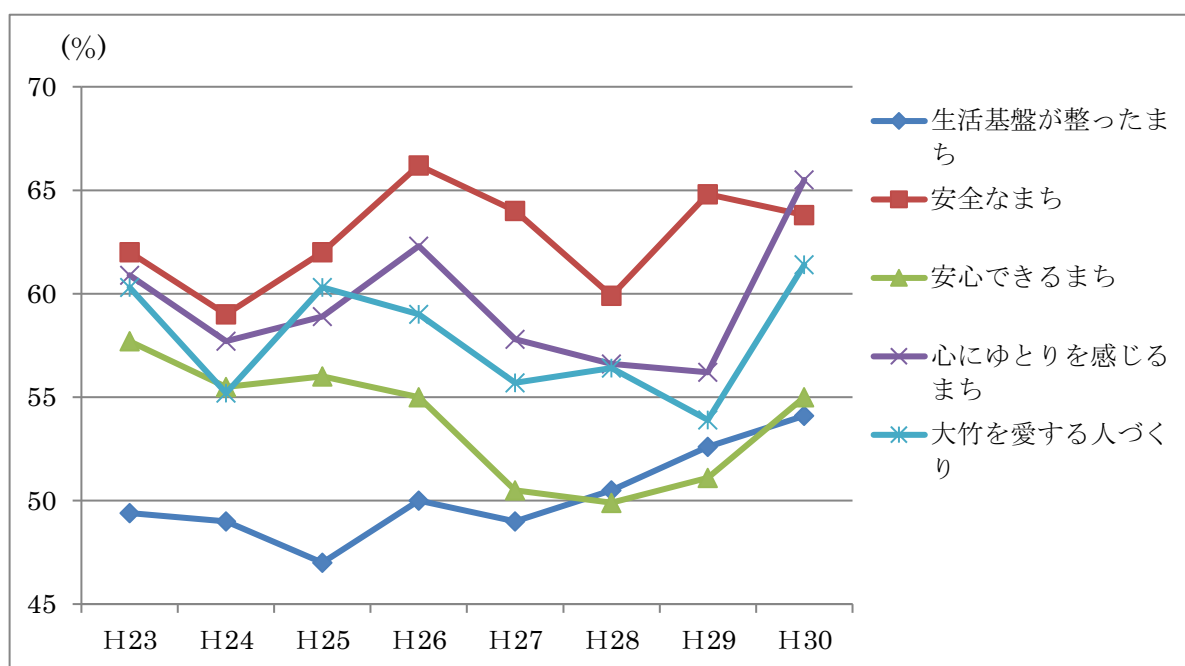
「あなたの暮らす地域のことに普段から興味をもっている」の割合は、全体的な傾向と同様に今後も住み続ける意向が強いほど高くなっています。特に「住み続けるつもり」と回答した人が他よりも突出した数値となっており、地域に対する関心が高いことを表しています。



3 「わがまちプラン」中の数値の動き（過去8年間）（H23-H30）

（1）項目毎の推移

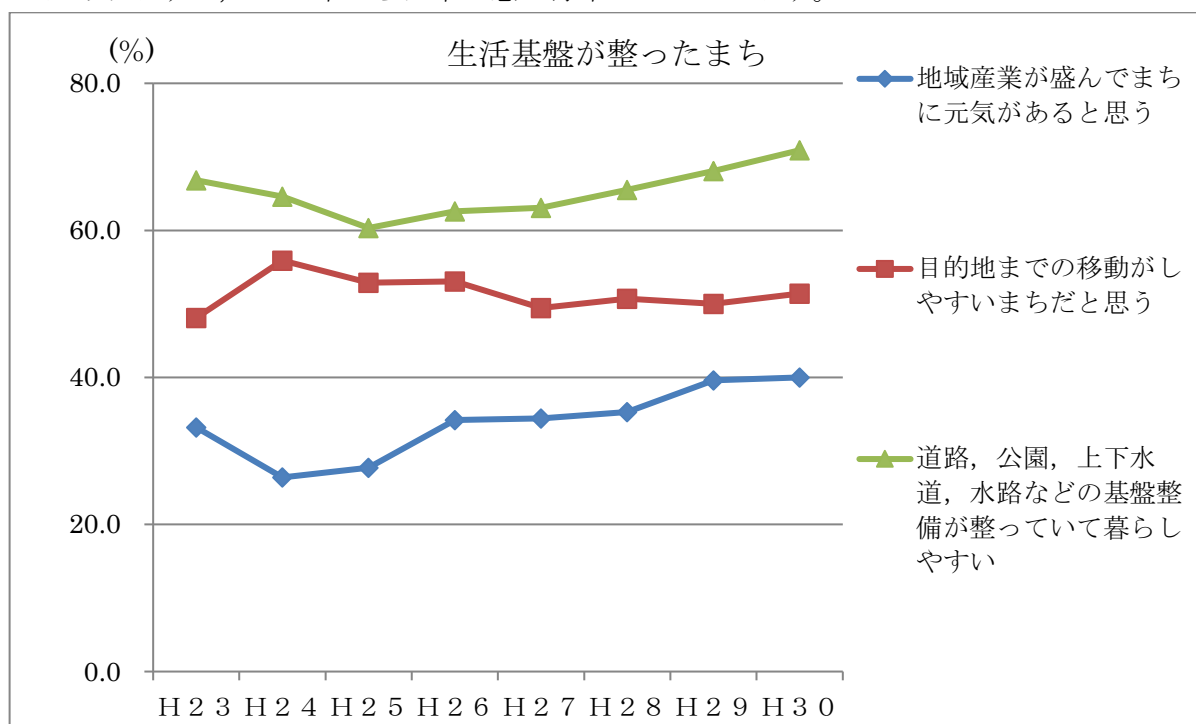
項目による差はありますが、全体で幸せを感じている人の割合が上がっている傾向にあります。



(2) 設問毎の推移

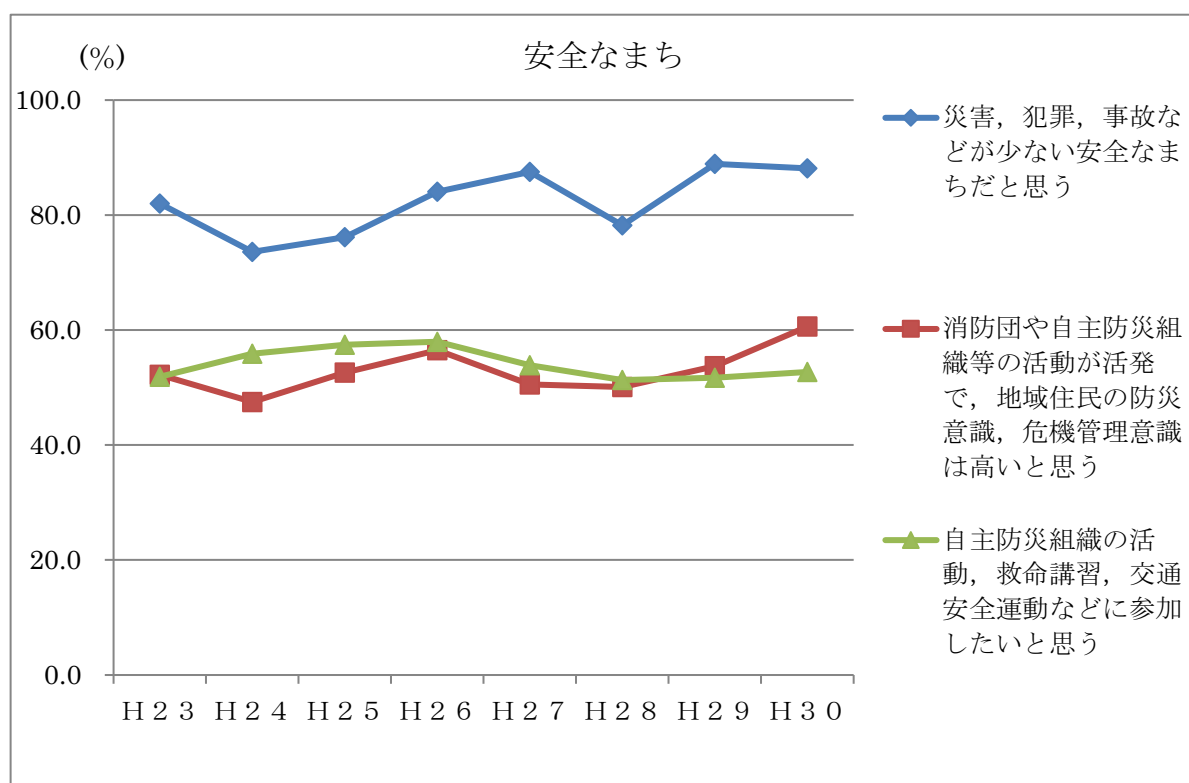
①生活基盤が整ったまち

「道路、公園、上下水道、水路などの基盤整備が整っていて暮らしやすい」は常に上位にあります。H25年からは幸せ感が毎年上がっています。



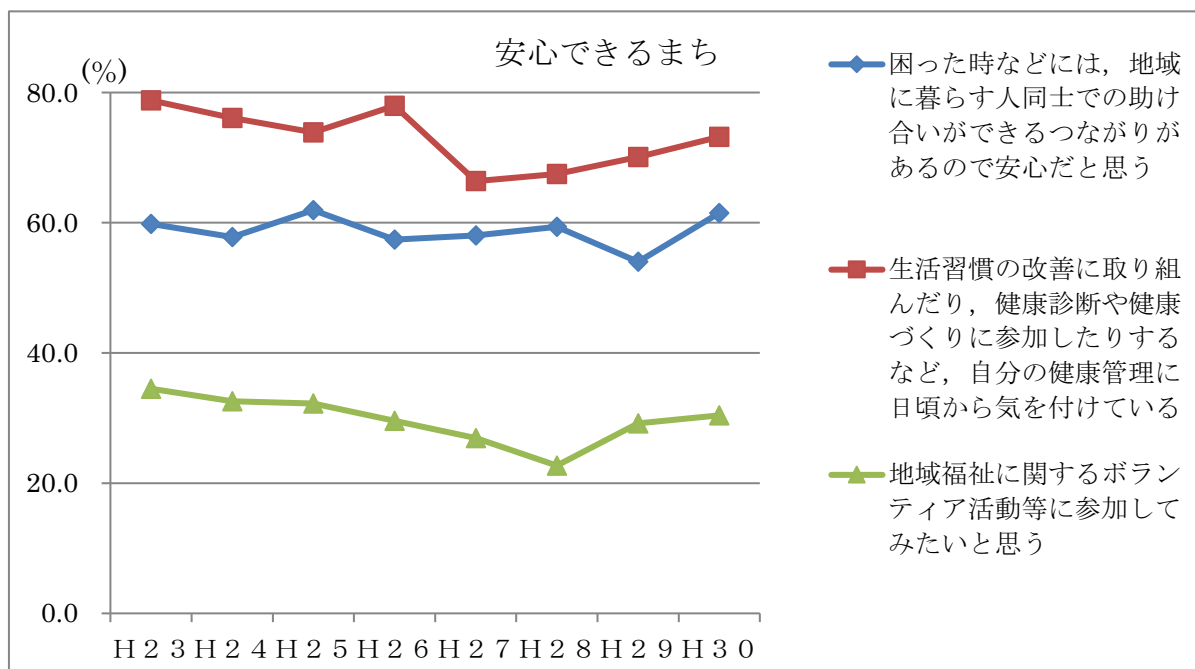
②安全なまち

「災害、犯罪、事故などが少ない安全なまちだと思う」は、その年に起きた事故や事件に左右されることもありますが、安定して高位をキープしています。



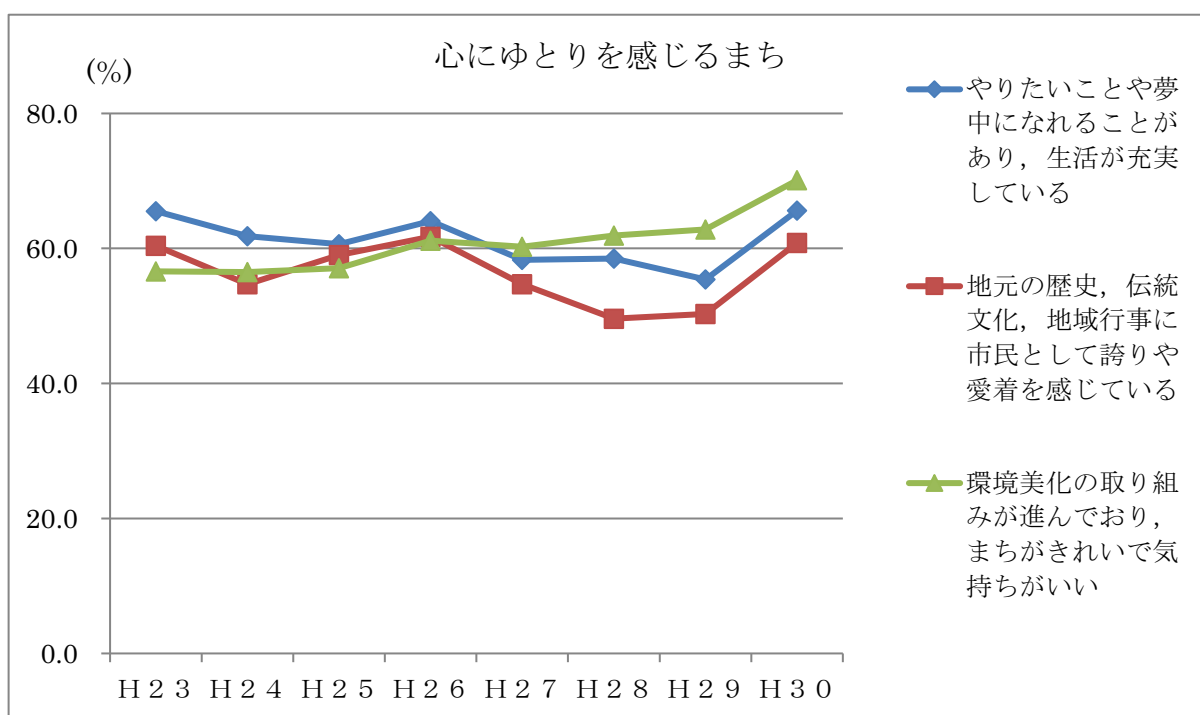
③安心できるまち

「困った時などには、地域に暮らす人同士での助け合いができるつながりがあるので安心だと思う」と「地域福祉に関するボランティア活動等に参加してみたいと思う」は、相関関係にありそうな設問ですが、常に3割程度の開きがあります。平時からのつながりを強化することで、いざという時に助け合える仕組みの構築に取り組んでいます。



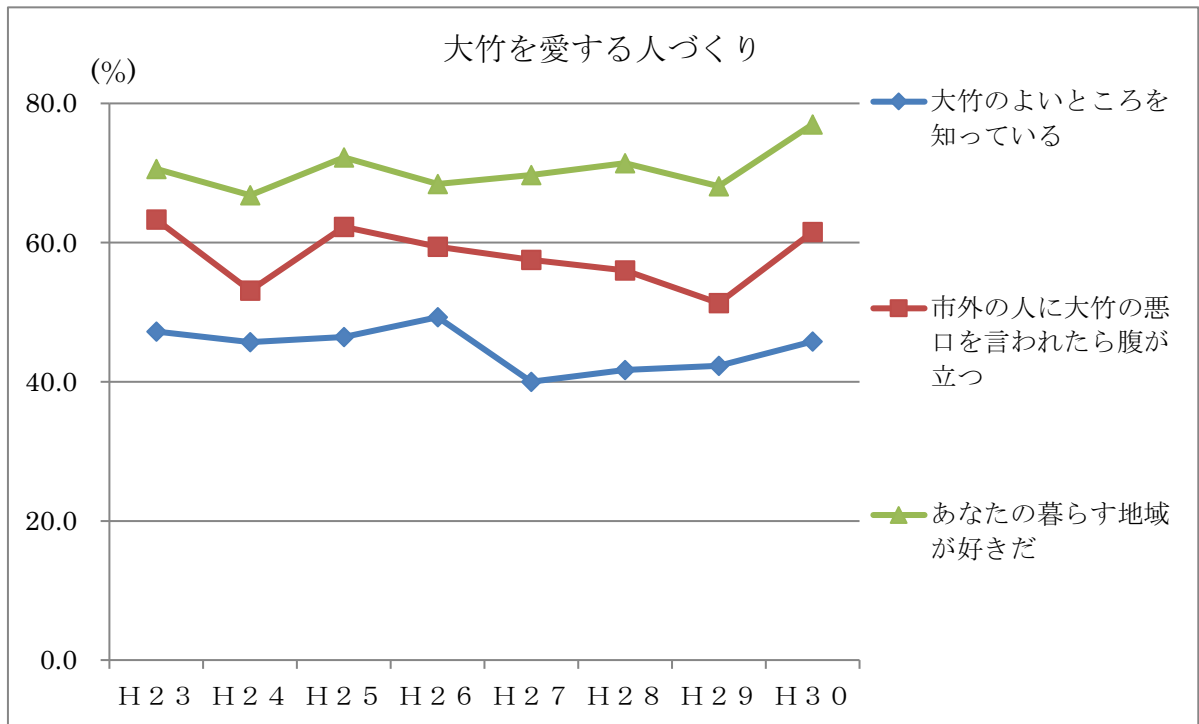
④心にゆとりを感じるまち

設問間にあまり差が見られず、全ての設問において上昇傾向にあります。特に設問「やりたいことや夢中になれることがあり、生活が充実している」と「環境美化の取り組みが進んでおり、まちがきれいで気持ちがいい」は、調査開始以来最も高い値になっています。



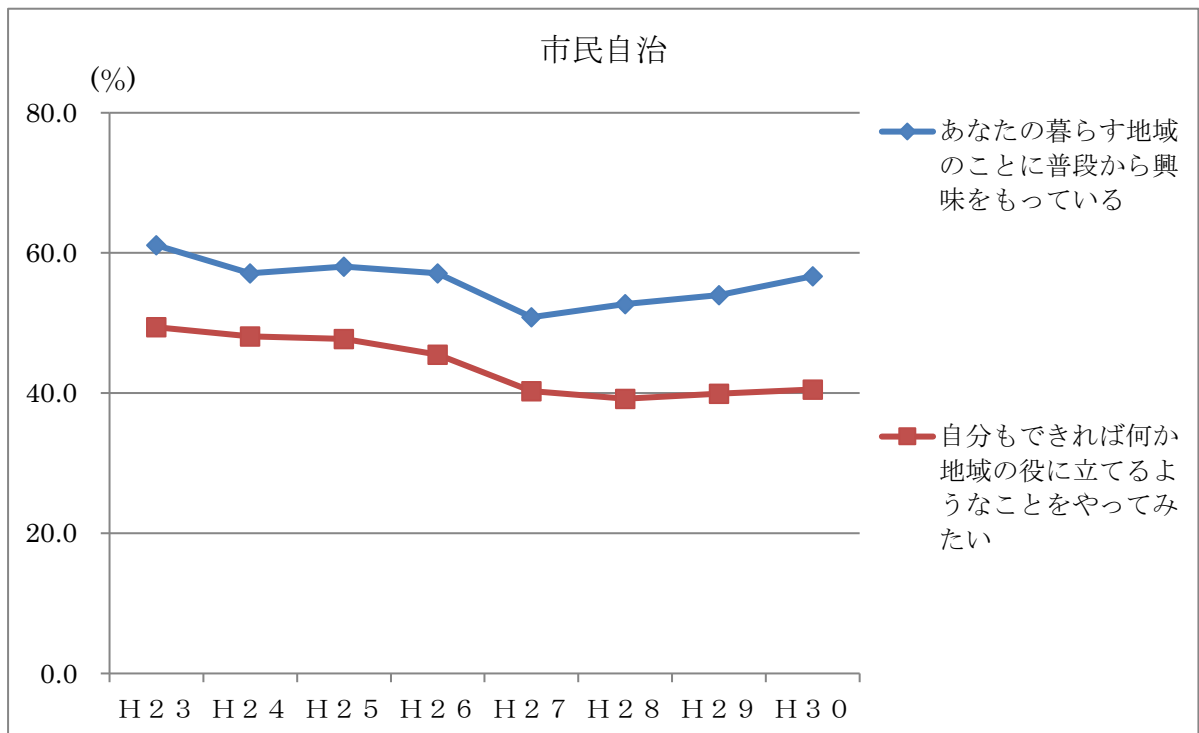
⑤大竹を愛する人づくり

「あなたの暮らす地域が好きだ」が高位をキープしており、市が行う施策において、協力が得やすい状況といえます。一方、大竹の良いところを知らない人も多く、情報発信力に課題があるともいえます。



⑥市民自治

興味をもつこと、やってみたいと思うことの間には、常に1割以上の開きがあり、年々大きくなる傾向にあります。



B 「モニター回答分」について

1 総括（全体）分析

単純集計結果（項目・設問別）

| 問・項目 | 設問 | 回答数及び回答割合 | | | | | | |
|--------------------------|--------------------------------|---|--------------|--------------|---------------|-------------|-------------|-----------|
| | | そう思う | 少し そう思う | どちらでも ない | あまりそう 思わない | そう 思わない | 無回答 | |
| 問 1 | 生活基盤 が整った まち | 地域産業が盛んでまちに元気があると思 う | 17 12.8% | 47 35.3% | 27 20.3% | 33 24.8% | 7 5.3% | 2 1.5% |
| | | 目的地までの移動がしやすいまちだと思 う | 29 21.8% | 46 34.6% | 19 14.3% | 23 17.3% | 14 10.5% | 2 1.5% |
| | | 道路、公園、上下水道、水路などの基 盤整備が整っていて暮らしやすい | 46 34.6% | 50 37.6% | 16 12.0% | 15 11.3% | 5 3.8% | 1 0.8% |
| | | 計 | 92 23.1% | 143 35.8% | 62 15.5% | 71 17.8% | 26 6.5% | 5 1.3% |
| | 安 全 ま ち | 災害、犯罪、事故などが少ない安全な まちだと思 | 59 44.4% | 52 39.1% | 14 10.5% | 7 5.3% | 0 0.0% | 1 0.8% |
| | | 消防団や自主防災組織等の活動が活 発で、地域住民の防災意識、危機管理 意識は高いと思 | 30 22.6% | 46 34.6% | 34 25.6% | 19 14.3% | 3 2.3% | 1 0.8% |
| | | 自主防災組織の活動、救命講習、交通 安全運動などに参加したいと思 | 35 26.3% | 39 29.3% | 30 22.6% | 22 16.5% | 5 3.8% | 2 1.5% |
| | | 計 | 124 31.1% | 137 34.3% | 78 19.5% | 48 12.0% | 8 2.0% | 4 1.0% |
| | 安 心 で き る ま ち | 困った時などには、地域に暮らす人同 士での助け合いができるつながりがあ るので安心だと思 | 37 27.8% | 53 39.8% | 22 16.5% | 17 12.8% | 4 3.0% | 0 0.0% |
| | | 生活習慣の改善に取り組んだり、健康 診断や健康づくりに参加したりするな ど、自分の健康管理に日頃から気を付 けている | 58 43.6% | 54 40.6% | 15 11.3% | 3 2.3% | 2 1.5% | 1 0.8% |
| | | 地域福祉に関するボランティア活動等 に参加してみたいと思 | 37 27.8% | 43 32.3% | 29 21.8% | 17 12.8% | 6 4.5% | 1 0.8% |
| | | 計 | 132 33.1% | 150 37.6% | 66 16.5% | 37 9.3% | 12 3.0% | 2 0.5% |
| | 心 に ゆ と り を 感 じ る ま ち | やりたいことや夢中になれることがあ り、生活が充実している | 40 30.1% | 53 39.8% | 26 19.5% | 11 8.3% | 2 1.5% | 1 0.8% |
| | | 地元の歴史、伝統文化、地域行事に市 民として誇りや愛着を感じている | 39 29.3% | 49 36.8% | 31 23.3% | 10 7.5% | 3 2.3% | 1 0.8% |
| | | 環境美化の取り組みが進んでおり、ま ちがきれいで気持ちがいい | 30 22.6% | 61 45.9% | 23 17.3% | 14 10.5% | 4 3.0% | 1 0.8% |
| | | 計 | 109 27.3% | 163 40.9% | 80 20.1% | 35 8.8% | 9 2.3% | 3 0.8% |
| 大 竹 を 愛 す る 人 づ くり | 大竹のよいところを知っている | 40 30.1% | 57 42.9% | 24 18.0% | 9 6.8% | 1 0.8% | 2 1.5% | |
| | 市外の人に大竹の悪口を言われたら 腹が立つ | 54 40.6% | 49 36.8% | 18 13.5% | 6 4.5% | 6 4.5% | 0 0.0% | |
| | あなたの暮らす地域が好きだ | 66 49.6% | 45 33.8% | 16 12.0% | 3 2.3% | 3 2.3% | 0 0.0% | |
| | 計 | 160 40.1% | 151 37.8% | 58 14.5% | 18 4.5% | 10 2.5% | 2 0.5% | |
| 問 2 | 市民自治 | あなたの暮らす地域のことに普段から 興味をもっている | 54 40.6% | 53 39.8% | 17 12.8% | 8 6.0% | 1 0.8% | 0 0.0% |
| | | 自分もできれば何か地域の役に立てる ようなことをやってみたい | 46 34.6% | 50 37.6% | 25 18.8% | 7 5.3% | 4 3.0% | 1 0.8% |
| | | 計 | 100 37.6% | 103 38.7% | 42 15.8% | 15 5.6% | 5 1.9% | 1 0.4% |

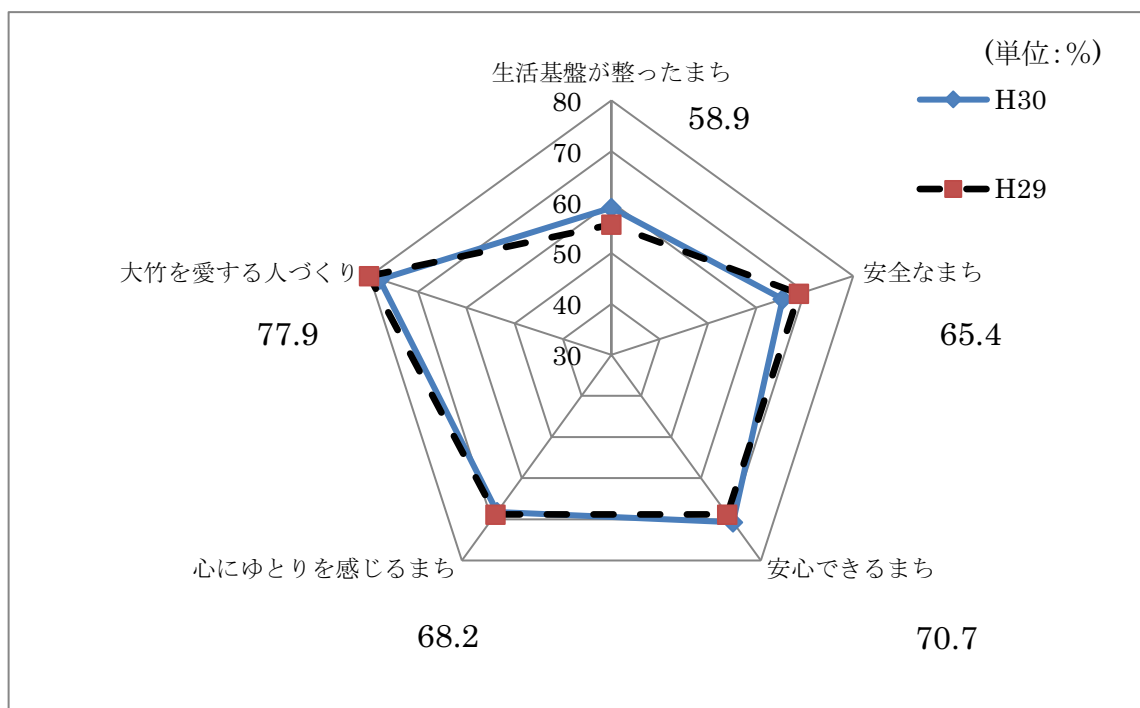
- 問1の各設問において、「そう思う」・「少し思う」・「どちらでもない」・「あまり思わない」・「そう思わない」と答えた人の割合を算出し、全体に占める肯定的な回答（「そう思う」と「少し思う」の和）の割合の値の毎年の動きにより、市民の幸せ感が高まっているかどうか確認します。
- 問2（市民自治）については、問1と同様の方法により、「まちづくりを自分自身の問題として捉え、行政と一緒に考え行動する」わがまちプランに定める市民自治の理念が広まっているかどうか確認します。

(1) 「わがまちプラン」基本目標関連項目（問1）について

モニターには、前年度と比べて良くなっているのかどうかを伺っています。

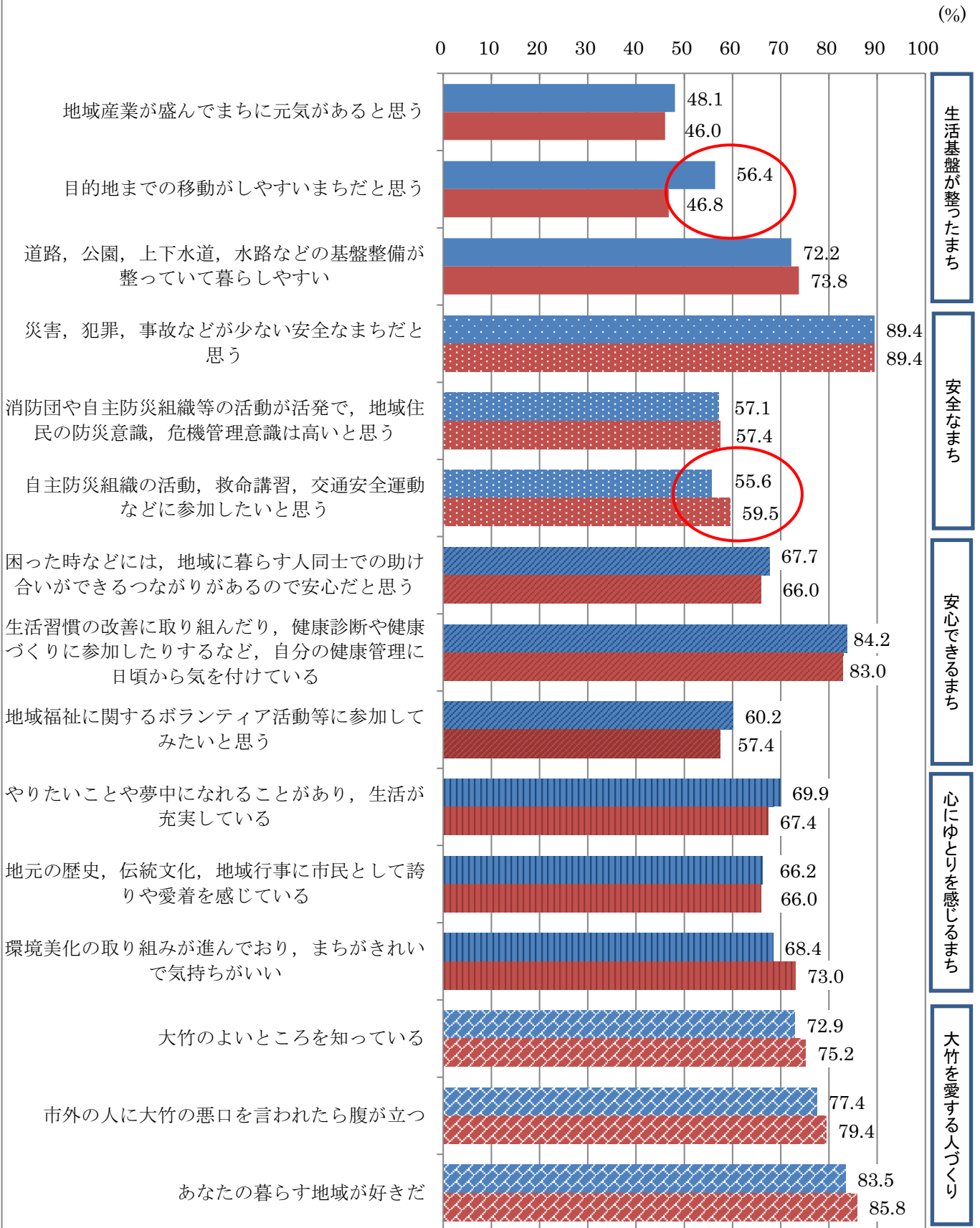
問1全体の肯定的な回答（「そう思う」、「少し思う」）の割合は、前年度と同様に6割を超え、68.2%でした。この結果から、問1全体としては、肯定的な意見が多いと考えられます。特に「安心できるまち」と「大竹を愛する人づくり」の項目では、7割を超えるモニターが肯定的な回答をしています。

| 項目 | 肯定的回答の割合 (%) | |
|-------------|--------------|------|
| | H30 | H29 |
| 生活基盤が整ったまち | 58.9 | 55.6 |
| 安全なまち | 65.4 | 68.8 |
| 安心できるまち | 70.7 | 68.8 |
| 心にゆとりを感じるまち | 68.2 | 68.8 |
| 大竹を愛する人づくり | 77.9 | 80.1 |
| 問1全体 | 68.2 | 68.4 |



1年前と比べてどうかについて肯定的意見の割合

(グラフ上段：30年度 グラフ下段：29年度)



15 設問中 7 設問で、前年度より肯定的な回答（「そう思う」、「少しそう思う」）の割合が増加しています。特に、「目的地までの移動がしやすいまちだと思ふ」は、前年度より 9.6 ポイント増えています。前年度よりポイントを下げたのは 7 設問で、最も減少したのは、「自主防災組織の活動、救命講習、交通安全運動などに参加したいと思ふ」の 3.9 ポイントです。

（２）市民自治（問 2）について

問 2 全体での肯定的な回答（「そう思う」、「少しそう思う」）の割合は、前年度より 2.4 ポイント減少していますが、高い水準を維持しています。

このアンケートのモニターに応募していただいた皆さんは、普段から、まちづくりに興味をもち、自分が暮らす地域をよいまちにするために、自らが考え行動しようとする市民自治の理念が根付いている人が多いようです。

| 設 問 | 肯定的回答の割合（％） | |
|-------------------------------|-------------|------|
| | H30 | H29 |
| あなたの暮らす地域のことに普段から興味をもっている | 80.5 | 83.0 |
| 自分もできれば何か地域の役に立てるようなことをやってみたい | 72.2 | 74.5 |
| 問 2 全体 | 76.3 | 78.7 |

（３）一般の回答との比較

一般とモニターでは、尋ね方が違うので、単純に比較することは難しいですが、「地域福祉に関するボランティア活動等に参加してみたいと思ふ」、「大竹のよいところを知っている」が一般の回答に比べて 27 ポイント以上高くなっています。

それ以外の幸せ感の傾向は、ほぼ同様ですが、幸せ感は一般と比べてモニターは高い水準となっています。

Ⅲ 自由記述「幸せ感に関するご意見, ご提案」など

※ 質問の回答になっていない記述は除いています。

1 個別の設問に関する回答(問1)

設問【自主防災組織の活動, 救命講習, 交通安全運動などに参加したいと思う】について「いいえ」と回答した人がどんな活動なら参加できそうか

| | |
|---|-----|
| 地域毎に分けての避難訓練。ただし, 豪雨, 地震, 工業地域の爆発なども想定した訓練 | 他2件 |
| 熊から逃げる訓練 | |
| 自治会活動 | 他2件 |
| 子どもと一緒に楽しんで参加できる体験型の活動 | 他4件 |
| 特典があるような活動 | |
| 防災の活動 | |
| 単身赴任中なので難しいですが, そうでなければ, 交通安全運動 | 他1件 |
| 高齢者を対象として高齢者講習(安全運転に関連した) | 他1件 |
| 仕事をしているので短時間でわかりやすく, ムダのない活動 | |
| 足が悪いので自宅やPCでの活動 | |
| 高齢の為モタモタしそう, ただ何か困っている人がいたら助けてあげたい。言葉をかけるなどしている | |
| 講習及び訓練など実技を希望する | |
| 楽しい講習なら参加したい | |
| 防犯教室 | |

設問【地域福祉に関するボランティア活動等に参加してみたいと思う】について、「はい」と回答した方が参加してみたいボランティア活動

| | |
|--|-----|
| 子どもと一緒に参加できるボランティア | 他2件 |
| 安全パトロール | 他1件 |
| 子どもの見守り活動 | 他4件 |
| 高齢者施設や保育所などへの慰問 | 他1件 |
| 福祉関係 | |
| 登下校時の子どもやお年寄りのお世話など身近でできること | |
| これまでやってきたことを生かせる, 役立てる活用 | |
| 手話通訳 | |
| 土日や居残りの子どものお世話, ふれあいの場があれば参加してみたい | |
| 障害児支援活動のお手伝い | |
| 障害者スポーツ | |
| 健康づくり | |
| 清掃作業 | 他6件 |
| 毎朝あいさつ運動 | |
| 老人の話し相手 | |
| 高齢者をサポートできる温泉施設, スポーツジム | |
| 近隣の人達との交流 | |
| ボランティア活動ならどんなことでも | |
| 災害ボランティア | 他3件 |
| 一人暮らしの老人を支えるボランティア | |
| 一人で暮らしていらっしゃる方と話したり, 花を育ててみたい | |
| 地域で一人暮らしの高齢者に対して見守りなどあれば今後やってみたい | |
| 外出介助 | |
| 介護関係 | |
| 「花いっぱい」活動 | |
| 年齢に応じた内容 | |
| 自分ではあまり活動的なことは無理でも, 人の話相手にはなります | |
| 身近な地域で現在やっているものを見て参加したいと思っている | |
| 自分の年でできること, 自分で畑を作っているので草刈とか草抜きならできるかな | |
| 防災活動 | |
| 大竹をより良くするためのボランティア, 和紙や廃校についてなど | |
| 登校拒否, 引きこもり, 何らかの支援 | |
| 地区行事 | 他1件 |
| 読み聞かせなど | |
| 地域の方と触れあえることならなんでも | |

| 設問【地域福祉に関するボランティア活動等に参加してみたいと思う】について、「はい」と回答した方が今実際にやっているボランティア活動 | |
|---|------|
| 地域のいきいきサロン他ゆうあいホームのお手伝い | 他1件 |
| 月1回のいきいきの協力, 月2回の会館の清掃 | |
| 地域交通推進委員に参加している | 他2件 |
| 小中学生の下校の見守りをしています | |
| 地区の納涼祭, 敬老会 | |
| 消防団 | |
| 地域防災防犯活動 | |
| タバコのポイ捨て対策 | |
| 登下校の子どもとあいさつする | |
| 高齢者の集まりや活動の裏方としてお手伝いを時々しています | |
| 地域おこし | |
| 聴覚障害者支援 | |
| 自治会の中のボランティア活動に参加している | 他7件 |
| ごみ拾い | 他12件 |
| 地区の筋トレ教室を月2回お世話している | |
| 花壇の除草の手伝い | 他3件 |
| 月1回のペースでサービス施設にコーラスボランティアとして参加している | |
| 今年度から栄町地区社会福祉協議会の活動に参画 | |
| シニアクラブのグランドゴルフ大会, 卓球大会 | |
| お寺や奉仕団体で細々と活動を続けています | |
| 自然災害時は率先して活動します | |
| あずまの付近の空き缶回収 | |
| 墓地のくずの焼却 | |
| 老人の見守り | |
| 老人クラブ | 他3件 |
| 近隣に迷惑をかけぬ様 自宅周囲には配慮 | |
| 公衆衛生推進協議会の「花いっぱい運動」に参加している | 他4件 |
| 子育て支援 | 他1件 |
| 地域参加のボランティア | 他1件 |
| 老人保健施設へ舞踊の慰問 | |
| 大竹市ではしていませんが, 学校のトイレそうじ | |

| 設問【環境美化の取り組みがあれば, 教えてください】 | |
|---|------|
| ポイ捨てを見ると注意している | |
| ポイ捨てはしない | |
| 自宅前道路にポイ捨てされたタバコの吸い殻拾い | |
| 家の前の街路樹は自分自身で行う | |
| ごみの分別はきちんとする | 他2件 |
| 自宅まわりのごみ拾い | 他10件 |
| 定期的に近所を清掃している | 他33件 |
| ごみはできるだけ減らそうと努力している | 他1件 |
| 私の身近に積極的に取り組んでいらっしゃる方がいて, 少しでも一緒にとまってやっています | |
| 自治会から選ばれて環境衛生協力員として要請があれば行事に参加している | |
| ごみ収集は素晴らしいと思う。町がごみで汚れていると思ったことはない | |
| 自宅近辺の草取り | 他10件 |
| 市道の植木が枯れているところに植えて楽しんでいます | |
| 道路のごみ拾いや草ぬき | |
| 公園の花壇づくり | |
| 大竹市公衛協の花いっぱい運動の推進事業 | 他9件 |
| 地域資源保全 | |
| 庭木の手入れ | 他1件 |
| 自治会で大桶筋, 栄シニア七福会で栄公園作業 | |
| 地域の美化活動 | |
| 家の周囲に花を植え野菜もつくり緑を多くしている | |
| 自治会としての水路清掃奉仕 | |
| 落ち葉の収集 | |
| 自分の家の周囲の整理 | |
| 生ごみなどをできる限り肥料に使用 | |

| | |
|--|-----|
| 夏、県/市道の水まき | |
| 道の両側に花があったら、いいと思いますが、道が狭くなると交通事故など起きやすいので少し考え中 | |
| アイドリングストップ実行 | |
| 省エネ行動。省エネ型家電の購入など | |
| できるだけ徒歩や自転車で移動する | |
| 年に2回の美化活動に参加する程度でもっと積極的に取り組みたい | |
| 自治会主催の活動 | 他1件 |

| | |
|--|------|
| 設問【大竹のよいところを知っている】について、「はい」と回答した方が考えるよいところ | |
| 小方学園に通う子どもがいます。子ども達が安心して登校でき、良いことだと思っている | |
| 水資源が豊富である | 他1件 |
| 自然が豊か。海があり、川があり、山があるところ | 他30件 |
| 自然がたくさんあって子どもと一緒に遊ぶのに困らない | 他1件 |
| 小さな町であるが、自然が豊かで交通の利便性も良く、災害にも強い地域であること | |
| 海と山と川の自然に囲まれ、アウトドア派には、色んな楽しみ方ができること | |
| 住みやすい。ほどよい田舎 | 他9件 |
| 田舎だけど田舎すぎず、コンビニやスーパーもあり、ほど良く緑があり、住みやすく、落ち着くところです | |
| 買い物、体育館が近くにあり便利にしている | |
| 生活に必要な物を買う場所が近くにたくさんあること | 他8件 |
| 他県から来た者にもやさしくしてくれるところ | |
| 年に一度の秋祭り | 他4件 |
| 駅伝 | |
| 災害が少ない | 他7件 |
| 治安がよく、安心して生活できる点 | 他5件 |
| しばらく大竹を離れていたことがあり、大竹に帰ってきた時、思い出が色々場所にあり、ふるさとと感じた | |
| 交通の便がよく便利で運転しやすい町 | |
| 人口が減少していて活気は見られないが、大きな事件もなく犯罪者も耳にせず、気候にも恵まれ田舎暮らしの定住者にとっては、少しばかりの土地で野菜づくりや花を育てて、穏やかに暮らせて満足しています | |
| 町がコンパクトで移動が楽 | |
| 市が比較的コンパクト。それに対して行政機関が揃っている。大都会と言える広島市にも比較的近い | |
| 行政もこまめでよく行き届いている方だと思う | |
| コンパクトな市ではあるが、人と人のつながりが多いし、高齢者を見守る体制が割と整っていると思う | |
| こじんまりとして一人一人の顔が見える | |
| 町全体が静かなところ | 他1件 |
| 町全体の雰囲気落ち着いていてきれい | |
| 石油化学コンビナートの工場が多く、職が得やすいところ | 他3件 |
| 栄公園はきれいになり、子ども達のがのびのび遊んでいるのを見て、嬉しく思います。そして我孫がきても栄公園で遊ばせています。とても良い公園になりました | |
| 工場と自然が両立して存在するところ | |
| 人は優しい人が多いと思う。地域のために力を尽くす人が多い | 他10件 |
| 小規模な町だからこそお互いのことをよく知ろうとする関係が深く、昔から住んでいる人から歴史やお祭りなど伝えていく努力がされていると思う | |
| このようなアンケートをして、たくさんの意見を聞いているところ | |
| 歴史的な資料が残っている | |
| 歴史がある | 他1件 |
| 伝統文化がある | 他2件 |
| 地域の歴史を大切にしている | |
| 歴史と文化のある町で伝統を生かして子ども達に伝えたい | |
| 亀居城、苦ノ坂など歴史が誇れる | |
| 大竹祭りなどの行事も市民がたくさん参加し、とても活気があり、良いと思う | |
| 駅や病院・店などちょうど良い間隔であり、町もちょうど良い大きさである | |
| 公民館でのサークル活動が盛んで、それを通じて友だちがたくさんできている | |
| 大竹駅前とか道路の横に石に絵が描かれていていいです。それを見るのがとても素敵です | |
| 子どもが遊べる公園もできたり、大竹市内でイベントもあって毎週おでかけできる | |
| 市のイベントが多いので活気がある | 他3件 |
| 静かすぎるくらいですが、みんな心を寄せ合い協力している生活が私は好きです | |
| 道を歩いてもごみが少ない美しい町だと思います | 他3件 |
| 上下水道が早期より整備されたこと | 他1件 |
| 地域の皆さんの御協力で挨拶運動、子ども達の交通安全、見守り。3世代でのレクリエーションなどが行われており、とても素晴らしいことと思っています | |
| コミュニティバスがある | |
| クリスマスシーズンには、イルミネーションがきれいです | |
| 育児支援が充実していて良いと思います | |

| | |
|---|-----|
| 福祉に力を入れているところ | 他2件 |
| 道路沿いに花を植えている, 気持ちが明るくなる | |
| ひとつの行事に熱中できること | |
| 互助, 先輩をうやまう | |
| 繊維産業, 化学産業などが盛んで, 上下水道が完備していて, きれい | |
| 港湾, 高速インターなど流通アクセスが良い。岩国大竹道路が早く完成すればもっと良くなる | |
| シニアの健康づくりが良いと思います | |
| シニアの人が子どもの交通整理をされていて良いと思います | |
| 花火大会, 秋の祭りなど小規模ながらそれなりに盛大で楽しめる | |
| 工場地区のクルージング夜景 | 他1件 |
| 健康推進に取り組んでいる | 他1件 |
| 人が集まる公園が増えた | |
| 「市政だより」を読んでいると, 市役所の熱意を感じる | |
| 人との交流がある | |
| 何かあれば近所の人達と協力してやりとげることができると思います | |
| 和紙がつくられている | |
| 隣近所とのコミュニケーションがとれているところ | |
| 出身有名人が結構いる | |
| 代々住んでいる人が多い | |
| お好み焼きが安くておいしい店が多い | |
| 個々で活性化させようと活動されている方々を見かけることが, 最近増えたと感じる | |
| 弥栄ダム | 他1件 |
| 亀居城 | |
| 小瀬川河川敷ウォーキング | |
| 玖波青木線の散歩 | |
| 黒川 錦龍の滝 | |
| 三倉岳周辺の景観 | 他1件 |
| 大竹駅前付近石画 | |

| | |
|--|------|
| 設問【あなたの暮らす地域が好きだ】について、「はい」と回答した方が、特に好きなおところ | |
| 人が良い | 他20件 |
| 人間関係がとても良い | 他35件 |
| 夜は静か | 他12件 |
| 子どもの声がしているので元気がもらえる | |
| 今の地域は地元の方が少なく, 外から来た人が多かったため, 最初からご近所の方と仲良くできて良かった | |
| 近くにスーパーや病院があるので生活しやすい | 他14件 |
| 図書館の職員の方たち皆さん親切だと思います | |
| 住めば都です | 他1件 |
| 生まれ育った場所だから | 他15件 |
| 緑が多く, 自然が豊かなところ | 他25件 |
| 自然が豊かで子ども達がのびのびと遊ぶことができる | |
| 山が見え, 川も海もみられるから。歌のような風景があちらこちらあるから | |
| 山もあり, 海も近く食物は豊富である | |
| 家から見える景色 | |
| 森とか林があって, 遊歩道や少し木立のある公園 | |
| 色々な地区で行事があり, 孫と参加している | |
| 大型スーパーがある。小学校がきれい | |
| ザワザワ感がなく, 落ち着ける | |
| 住んでいるところの老人会に入り, ボランティア, レクリエーションなど会員が仲良く気をはらず一緒に話しあ | |
| いながら暮らせているところ | |
| 古い人が昔の事をあれこれ聞かないから | |
| 向こう三軒両隣の風情が今も残り, 常に会話ができる状態でさみしくない | |
| 高齢者にとっては暮らしやすい町ではないか。シルバー人材などで就業の機会を多くしているのも良いと思う | |
| 知人, 親戚などが多いところ | |
| 駅は近いし, コンビニ, スーパー, ドラッグストア, 生活に不自由を感じない | 他16件 |
| 現在のライフスタイルにはちょうど良く, 暮らしやすいところ。しかし老後生活するにはどうかわからない | |
| 安心して暮らしができているので, 特にないが, 好きです | 他2件 |
| 治安が良く安心して生活できる | 他5件 |
| キレイで住みやすい | 他1件 |
| 暮らしやすい | 他4件 |
| 自然災害が少なく, 生活しやすい | 他3件 |

| | |
|---|-----|
| 学校、会館など利用しやすい | |
| 生活する地域時間の流れがゆっくりしている | 他5件 |
| 狭いながらも就労、移動、買い物など生活の便宜を得ていること | |
| 市町としての歴史が長く、古い物とあたらしいものが入り混じっている | |
| 自治会の活動がすばらしい | 他7件 |
| 挨拶は必ず返ってくる。生活条件はそろっている | |
| 晴海の整備 | |
| 大竹は工場が多く、空気が汚れている印象を持たれがちだが、白石地区は比較的静かで学校などもあり、住環境には適している | |
| 魚がおいしい | |
| 伝統行事を守り、実施している | |
| 人口も多過ぎずまとまった町に感じられる | |
| 町並みが急激に変化しないところ | |
| 気候が温暖 | |
| 近くに公園があり、ほっとする | |
| 古い家屋があるところ | |
| 土手に登ると大竹の花火大会が見えること | |
| 近所の山、神社、お寺が静かなところ | |
| 皆で話をしたり笑ったりするところ | |
| 私が住む地域はお歳が上の人が多いが、皆、親しみやすくでどんな人も子どもを優しく見守ってくれる過ごしやすい場所だと感じています。大きな声を出しても、元気いねと笑顔をむけてくれるので、安心して外遊びさせられる。他の地区ではうるさいと言われたと聞いたこともあり、うちの地区はありがたい | |
| 晴海公園、亀居城のように、日常的にゆっくりできる場所が身近にある、文化的施設が充実するとより良くなる。例えばアゼリアホールを対外的に誇れるようなものにする | |
| 街灯がついている | |
| スーパーとドラッグ店ができたこと。内科医院ができれば申し分ない | |
| ダイセル他の工場がならぶ夜景はすごくきれいです。暗い夜に明々と電気がついて夜も人が働いていると実感します。活気があると思います | |
| 西栄は、これから大竹駅東口開発と共に自治会にも新しい人材が入ってくれる期待感が大きい | |
| 地域には同年代が多く、話が合う | |
| 子どもが遊べる公園などの整備が進んでいると思う | |
| 大瀧神社周辺は歩いていて気持ち良い | |
| 県外の間が多く、転入者が暮らしやすいところ | |
| 空気がきれいになった | |
| 住んでいる栄地区 | |
| 買い物など他に市役所、郵便局、停留所(こいこいバス)選んで引っ越ししました | |
| ゴルフ場が近くにたくさんある | |
| 知らない人でも子ども達があいさつしてくれる | |
| 大竹市に住んでいれば好きになります | |
| 最近近くにスーパー、ゆめマート、しまむら、ココカラファイン、栄公園がきれいになり、グランドゴルフをやっていて、気持ちがいいです | |
| 家に帰ると落ち着くので大好きです | |
| スーパーがなくなって不便ですが、小さな町の中に生活に必要な物が揃っている | |
| 大竹各地で毎秋に行われる伝統有る秋祭り | |
| ライフラインが整っている | |
| 市の行動、まつりなどが活発 | |
| 市長の「大竹を愛してる」と感じられる人柄が好き | |
| 地域に公園があり、各地域で清掃がもっと行き届くと、とても素晴らしい環境で活動できると思います。文化的な伝統が優れている | |
| 玖波で生まれ育ち、6年くらい和木に住んで、子どもが学校に入学する時玖波に家を建てた。時は流れて変化したけれど、この土地で育て良かったと思う | |
| 周辺の環境が良い。水道、下水道が充実していると思う | |
| 水道水が美味しい | |
| 川べりが整備されていて、心地よく利用しています | |
| 小方神社 | |
| 高齢者にとっても生活するのに全て身近にあり、生活環境は良い町だと思う | |
| 平地なのがよい | |
| あいさつはみんな良くします | |
| 行事に協力される方が多く、参加者がたくさんいらっやいます | |

| 設問【あなたの暮らす地域が好きだ】について、「いいえ」と回答した方が、好きになれない理由 | |
|--|-----|
| 少子化なのに子どもに関する補助が少ない | 他3件 |
| 道路や歩道が整備されていない | 他7件 |
| 駅の整備が進んでいない | 他4件 |
| 小学校が遠い | |
| 田舎、不便、全ての施設が中途半端 | |
| 交通機関が少ない。不便。バスもあるが、本数が少ない | 他6件 |
| 人は良くも悪くもないが大企業、中小企業共に人に冷たい | |
| 山崩れの心配がある | 他1件 |
| ごみだしのマナーが悪い | |
| 近くのスーパーがなくなり、車の運転ができないので買い物が不便です | 他9件 |
| 5年前に東京から嫁として親元に帰ってきて、まだ様子がよくわからない。東京の生活が長く、あまりにも便利が良いところに住んでいたため慣れない | |
| まちづくりが晴海方面に偏り過ぎて、バスなどの交通がないに等しいのは問題だと思う | |
| 空気がくさい | 他2件 |
| 公害がひどく町が美しくない | |
| コンビニートばかり | |
| 街灯が少ない | |
| タクシーの運転手が高齢者ばかりで不安 | |
| 大竹駅の周辺に行くと、シャッターが閉まっているところばかりで、悲しい気持ちになる | |
| ゴミステーションに出しているゴミを、カラスなどがあさって道路に散らばっている。その箇所の数が多い | |
| 取り組みが20～30年遅れている | |
| 空き家対策による防犯と有効活用が全く進んでいない | |
| 市外の人に「大竹にはこんなところがあるから一度きてみてよ。」とか言える場所がない | |
| タバコのポイ捨て | |
| 2014年8月と昨年2018年7月、大雨で自宅が床下浸水になりました。その時本町地区の自宅周辺一帯が、浸水被害に遭いました。下水道、側溝の排水設備の改善を強く希望します。台風や大雨が降るたびに心配です | 他1件 |
| 野生動物が出没するのが恐ろしく山に登れないこと | |
| 岩国基地の騒音が一段と大きくなってきた | 他1件 |
| 大竹市の外れに住んでいますから小瀬川の氾濫の不安。防災放送は、雨の時や風の向きで聞こえず、大きな不安を感じています。天気の良い日でも家の外に出て耳を澄ませて聞くようにしないと聞こえません | |
| 後期高齢者が多く、若い人が少ないため、心配 | |
| 特に愛着がないから | |
| おおきなマーケットや公園が近くにあるといい | |
| 地区内への転入者に対し、会館建設運営費として5万円を徴収していること | |
| 交通マナーが非常に悪い。これから大竹も高齢者が多くなってくるので事故も増える | |
| こいこいバスが小さい | |
| 歩行者が入りにくい | |
| ごみ袋がすぐに破れる | |
| 元気がなく、刺激もない | |
| お友達が来ても、食事に行く場所がないし、見物するところがない | |
| 自分が良ければいいという人が多い | |
| 川があり、山があり、スーパーがあり、生活しやすいが、車で移動しなければいけないので、もう少し便利になるとマイカーがいらなくなる為、検討してほしい | |
| 若い人の協力が無い | 他1件 |
| 自転車の駐輪場代が広島市内より高い | |
| 干渉する人が多い | |
| 地元の方とは馴染めない | 他4件 |
| 引っ越ししてきてまだ密着していない、以前の方が良かったと思う | |
| 広島大竹は保守的であり、外部を受け入れる器の小ささを、子どもの頃から強く感じているため。継続力、実行力が弱い | |

2 市民自治について(問2)

| | |
|---|-----|
| 設問【自分もできれば何か地域の役に立てるようなことをやってみたい】について「はい」と回答した人が「やってみたいこと」 | |
| 具体的に何をしたいかはあまり考えたことはないが、地域の役に立ちたいと思っている | 他3件 |
| 猫の保護活動に参加 | |
| みんな仲良く暮らしていけばいいと思います。私たちはいつも暇があればいろいろなことを話し合います | |
| 自分も高齢者ではあるが、地域の困っている高齢者に対して自分ができる様々なお手伝いを、最小限の実費を頂きながらしたい | 他1件 |
| 無理なくできて継続できること | |
| 子ども食堂 | |
| 子ども達の役に立つこと | 他7件 |
| 環境の美化 | |
| 花を植える | 他1件 |
| 地域の福祉や交通安全に関するボランティア | |
| 地域の目玉となる発想 | |
| 地域における介護見守り活動をし、一人暮らしや認知症を対象として定期的な家庭訪問 | |
| 自治会活動への若者の取り込み | 他3件 |
| イベントの手伝い | |
| 人々が参加しやすい自治会を作りたい | |
| 後期高齢者でもできる職種(内容) | |
| 家族や地域の人にあまり迷惑をかけないようにしている | |
| 一人一人の意見を行政に反映できるシステムづくり | |
| 役に立つことではないかもしれないが、生活していく上で不便なことや改善して欲しいこと。例えば、保育園のことや粗大ごみの時間帯、曜日について意見してみんなが暮らしやすいまちづくりを考えていきたい | |
| 集客力のある場所をつくり、岩国、廿日市からの客を呼び込みたい | 他1件 |
| マロンの里にお客さんがもっと来てもらえるように考えてみたい | |

| | |
|---|------|
| 設問【自分もできれば何か地域の役に立てるようなことをやってみたい】について「はい」と回答した人が「今実際にやっていること」 | |
| 積極的に自治会活動には参加しているつもりです | 他15件 |
| 年4回サロンの開催 | |
| 消防団に入っている | |
| 老人クラブ役員、生涯学習の世話 | |
| 地域の人に迷惑をかけないように | |
| 学童の下校の見守り、挨拶の声かけ | |
| サークル活動の世話をしたこと | 他1件 |
| 楽しめる行事への参加の勧め | |
| 地域の美化 | |
| 1人で住んでいる方のポストがたまってないかなどか気かけたり、あいさつをして皆さんと少し会話したりしてる | |
| 地域ボランティア活動 | |
| お祭りなど行事のお手伝いをしている | 他5件 |
| コミュニケーションを取っている | |
| 手伝いを頼まれるとしている | |
| 防犯の為に気持ち良い空間を心がける | |
| 子育て支援 | |
| 盆踊りの指導 | |
| ご近所さんの声かけ | |

| | |
|---|------|
| 設問【自分もできれば何か地域の役に立てるようなことをやってみたい】について「はい」と回答した人が「やってみたいと思ってもできない理由」 | |
| 家族の介護で余裕がない | 他5件 |
| 高齢者なので無理です | 他21件 |
| 仕事や孫の世話などで暇がない | |
| まだ仕事をしているため、時間に余裕がない | 他18件 |
| 時間がない。情報がない | |
| 体力的に難しい | |
| 機会がない | |
| 子育てなど、時間的に余裕がない | 他3件 |
| 自分のことで精いっぱい、時間に余裕がない | |
| 人を集める組織的な手段・方策がない | |

| | |
|--|-----|
| やはり金銭でしょう。やりたいことあるよ。資金が物をいう。全体的にバスの運行状況を金銭面に考える余裕を持つ | |
| 自治会の福祉活動として取り上げられていないので、難しい面がある | |
| 提案しても個人攻撃になり住みにくくなる | |
| 自治会が同じメンバーで参加しにくい。自分にも責任はあると思うが一歩が出ない | |
| 後期高齢者なので班長の順番が回ってきたらと思うと気持ちが晴れません | |
| 高齢ながら外に出て週3回位働いています。家と両立は難しい | |
| 高齢の移動手段が難しい | |
| 月1回ぐらいのペースでもできればいいが、準備とかグループの高齢化とか難しい | |
| どのように動けばいいかわからない | 他2件 |
| 仲間意識のすれ違い | |
| 全体的に温度差が大きすぎる。当事者たちはそこに気付かずまとまりがない | |

◎項目「生活基盤が整ったまち」

○設問【地域産業が盛んでまちに元気があると思う】

| 心配に思っていること | 解消する方法 |
|---|---|
| 地場産業の発展・継続と農業の発展・維持 | 地産地消・後継者の育成 |
| スイミングを習えるところが市内にない | 市営プールがほしい |
| 人口流出 | 住居整備, 子育てしやすい環境 |
| 人口の減少 | 企業を増やす |
| 人口減少 | 町の活性化, 早くに大竹駅や新しい保育所, 小方駅などができることを待っています。公園大型遊具も夏場は暑くて鉄板は使えません。水あそびできたらいいなと, やっぱり年間通じて使える場にして魅力あるものにしてほしいです |
| 人口減少が加速している | 地元企業は地元住民にもメリットを与えてほしい |
| 若い人や子どもが少なくなっている | 若い人の働く場所が必要 |
| 若い人が少ないから元気ではないと思う | 大学などつくれば良いと思う |
| 若い世代が少ないので, どんどん人口が減少していくのではないかと心配している | 今, 人気が出てきているボルタリングなど, 人が集まる場所をもっと, つくっていくと良いと思う |
| 人口減少など低迷は明らか | 全国的なことなので難しいが, 行政に一層頑張ってもらいたい |
| 元気がない。実際にシニア以上に仕事が少ない。若い人がどんどん減っている | 若い人が, 安心して結婚して子どもを育てることが, できるように経済的に楽にしてあげなければダメ |
| 元気であるとは思えない | 地元で買い物のできる店がほしい |
| 若い人が住みたがらない | 生活レベルが高い人が住む町になれば |
| 大企業に元気なし, 大企業に頼る中堅企業。子どものための企業が少なすぎる | 子どもにターゲットを絞って政策を重視すること。子どもが暮らしやすい地域という評価が定着すれば, 子を持つ親は引っ越してくる |
| 工場はあるが市外からの勤務者が多く, 市の住民にとって役立っていない。マナーが悪い | 会社があるところの市民の目線で考えるべき |
| お店が少なすぎる。まだこの店やってるの? 閉まってるの? というところもたくさんある。子育て世代のママたちがランチするお店さえ, ほとんどない | 大竹駅付近にせっかく大きなマンションが建ってて, 若い人も住んでいるのに, 駅から歩いて行ける場所がさびれていて, これでは若い人も住もうという気持ちになれないと思う |
| お店が少ない | - |
| 市全体は活力があるようですが, 玖波地区は商店が少なくなり, 高齢者は買い物難民になっています。商業地域への移動もバス便は少なく今後が不安です | 小方駅が早くできるといいと思います。少し元気がなくなっている玖波から元気な小方や新町へ出かける機会が増えれば人も元気になるのではと思います |
| 個人商店は客が減っているように思う | - |
| ゆめタウン周辺は栄えているが外れると何も無い | 国道沿いにも店舗が出てくると良いと思う |
| 駅前商店街の衰退。スーパーの夜間営業をやめるべき | - |
| 小売業が縮小化して大型店の進歩で活気がないのではないかと | - |
| 大竹の有名なことがもっとできてきていいと思う | テレビなどメディアでもとりあげる |
| 通過点になっているため発展しにくいのでは | - |
| 日常の買い物に困る | 毎日の食料品, 雑貨などを売る店があると良い |
| 多くの人に認知されている特産物が少ない | より, PRする |
| 自分が子どものころに比べて, 小学校・中学校の生徒数がかかり減少しているのが気がかり | 働く世代を増やすことを考えなければいけないのではないかと思います |
| 個人商店など廃業が目立つ | 将来を見通してまちづくりのビジョンを明確にし, 計画的に推進する |
| 駅前がさみしく感じる | - |
| 駅周辺の小売店がさみしい感じがする | 新規のお店の誘致やイベントをする |
| 年をとり, 行動範囲が狭くなると, 近くの商店などが少なく心配 | こいこいバスの運行を続けてほしい |
| 地域産業と言われてすぐになにかがあるのか思いつかない | 和紙は最近, こいのほりとかでも良く聞いたので知りました。他にはどんなところで, 何をつくってるのかマップみたいなのを配ったり, イベントしたりしてほしい |
| 会社の活力がおちついたか, 通勤人の姿が減ったことです | - |
| 農業をしているが後継者がいない | 農業の近代化, 省力化して青年が就農しやすい環境をつくってみる |
| お洒落な商品を手軽に手に入れたい | 大型の商業施設があればよい |
| 現在大竹の町は暮らしやすいが, 小瀬川の通りの道が暗すぎる。通る人が案外多い | 街灯を増やしてほしいと思う |
| 大竹駅前など中心部ににぎわいが無い | 若い人の移住。定住の促進 |
| 産業自体がない | - |
| 全体的に高齢者が多いように思うので, 自分も含めこれから先, 今までのような生活ができなくなるのではと思う | 現在は車中心の生活なので, できなくなると想定すると, 買い物配達サービスや移動のためのバスやタクシーのサービスの充実が, 必要だと思う |
| 年配の方が増えているが, 近所にスーパーなどがなく, 買い物に不便になってきている | 町に一軒でも良いのでスーパーをつくってほしい |
| 若い人が他県へ就職せざるを得ない | 地元の人を採用してほしい |
| プラントも多々あり, 産業は盛んだが町に元気は全くない, 駅がよい例である | 大竹駅の改修(2号線側に改札口など)晴海にスポーツ施設(フットサルなど) |
| 化学工場しか地域産業がないのでダメになった時が心配 | もっと市全体で仕事につながる産業を考えないといけない |
| なにか特徴のある町おこしを考えてほしい | 晴海の子ども広場を大竹以外からも来て楽しんでもらえるような規模の大きなものにしてほしい。遊具を増やして市外の親子づれにも魅力あるものにする |

| | |
|--------------------------------|--|
| 玖波にはすでに買い物できる店がありません | 駅前にスーパーがまたできればと思いますが、無理なら移動店舗が何力所か販売に来てくれればと思います |
| 隣の廿日市は海沿に景色のきれいなカフェがあるのに大竹にはない | つくってほしい。海もきれいなことだし |
| 大竹独自の新しいビジネスモデルが見えない | いろいろな世代の知恵で切り開く |

○設問【目的地までの移動がしやすいまちだと思ふ】

| 心配に思っていること | 解消する方法 |
|--|--|
| 子ども達が高校になる時の通学路 | 駅が小方地区にあると助かる |
| バス停が遠い | バス路線を増やす |
| 様々な交通機関が少ない | バスの本数をもっと増やす |
| バスが少ない。高齢のために免許を返納したら移動手段がない。JR大竹～玖波まで距離がある | バスの本数を増やす |
| 主要道路にしかバスが走っていない。道が悪く車椅子で走行しづらい | バスの路線拡大。路面の整備 |
| 車で移動が主体になっていて、車移動できない時は、バスだと時間に合わなかったり、乗り換えたりしないといけない | バスの本数を少し増やすか、路線を増やす |
| 車がないとダメな地域がある | バスの充実、タクシー券 |
| バスなどが坂が多い地区にかぎってこない。車が乗れなくなった場合タクシーなどは、負担が大きいのでせめて小方ヶ丘まで来てほしい | 小方ヶ丘までバスが来てくれると助かる |
| 車のない人の移動 | 現在はほとんどバスを利用、時々タクシー。できれば午前と午後1回ずつ増便してほしい |
| 人が多くいるが年寄りが多く、買い物、医療機関へ行くのに困る人が多い | バスなどの公共交通機関をつくって欲しい |
| 団地内まで交通機関が入ってこない | デマンドバスの本数を増やす |
| 個人病院などに行くのに手段がない | 乗り合いタクシー、免許返納者へのタクシー券配布 |
| あまり利用することはないがバスの本数が少ない | 増やす |
| 昔より大分よくなったと思うが山の奥の方が心配 | 高齢化が進むのでなにかバス、タクシーのようなものがあればいいと思う |
| 特に車を手離した高齢者の移動手段 | 路線バスの増便と拡大及び減額、特に病院への行き帰り |
| 駅や病院に行くのに車がないと大変不便です | 市内バスの便を増やしてバス代を無料にしてください |
| 今は車があるので困らないが今後不安 | 今バスは1日5便くらいしかないが10便くらいに増便する |
| 高齢者になり、買い物 交通に不安を感じる | こいこいバスを各地域までのばしてほしい |
| 70代は車はまだ必要ですが返納することが心配 | 近くにスーパーがない。足がないと困る |
| 車や自転車での移動が困難になったらどうすれば良いのか | 例えば「こいこいバス」のようなものを駅から元町の方にも出してほしい |
| 国道が渋滞すること | まず岩国～大竹バイパス道路を早めにつくること |
| 夕方の外出がこわい。地域の街灯を明るくしてほしい | - |
| 大竹駅は2号線側に改札口がなく、仕事で重たい荷物を抱えて、駅の階段を上り下りするのが大変 | 早期に完成をしてほしい |
| 2号線の渋滞がひどい。岩国まで1時間以上かかった | 岩国～大竹道路の推進 |
| 大竹、岩国間の道路工事が進んでいない | 工事は早く進める |
| 玖波駅周辺は朝を中心に人数が多いのにもかかわらず、車道との兼ね合いがあまりよくない | 歩車分離 |
| 高齢になった時の移動手段 | バスの地域などを増やす |
| 交通機関がない。今は車に乗れるが将来は不安 | こいこいバスなど交通機関の見直し整備と運行間隔の見直し |
| 車がないと移動に不便 | - |
| 地域にスーパー、お店がない。ちょっとした買い物も車の利用必要 | バスを幹線道路だけでなく、団地とつないでほしい |
| 南菜には市営バスが走っていない様に思います。高齢になり、車に乗れなくなった時など、買い物や病院へ行くことが不便ではないかと思っています | - |
| 小方二丁目、青木線から市役所方面に通行する際危険 | JRの鉄道の下を拡張する |
| 大竹は高齢者も多く、自転車に乗れない年になった時、病院や買い物に行く際、タクシーを使うしか手段がなく、不便 | - |
| 高齢者の移動が今少し不便です | 交通手段、もっと充実したものになれば幸せです |
| 大竹にも高齢の方々がたくさんいらっしゃいます。住む場所によっては交通の便が良いところもありますが、不便な地域が多くあります。少しでも不便でないように改善案を望みます | - |
| JRの駅も整備が遅れているし、他の手段がない | 高速バスなどで広島市内に行きやすくなると良い |
| 主人が高齢になり、車の免許返納を考えている | 和木や岩国市のようにタクシー券の補助があったらいいと思います |
| スーパーなどの商店が近くにない高齢者に都合が悪い | わからない |
| 小学生、中学生、高校生の登下校時、もう少し交通ルールを守るように思います | 各学校での指導も必要と思う |
| 2号線を渡る信号を、もう少し増やしてもらいたいです | - |
| 現在市内には、こいこいバスがあるが、1時間に1本と不便を感じる。せめて30分間隔であればと願っている | - |
| 家が高台にあって公共交通機関がないこと | 乗り合いタクシーを利用しやすいようにする |

| | |
|--|--|
| こいこいバスについて | 一部の人だけでなく、みんなが利用できるように |
| 御園台にいるけど車に乗れなくなったら、スーパーまで行くにはどうしようかと思えます。80才まで乗ると思う | 今、あじさいタクシーがあるけど、病院と駅に行かないから困る |
| 岩国へ行く時、帰ってくる時の渋滞 | 新しい道をつくる。車線を増やす |
| 公共交通機関がないので、車が運転できなくなると困る。病院にも行けない | タクシーの利用補助 |
| 御園台ができて、30年が過ぎ、高齢者の団地になった。海拔50mあり、病院や買い物の時移動に困っている。福祉タクシーが設けられたが利用は少ない | 立戸から玖波線の定期バスを「芸南ハウス～御園台第1公園～御園大橋」とするよう、路線バス経由の変更をする(幼児の通園バスはここを経由運行している) |
| 大竹駅両側の踏切が時間が長い、不便 | 最新高性能の遮断機にして最短にする |
| 今も歳ですが、乗り物も使えなくなり、タクシーは高くて不安です | 乗り合いタクシーの値段を少し安くしてほしい |
| 市内方面へ行くには時間がかかる | バイパスを宮島より大竹側までひいてほしい |
| 運転できなくなった時の交通の便が良くない | - |
| 遠くへ行くバスがない | - |
| バス路線に住んでいないと移動が不便 | 地域での乗り合いタクシーで、集会所などで集まって、お年寄りが買い物や病院などに行けるようにしてほしい |
| 大竹駅、玖波駅共、駅前に空き地が多過ぎる | マンション住宅など積極的に誘致するか、便利な買い物ができるところにする |
| 朝夕の2号線の交通渋滞。駅の出入り口が1カ所しかない | 信号のタイミングを合わせる。駅の東側にも利用できるようにする |
| バスがなくなった | 便数を増やす |
| 若い人は良いと思うが、お年寄りには道が狭い。バス、JRではいけない所、本数が少ないので本当に大変だと思う | 駅(小方)をつくる。バスの本数を増やす |
| 歩道など段差が多い | - |
| やはり買い物が心配かな。今は自転車で行くけどいずれ乗れなくなる | - |
| 今は車を運転できるが今後運転できなくなった時が心配 | - |
| 車の運転ができなくなった時 | 車の代車(バス・タクシー) |
| 年をとったら、車の運転ができない | 交通の便をよくする |
| 将来、車が運転できなくなった時の交通手段が少ない | こいこいバスの頻度をあげる |
| 高齢になり、車が運転できなくなった時の移動手段 | 2号線に幹線バスを運行してほしい |
| こいこいバスはありますが、お年寄りや体の不自由な方は駅やバス停までもなかなか出られなったりします | 栄町あたりの乗り合いタクシーやワンボックスカーで家の前まで来てもらえるようになればいいのではと思います |
| 移動が難しくなった時の手段が気になる。歩いていける場所にお店がない | タクシー券とかもらえると聞いているが・・・ |
| 駅までが遠く、どこかへ行こうと思うと車が必要な場合がある | バスの普及といっても資金がですよ |
| 車がないと移動しづらい | バスなどの活用 |
| どこに行くにも車が必要 | - |
| 年をとって車に乗れなくなった時困りそう | 安く、移動できる交通手段があればよい |
| 高齢者、身体不自由な人が住むエリアによって、買い物、病院への移動が大変な状態をよく目にする | 現在のこいこいバスの増便やエリア拡大。タクシーもどんどん動いてほしい |
| 車がないと移動が困難 | 公共バスの整備(運賃を安く) |
| ゆめタウンへの毎日の買い物が不便 | 電車の高架下の通路(道路幅)を広げてほしい |
| バスの本数が少なくて不便、小方駅があれば便利 | バスの本数を増やす。特に朝もう少し早い便か、もう少し遅い便があると良い。小方駅をつくる |
| 線路の反対側に移動しにくい | 道路を整備してほしい |
| スペイン通りの静けさ | 交通ルートの改善、空店舗活用 |
| 自分は今車に乗れるから良いけど交通手段がすくな過ぎる | バスの便数を増やしたり、安くしたり、タクシーの乗り合いをしたりすれば利用者も増えて収支が良くなる可能性も |
| 年寄りが多いのでやさしいまちづくりを。1駅以内に大病院があれば移動も楽 | 体力のない人に遠くの移動は逆効果 |
| 年配の方には各駅が良い | 駅をつくる |
| 近くにお店がなくなった。バスに乗るまでが大変 | - |
| 車による移動ができる人にとっては道路も通行しやすいし、整備されていますが、車に乗れなくなった時が心配です | JRやバスの便をもっと便利よくしてほしい |
| バス利用したとしたら時間がかかりすぎる | - |
| 公共バスがない | - |
| 移住地が高台に多くあり、公的交通機関がない | 先進地を参考にしながら、総合的に知恵と工夫を結集し、良案を策定する |
| 病院、駅に行く時に不便に思っています。タクシーに乗る際、予約日を見せて、少し割引いてもらおうと幸せです | - |
| 今は車に乗っているので自由に移動できますが、車をやめると団地が坂の為、買い物、病院などが不安です | 平地に転居すればいいんでしょうけど |
| 隣地、和木町のように交通の便を良くする | 幼児、高齢者、障害者には優遇する |
| 年配の方が増えているが、バスなどは団地まで行かないので最寄りの駅やバス停まで行くのが不便 | 高齢者や障害者または病院の人達に対して無料で利用できるタクシーサービス |
| バスの数が少ないし、車がないと生活しにくいところだと思う | バスの数を増やしてほしい |
| 高齢者にとっての公共機関のサービス | 電車、バスのサービスの充実 |
| 市内バスもあるにはあるが、基本、車がないと生活に不便。通学路も道幅の狭いところが多いように思う | 人口が増えないと難しいと思う |
| コミュニティバスの廃止または便数の減少 | 利用しやすいように時刻や定期の価格を検討する |

○設問【道路、公園、上下水道、水路などの基盤整備が整っていて暮らしやすい】

| 心配に思っていること | 解消する方法 |
|---|---|
| 元町地区は道幅が狭く火災時消火に支障がある | 区画整理事業 |
| 元町地区の歩道がガタガタで歩くにも、自転車で通行するにも、高齢者にとって危険 | 歩道の整備 |
| 岩国、廿日市と比較すると道路などの整備がおそい | - |
| 道路がぼこぼこ。歩道が斜め | 工事 |
| 道路の凸凹をなおしてほしい | - |
| 道路がガタガタで転びそうになる | 駅の近くはわりと整備されているのですが、元町あたりはほとんど手をつけられていないので早く整備してほしい。高齢者の多い地域なので |
| 凸凹の道。駅前から栄に行く踏切 | 金がないから全面的にはできないと言っている役所の対応次第 |
| 道路が整備不足 | - |
| 道の路肩の整備 | フタをしてください |
| 歩道が歩きにくい | 水平にする |
| 歩道が狭い、凸凹、そもそもないところが多い | - |
| 道路が凸凹で自転車に乗りにくい。歩くにつまずきそうになる | - |
| どこに行っても道路、歩道が、ガタガタで段差がある。どこに行っても、年寄りがつまずいてこけた話をしている | 新しい建物は一部の人しか使用しないので、人が生活する道路にお金をかける |
| 道路のへこみ。車が通るとすごい音がする | 少しずつ直してほしい |
| 道路が悪い | 改善工事 |
| 道路が狭い。また線が消えているところがある | - |
| 小学生の通学路に狭い場所があり、少し危険 | - |
| 大雨が降った時、床下浸水 | 遺跡の樋門を閉める。排水ポンプのさらなる増設 |
| 少しの雨でも道路に水がたまりやすく通学路のため補修してほしい | - |
| 防水 | そもそも市のGLが水位より低い為だめ。堤防も大きいコンクリの劣化がひどい |
| 本町は大雨のたび、道路が水につかる | 排水工事しかないのでは |
| 大雨のたび、水路があふれる | - |
| 大雨とポンプ | ポンプをすぐ回す |
| 豪雨時水路整備 | 排水路整備 |
| 雨水の排水が悪い | 雨水の排水能力を増強する |
| 排水が悪い | - |
| 大雨の時近くの川が増水することが多く、床下浸水になったこともあり、心配です | ポンプが自動的に早く作動するようにして頂きたい |
| 雨が強く降るとすぐ冠水する地域がある | 下水道、水路を調査し、早期改修をおこなう |
| 大雨が降ると水没する | 側溝の設備をしてほしい |
| 2014年8月と昨年2018年7月大雨で自宅が床下浸水になりました。その時本町地区の自宅周辺一帯浸水被害にあいました。下水道、側溝の排水設備の改善を強く希望します。台風や大雨が降るたびに心配です | 下水道、配管、側溝の排水能力を改善してほしい |
| 大雨があればすぐ道路が溢れる。下水排水の整備 | 河川の改修とポンプ場の整備 |
| 大雨時床下浸水が発生している | 排水の整備 |
| 団地なので道幅が狭く、大きな車が通りにくい坂道なので年齢とともに住みにくい | 少しでも道幅が広くなるといいので消防車なども動きやすい |
| 公的機関の所在場所が分散している。また、交通手段が少ない | 将来像をつくり、一カ所に集約する |
| 上下水道で故障の場合「自己責任」は理解できませんが、「発見」については市役所でもシステムなどで管理する | 責任があると思います(撤収する立場における責任) |
| 大竹市クリーンキャンペーンへの参加者が少ない | 大竹市として防災無線を使用したPR、さらには、毎年大竹市の幹部が参加して一緒に奉仕活動をする |
| 基盤整備が整っていない | 市の責任 |
| 子どもが通るのに危ない道がある。大型トラックが多く通る | 道路の整備をする。大人が見守る |
| 年に1~2回大雨が降ると道路が水没する。元町二丁目光明寺~大竹小学校前 | 埋設管が小さい。排水ポンプを中間地点にも設置 |
| 道路の白線が消えている | - |
| 4~5年前より交通量が増え、交通事故が心配 | 道路標識、標示など規制の強化 |
| 南栄二丁目から緑橋交差点の2号線から1本海側に入った道の大きく深い側溝が転落で怖い | 側溝に転落防止柵か側溝フタをつけてほしい |
| 幸いに災害がないが、もしあったら避難が不安 | - |
| 玖波地区の公園。親の目が届きにくい、奥まった所にある公園。玖波六丁目の公園で遊具の無い公園なのにボール遊びまで禁止されている。高いネットはあるのに | - |
| 公園などに休む場所、子ども達が遊ぶ遊具とか砂場がない。設備されているところが限られている | 遠くまで出かけなくてもいいように、検討する |

| | |
|--|---|
| 小瀬川の水質が悪化しており水道の水質が心配 | - |
| 立戸の道 | - |
| 上下水道の老朽化による損傷。余寿命がわからないことへの不安 | 余寿命診断と、それに基づく計画保全 |
| 公共施設の老朽化 | 優先度を決めて更新 |
| 遊び場が少ない。公園が整備されていない | つくってください |
| 人があまりいない場所の道路がガタガタだと、子どもが歩いていて心配。ボールが使える広い公園が少ない。遊具が手入れされている狭い公園も怖くて遊ばせたくない気がします | とりあえず道路だけでもなおす |
| 5、6月になると草が茂りすぎて事故のもと。また熊が出るというのに、隠れやすくなっているので子どもに危険とを感じる | 5、6月に入る前に草をカットできないのか |
| 生活インフラの改善 | 予算の確保 |
| 小方新駅ができるのかどうなのか | やるかやらないかはっきりさせる |
| 水道/下水道の老朽化が心配 | 財政面から計画的更新を |
| 春の一斉掃除時、ドブに入って草を引きますが夏は蚊がとても多い | 市の方で消毒して下さい |
| 水道代の値上げ | 節水するように気をつける |
| 公園がなさすぎ | キャッチボールなど遊ぶことができる。公園をあちこちにつくる ⇒空き家をこわして |
| 公園がなさすぎ | 町中へつくる |
| 近所の道路が和木、岩国への通り道となっており、狭い道なのに自動車スピードを出して、通り抜けている。6歳の子供がいる為怖い | パトカーが見ている場所が違う。取り締まりをきっちりしてほしい |
| 水道がたまに茶色の水が出る(浄水カートリッジが茶色になっている) | 配管が古くなっていると思われるので改善する |
| 水路 | 水路の幅を大きくしてほしい |
| 近くに公園がない。あっても道路が近くて怖い | 道路に近くてもフェンスなどが頑丈であってほしい |
| 青木線とかウォーキングに良いが誰でも使用できるトイレを増やしてほしい | ウォーキングコースの充実。休憩するところの看板のペンキがはがれており、もう少し小さいところにも目を向けてほしい |
| 玖島川の護岸の弱いところ、川の中に土砂、木があり、心配 | 護岸整備、土砂などの推積物の除去工事をさらにすすめること |
| コンサートホールや運動公園、植物園、美術館など専門性の高い施設がない | 多目的施設より使える |

◎項目「安全なまち」

○設問【災害、犯罪、事故などが少ない安全なまちだと思う】

| 心配に思っていること | 解消する方法 |
|---|---|
| クマが学校周辺に出ること | どうにか早い対策をお願いします |
| 熊の出没が多い | 集団で対応する |
| 熊やイノシシなど大竹に来て話を聞くのでおそろしい。毎年のお話なのでなんとかしてほしい | 専門の方をお願いして下さい |
| 熊やイノシシが近所に出るので子ども達が心配 | 熊、イノシシの処分 |
| 地域で防災の手段を確認する必要がある | 実際の行動を実施すること |
| 盗難の大小、無免許運転 | 悪いことを見て見ぬふりをする習慣を正す |
| 水路の整備など | 災害があった場所を早急に解決してほしい |
| お年寄りが自転車で車道をふらふら走る | 歩きやすい、歩道の整備 |
| 大雨による山崩れ | 過去に崩れたところの補修 |
| 大雨時の浸水や土砂災害への不安 | 発生を防ぐことは難しいので、保険の見直しを図るしかないと思います |
| 豪雨災害時の冠水や土砂崩れ | 公共工事で解消できるところはなおす、改善する。市民の為に お金を使ってください |
| 裏が山であり、豪雨の際心配 | 土砂止め設置 |
| 豪雨の際、大竹小のあたりから道路が川のようになり、庭も池のようになり、半日くらい水が引かないことがあります | どこから水が入るのか、その辺を改善しなくては解決しないと思います |
| 大雨などの災害が起こると団地が山を削って造成しているのが不安です。特に老人が多いので | - |
| 山と海に挟まれている | 工事 |
| 東南海地震がきた時。工場がたくさんある。埋立地が多い。山が崩れる | 常日頃からの点検と訓練 |
| 乱横断が多すぎる | 小学校などに乱横断に対して注意喚起するポスターの作成を依頼、その掲示 |
| 防災の放送が聞きとりづらい | 放送を発信するところを多く増やしてほしい |
| 田舎なので仕方ないですが、夜の街灯が少なすぎると思います | もう少し間を狭く設置してほしいです。また、点いていても、光が小さくほとんど意味がないところがあるので改善をお願いします |
| 災害、犯罪、事故は少なく安全な町だと思うが、これらはいっ 起きるかわからない | 自治会組織を活用して、日常的に危機意識を持つよう取り組む |
| 災害 | 敏速に実行すること |
| 危険な運転をする老人が多い | - |
| 歩道にガードレールや縁石をもっと設置してほしい。歩行者の命を守るしっかりとした歩道にしてほしい | 歩道や信号待ちをする。スペースにガードレールの設置 |

| | |
|---|---|
| 自転車など周囲をあまり見ず、通行している人を良く見かける | - |
| 今は安全な町だが、アジア系の労働者が今以上に増えると心配 | 日常生活程度の英語を勉強。交流 |
| 工業地帯に住んでおり、工場内の諸々の事故が起きた際の不安感 | コンピュータ社会でも最終的には「人間の手」が左右する。益々の社員教育訓練を密に |
| 街灯が少ないので夜の外出が怖い | もう少し明るくなるように街灯を増やしてほしい |
| 高齢化して若い人が私の地域にいない | 市街化調整区域なので、だれもが売買でき人口が集まるような地域にしてもらいたい |
| 一人暮らしなので転んだりした時心配です | - |
| 高齢化⇒空き家増す、格差社会⇒キレる人間増す⇒犯罪増の恐怖 | 格差社会をなくし、若者中心の社会づくり |
| きちんと教育されていない子が多い。彼らが大人になる将来が心配 | - |
| 南海トラフ問題、避難、具体的な情報など | HPなどでも情報を頻繁に出してほしい |
| 対向車線からの追い越しが多い | パトロール |
| 大和橋からみどり橋の間の大型トラックの通行。小中学校前を通ること、また24時間なので時間制限でもと思っています | - |
| 街灯が少なく道がかなり見えにくい | 裏道などにも街灯をもっとつけてほしい |
| 一人一人が気をつける | なにごとコミュニケーションをとる |
| 全国でも子どもが巻き込まれる事故が多いため、気になる | 地域の方や近所付き合いがあれば解消できるかなと思う |
| 夜間の照明が少なくて暗い | - |
| 津波の心配 | - |
| 病気で車の運転が不可能になり、買い物、銀行に行くのが難しくなっている | 銀行はインターネットに変えようと思っている |

○設問【消防団や自主防災組織等の活動が活発で、地域住民の防災意識、危機管理意識は高いと思う】

| 心配に思っていること | 解消する方法 |
|--|---|
| 災害時に予想した地域での訓練がないから心配 | 実際に災害にあったと思って危機管理をおしえてほしい |
| 災害時の避難場所がどこかわからない | それぞれの場合の(水害、地震、津波など)避難場所1件ずつ配布してほしい |
| 大きな災害が起こってないのでもいざ発生した場合の対応が訓練不足で住民は皆戸惑う | - |
| 穏やかな地域で自然災害などもめったにないので危機管理意識が低いと思う | 私自身がそうなので日頃から、ちゃんと考えようと思うが、おろそかになってしまう |
| 災害について被災経験が無い為、住民の防災意識が低い | 一度は行政主導で地区の避難訓練などを実施する |
| 自然災害がいつくるのかわからない | - |
| 災害時の危機管理 | - |
| 狭い地域で山、川に囲まれいざという場合避難場所が全くない。災害時に避難する場所が無いので交流館へ避難ということになっているがすぐそばに一級河川があるので不安でこわい | 主にタクシーまたは車で大竹の安全なところへ行くよりほかない。できれば市より車を早めに出して頂き、避難できれば大変良い、強く希望します |
| 災害時の避難場所が遠い | 地域での避難訓練があるといい |
| 今まで災害に遭ったことが無いと先輩の方は口々に言っている | - |
| 大雨が降ると家の前の道が浸水してしまう | なぜ浸水するのかを調べて対応してほしい |
| 消防団の組織などがよくわからないです | - |
| 限界集落化した地域では自主防災組織を機能させるのは困難 | - |
| 個々に意識はもっていると思われるが、組織のなかで活動することへの意識が低い | 逆に解決できる知恵が欲しいところ、どうしたらよいでしょうか？ |
| 大竹市防災メールを受信していますがお年寄りにはそれはなく、防災無線の放送も聞こえず大雨の中で遠くへの避難は無理だと思えます。どこにいけば良いかも、広報見て頂くだけでは行動する時にはわからずだと思えます | 地域ごとに室内に貼っておける避難一覧表があれば、何か良い案を考えてみてください |
| 地域住民の防災意識などは低い。高齢者も増えている | 日頃から防災を考えるきっかけをつくる。高齢者も増えている |
| 一人暮らしのお年寄りなどは、なかなか災害の時逃げにくいと思えます | 自治会などでお互いに声をかけ合い、市も見回りをして状況を見る |
| 津波がきた時に逃げられる場所が少ない。大竹高校や大瀧神社だけで足りるわけない | 避難できる公園兼災害時の避難場所となるエリアの建設。地元の建設業者が元気でなければ亡国ならぬ亡市となりかねない |
| 消防団や自主防災組織があるのかなのか。何をしているかわからない | 各組織がもっと情報発信する |
| 海が近いので津波や立戸の山の方の土砂くずれが心配 | 具体的に津波が来た時はここに避難しろ。土砂くずれの時はここに避難しろという安全な場所を教えてください。地震の際に総合体育館に避難して本当に大丈夫なのか？(見た目はとても古いので)とか本当にいざという時どこに逃げればいいのかかわからない |
| あまり活動されてるのを拝見したことがないので | - |
| 消防団の人が近くにいるのか知らない、もしもの時誰に聞いたりしたら良いのかかわからない。避難場所はわかるがリーダーを知りたい | どこのだれが消防団かわからない。一緒になにか訓練ができれば良いなど。何かあった時リーダーみたいな人がいたら安心です |
| 高齢化社会に向かって、参加者の減少化 | 定期的に防災意識、危機管理意識のリスク管理を高めるために講演会、セミナーの開催など |
| 活動が活発でない | 自治体へ働きかけ |
| 高齢化率が高く、自主防災組織の活動に不安 | 緊急避難場所を確保してほしい |
| 床下浸水した時、問い合わせも何もなかったこと | - |
| 土砂崩れが多数見えるが何もしてないように見える。新しくつくられた砂防堤がもつで道路が水に浸かった | 駅や公共の建物に使うお金をこれらに回し、対応を早く、確かな対応をしてほしい |
| 一人一人の防災意識が少ない | 会合の度に少しずつ防災教育を試みる |

○設問【自主防災組織等の活動、救命講習、交通安全運動などに参加したいと思う】

| 心配に思っていること | 解消する方法 |
|--|---|
| 運転免許証の自主返納に悩む | 高齢ドライバーになり、研修や講習の必要を感じる |
| 地域を巻き込んでの訓練がない。いざという時に連携がないので不安 | 地域ごとに子ども、お年寄り、老若男女交えた防災訓練 |
| 防災のための避難指示が広範囲に出るため信用度が低い | 実例で勉強会を開いて具体策を考えてほしい |
| 関タトンネルができてから大型トラックが大和橋を渡り、大竹小学校、中学校、高校の前の道を頻繁に通行してとても危険である | せめて、和木八幡宮下の信号を調整して7時～9時、15時～17時の間は大型車は「あけぼの橋」方向しか行けない様にするなど |
| 高齢者が多いので、車の事故など気になる | 救命行動がとれれば、いざという時に役立てられる。子どもの通学路のみまわり |
| いざという時に慌てそう | 体験、講習 |

◎項目「安心できるまち」

○設問【困った時などには、地域に暮らす人同士での助け合いができるつながりがあるので安心だと思う】

| 心配に思っていること | 解消する方法 |
|--|---|
| 高齢化が進んでいるので何かあった時に心配 | 日頃から地域の付き合いをもっと密にしたらいいと思う |
| 住民の高齢化により、つながりがなくなる | 高齢者同士の結びつき |
| 近所も高齢で助け合うことは限定的になる | 自身元気に保つ以外ないのでは |
| お年寄りの一人暮らしや親世代がなくなれた後の独り身の人が多いこと | - |
| 年寄りが多いので先が不安 | 若い人を増やす |
| 高齢化し車に乗れなくなる。不便である | 安価な、くるりんバスを市内全域にめぐらす |
| 高齢者ばかりの地域では助け合いというより助けてほしいばかりです | - |
| 高齢化し若者がいない。誰にSOSを発する？ | - |
| 自治会は大丈夫？人のことを批判して人間関係がこじれ、ますますお世話する人がいなくなる | 一人一人の問題ですが、感謝と思いやりを口にしてほしい |
| 自治会に入らない人、子ども会に入らない人が増えているのでは？ | - |
| 自治会会員でない高齢者の方への情報通知方法 | 一人暮らしの高齢者のリストをもとに民生委員、福祉委員、自治会3役、市の担当者をいれた自治体単位の状況を更新 |
| 自分さえよければ人はどうなっても知らないという人達が増えている | 住民がどんどん触れ合える行事やサークルなど増やす必要があるかも |
| 自治会活動が、決まった一部の人で行われている | 交替制など多くの人に参加できるような工夫をしてほしい |
| 自治会の意義 | 岩国市など自治会の無い地域を参考に見直しては |
| 自治会の役員になる人がいない | 自治会の現状の問題点を明確にして、将来像を議論する |
| 夜、警察がパトロールしてほしい | - |
| 地域の人同士のつながりはとても良いと思うが、市役所の担当の人間がきれいごとばかりで役に立たない。避難場所の使い方などもっと適切に市民に前もって説明するべき誘導するべき。去年、災害後に白石1丁目自治会集会所に説明に来た市職員2人のうち1人にとっても腹が立った | - |
| 現在の大手企業の活動が継続できる様 | 企業との積極的なコミュニケーション |
| 近所の人達とあまり話すことがないので助け合いができるか不安です | コミュニケーションがとれることをする |
| これからは今まで以上に人と人とのふれあいを大事にしていかなければいけないと思っている。特にあいさつは大事 | 大人、子ども問わずあいさつができない人が結構いる。さみしいですね |
| 団地内で葬式があった時、自治会の人には知らせずいつの間にか葬儀を終えていて驚いた | 近所の人に手伝ってもらえると思わなかったと言っていたので決まりごとを周知させるべき |
| 隣近所が手助けの必要な人ばかりになる | 子ども達がUターンしやすい方策をとる |
| 大きな災害が発生した時の対応 | 色々な条件を設定しての防災訓練 |
| 今はいいが世代交代した後が不安である | - |
| 囲碁を公民館で木曜日6H~9Hに10人程度でやっていたが、色々な事情で毎週することが不可能になった | 10人のうち5、6人で今しているが、インターネットでできるようにしたい |
| 家庭によって家の中に入ってほしくない方もいます。なかなか難しい | - |
| 互助 | 日頃の手助け |
| 人同士の助け合いはない | - |
| 人間関係のかわりがない | - |
| 地域とのつながりがない | - |
| 若い方との交流がない | - |
| 隣人との付き合いが軽いので何事も相談できない | - |
| つながりが減ってきている | 交流の場を増やす |
| なかなか近所の付き合いがない | - |
| 隣近所とのつながりが少ない | イベントの参加の間に親を見知ってもらう |
| 都会化して近所付き合いがなくなってきた | 自治会の活性化など |
| 近所にどんな人が住んでいるか知らない | 交流を持ちたいと思うが相手がそう思っていない人かもしれない。と思うと気が引ける |
| 隣の家の人の顔を見たことがなく、近所付き合いしてない | 定期的に顔を合わせる機会があると交流が増える |
| 親は知っているが話したことがない | 日頃から近所とのコミュニケーションをとる。地域の行事に参加するように声掛けする |
| 市内に友だちはたくさんいるけど親類は一人もいない。近所ともそんなに深い付き合いもない | 困ったことの内容にもよるが、友達には頼めることとそうでないこともあるし、ご近所も高齢化していて、頼れる状況ではない。なかなか難しいと思う |
| 大半が老人ばかりで若者は市外よりの流人が多く交流がない | 現在の若者のライフスタイル、老人のライフスタイルを教えるもむずかしい。物でつれる時代でない。若者を市内にとどまらせる為に18~29歳をターゲットにしたイベントをする。そこで出会い⇒家となるように |
| 以前、ご近所トラブルに巻き込まれたことがある。隣の年寄りに人殺し、泥棒と言われた。市に相談したが解決策はなかったような気がする。年寄りは引っ越された。今は近所の方とはあいさつはするが、他人はこわいという思いはなかなか消えません | - |

| | |
|--|--|
| 近所の年配のご夫婦がいらっしゃいますが、ご主人の認知が少しずつ進み災害の時に手助けができるだろうか心配です | - |
| 家族に認知症がいる。近所に助けられている | 地域で楽しい会合でもあれば参加したいと思います |
| 我が家はたまたま近所仲良く助け合っているが、そうではないエリアもよく聞くのでとても大変そう。特に一人暮らしの高齢者は老人会がなくなってちょっと離れている人たちが元気かどうかわからなくなりました | 市民間だけでなく、行政も一緒になって人と人が近づくそんな場を積極的につくってほしい 防災無線、スピーカーから聞こえませんか。大河原山のふもとから白石に向けて放送してほしい |
| まず、常に日頃から安全第一をどうすれば良いか考え、自分自身命を大切にしたらよいか考え行動する | 1日でも多く大事な事は常日頃から思いを伝えていく必要がある |
| 個人情報があり、地域での一人暮らしでどの程度の介護状態とか家族がすぐに来られるのかとかわからないし、介入が難しいです。公開すると詐欺とかもあるし | - |

○設問【生活習慣の改善に取り組んだり、健康診断や健康づくりに参加したりするなど、自分の健康管理に日頃から気をつけている】

| 心配に思っていること | 解消する方法 |
|---|---|
| 年齢と共に病院の必要性が出てくると思う | 小方中跡地に大きな総合病院ができてほしい。廿日市の方に行かされることが多い。近場の大病院が必要 |
| 高齢者が増えており、病院が混んでいる | 地道な改善が必要 |
| 高齢になるとどうしても体力が衰えます。少しでも長く健康を保ち長生き | 病院で悪い部分は早急に治療し、リハビリ、酸素治療などの身体に良い治療は続けて実施する |
| 病院の数が市内に少ない | 病院の数を増やしてほしい |
| 健康管理は理解しているが日々の生活に追われ不規則な食生活からは改善できない | - |
| 自分で自分のことができる間は大丈夫だけど、介護が必要になった時、安く入れる施設が少ない | そういう施設を誘致してほしい |
| 痛いところが年をとって出てくる | 健康づくりに参加するようにしている |
| なかなか病院に行く機会がない | 年1回クーポンを配布して受ける機会をつくってほしい。クーポンが少ない |
| 少し遠くまで行けばあるが、時間の指定や距離も遠いのでなかなかいけない | 大竹でコミュニティをつくらたいと思う |
| 岩国の飛行機の騒音に心身共につかれる | ルートをかえる |
| 高齢になり、体力の衰え一人暮らしの行く末 | 医療施設の充実した場所を多くする |
| 糖尿病が原因で高血圧、目の違和感があること | 定期受診を続ける。医師と相談する |
| 血圧 | 散歩 |
| 大病をした時、年金にあった介護保険施設がない | 足りない分は市が補助金を出す |
| 健康づくりに参加しています | 足が悪くなって出かけるのが心配です |
| 公園などにランニングコースを整備してほしい | 大竹市全体でウォーキングコースやランニングコースをつくってみたい |
| 健康づくり | 晴海臨海公園をもっとうまく活用する。運動などのイベントを実施してみる |
| 健康診断の項目が減っている | 増やす |
| 体を大切にしているが病気になる、廿日市や岩国に入院すると家族に迷惑かける | 西医療センターを充実してほしい |
| 年齢と共に衰えてくる | 無料での教室が夕方でもあればいいと思う |

○設問【地域福祉に関するボランティア活動等に参加してみたいと思う】

| 心配に思っていること | 解消する方法 |
|---|---|
| 団地内に痴呆症の高齢者が多くなりつつある。これから福祉対策が必要 | 現在、民生委員児童委員とシニアクラブの有志で対応しているが、十分ではない。行政が本気で考えてほしい |
| 自治体の活動が盛んで、年を取った時に自治会に入って活動していけない | - |
| ボランティアに過度の期待をするのはどうだろうと感じる | 前の質問と重なるけど、有償ボランティアのような制度で沢山の人の人に長く続けてもらう |
| 子どもの通学を安全にするため、不審者がいないか見回りボランティアをもっと増やしてほしい | ボランティアをしっかりと増員する |

◎項目「心にゆとりを感じるまち」について

○設問【やりたいことや夢中になれることがあり、生活が充実している】

| 心配に思っていること | 解消する方法 |
|----------------------------------|--|
| 若者が遊ぶ場所や施設が少ない | 施設を建てる |
| 夢中になれるスポーツの場、お店が少ない | もっと娯楽やレジャースポットなどを増やす |
| 退職後に時間をつぶす場所がない | 廿日市市を参考にする |
| 若者が活動したり、起業しやすい場所がない | スペイン通り駅周辺の再開発計画など |
| 自分に合った続けられることを見つけること | いろんな事を知ること |
| だんだん年を取ると、したいことも思うようにできない | 心身共に健康であること |
| 時間に余裕ができた時、夢中になれることが見つかるか心配 | 目を外に向け情報を入手する。参加する勇気を持つ |
| 芸能・音楽活動に40代の方々が仕事帰りに楽しめる機会が少ない | 行政でそうした活動を支援できると良い |
| 全然自分がやりたいことが見つからない、生きがいがない | 無料で免許や資格が取れる講座を増やしてほしい。勉強する機会を増やせばどうかと思う |
| いつまでできるか心配 | 健康管理に気を付けること |
| 以前は市民運動会など、もっと地域ぐるみの行事もあったが今は少ない | 市の方で取り組みを考えてほしい |
| 自由に動ける状態ではない | 生活の安定 |
| テレビの光回線化が遅れている | 若年層を増やす為、早期整備する。FMや音楽を流すなど、毎日放送する |

○設問【地元の歴史、伝統文化、地域行事に市民として誇りや愛着を感じている】

| 心配に思っていること | 解消する方法 |
|--|---|
| 地域行事が少ない | クラブをつくる |
| 歴史。伝統が次世代に継承されにくい | 文化協会などの既存組織の活用を進展させる |
| 大竹の伝統文化の後継者不足 | 魅力あるように改善すべき |
| 昔に比べお祭りなど寂しくなったと感じる | 若い人たちに頑張ってもらいたい |
| 市内の地域行事に参加したこと | 機会があれば積極的に参加する |
| 高齢者で守っていくのは大変 | 時代の流れで守るのは難しい |
| もう少し昔の修身の勉強を教える | 友愛 |
| 大竹祭のスタート地点をスペイン通りの入り口から | 警察と交渉すべき |
| 若者の流出、減少により様々な行事の担い手がいなくなり、活気がなくなると不安 | 分娩施設の復活。子育て、教育に対する大胆な経済支援 |
| 地域の高齢化により行事がなくなったりする | 子どもの数も少なく、なかなか難しい |
| 引っ越ししてばかりで歴史などを知らない | 広報をしっかり目を通していく |
| 自治会会長が輪番式になり、とんど、もちつき大会とか長く続いている行事を負担に思われている | - |
| 大竹市民は誇りや愛着を持っている人が少ないと思う | - |
| 若い世代への継承ができていくかどうか心配 | - |
| 大竹に歴史資料館がない | 早くつくってほしい |
| 地域行事に参加したことがなく、愛着はあまりない | 住民を参加したい気持ちにさせること |
| どんな行事があるか良くわからない | どんな行事があるのか良く理解していないから。アピール不足を感じる |
| 西国街道の広報活動とインフラ整備 | 今回、廿日市、広島市を入れた「しおり」が整備されたが、地元内のPRは3市合同で行い、交流を促進 |

○設問【環境美化の取り組みが進んでおり、まちがきれいで気持ちがいい】

| 心配に思っていること | 解消する方法 |
|--|---|
| タバコのポイ捨て | 小中高生の教育 |
| ポイ捨て | 条例をつくってほしい |
| ごみのポイ捨て。他人の家にゴミを投げ込むケースもある模様 | 「風が吹けば桶屋が儲かる」的な発想 |
| 歩道に食べ物の袋が落ちている。タバコも落ちている | 一人一人の心がけ。気付いた人が拾うしかないのか |
| 故人の土地で管理されていない所があり、歩道の妨げになっている | 個人管理が不足している土地を市が把握し、注意する |
| 市内を歩いていて感じる事、宅地の道路側に無造作に白い箱が多量においてあり、外観上にも異常を感じ、防犯の為、災害時の為にも日頃より点検して頂きたい | 行政の方々に一歩踏み込んで明るいきれいなまちづくりを意識して頂きたいです |
| 犬のフンが多い | 個人が自覚してほしい |
| 犬のフンが道にある。猫など動物が苦手な人もいますので気をつけてほしい | 飼い主のマナーをもっと少しくよしてほしい。マナー違反はペナルティもいいのではないと思う |

| | |
|--|---|
| もっと亀居公園など有名にしてもいいと思う | たくさんの草花や緑を増やし、夜も明るく安全な感じがあって もいいと思う |
| 小瀬川の水質が気になる | 水門を整備してほしい |
| 役所自体ができてない。草がボウボウ | - |
| 島を私物化している。海に生ごみ、紙、缶を捨てている | 漁協と自治会の強化、ボランティア精神の自覚と啓発 |
| 空き家、空き地が多く、壊れそうな家がある。地主がきちんと 管理してない | 苦情が出た時は、市が仲介対策してもらおうと良い |
| 空き家が目立つわりに空いてる土地が少ない | 空き家バンク、土地を売れるように地主に交渉 |
| 空き家が多い。空き地の管理ができていない | - |
| 生活環境の悪化、不法投棄を含むごみ出しマナーの悪化とラ ブル | 犯罪の温床となるので行政と市民が協力して推進する。警察 との連携 |
| ゴミステーションに地域の人は正しく出すが、車からごみ袋を 投げ捨て、カラスがごみを散らかす | マナー意識、防犯カメラ |
| ごみの回収で市で取り扱わないものがあるが、具体的に対処 方法を教えていただかないと家に捨てられないごみがたまる | - |
| ごみの捨て方、ルールが守れない人が少数だがいる。道路に「タ バコの吸い殻」「ペットボトル」「缶」など投げて捨てる | - |
| 草木のごみ処理が大変になり、緑化が進まない | 草木のごみ袋を市が配布。月1回の回収日を設ける |
| エリアによってみずぼらしい場所も多い | 古い建物を取り壊し整備する |
| 川辺に住んでいますが散歩するところが無い。錦瀧の滝の立 ち入り禁止を早くなおしてほしい | 立ち入り禁止になって何年も経過していますが、もっと早く何と かしてほしいです |
| 町がきれいかと言えばそう思えない | 印象と思われる。キレイな場所を設定する |
| 環境美化は進んでない | - |
| 町がきれいではない | 市の責任 |
| 私有地の雑草や雑木が手入れされてなく、市道や敷地に枯葉 や枯草が入ってくる | 所有者(JR)に市からお願いしてもらおう |
| 草がたくさん生えているところは、抜いて道路に。そのままの 状態もあり、業者任せ | 現在の状態を市長、幹部は見るべし |
| シルバーの皆さんが作業して下さいますが、雑草は絶えません | 身近くは個々で気を付けていただけたらと思います |
| 道路などに草が生えている地区もある | - |
| 環境美化センスもあると思うが大竹の駅のあの石のオブジェ やイルミネーションは大変不気味である。他市の方からも正直 笑われている。美しいとはとても思えない | 全体の統一感をもって美化となる。植物の美しさ、そのものを 活かす、美化に取り組んでほしい |

4 大竹市での「イチオシ」(問4)

◎好きなひと・もの・こと・とき・ところ

| | |
|---|------|
| 自然が多く、身近に感じる | 他13件 |
| 亀居公園・四季折々の風景・元旦の日の出は素晴らしいです | 他3件 |
| 海、山、自然が豊かで駅が近く住みやすいと思う | |
| 小瀬川などの自然 | |
| 海が見えて山もバスもあり自由に行動ができること | |
| 海、山、河川、清流、公害のない町、企業誘致と恵まれた環境 | |
| 三倉山、日々雄大な姿、美、四季変化する美が大変好きです | 他4件 |
| 環境がよい市 | |
| 大竹は町としては買い物に不自由しないと思う | |
| 大瀧神社。緑の木々。静かでお参りした時おおいに癒される | |
| 気のあった人とお話しすること | |
| 生まれて育った町だからたくさんの人とつながっている | |
| 30代より暮らし、70代になった今地域の皆様に親切にして頂き病院も歩いていける場所にあり日々感謝の想いです | |
| 人口3万人未満だけどそれゆえに小回りがきくコンパクトシティ | |
| 小瀬川沿線道路の整備状況と景観 | 他1件 |
| 買い物するところが歩いて行ける場所です | |
| 夫婦で元気で生きていけること | |
| 話しかけてもらえること | |
| 商業施設が整ってきた。生活しやすい | |
| 小中一貫校が目の前 | |
| 災害や犯罪が少ないところ | |
| 台風、地震が少ない | |
| 治安がよく住みやすい | |
| スーパーや病院が多いのは生活するうえでとても助かっています。長年大竹に住んでいて犯罪も少ないように思うのでそのあたりの心配なく暮らせる安心感があります | |
| 毎年の大竹祭 | 他9件 |
| 秋祭、各地区で市民の協力がある。もっとも大きなイベントだと思う | |
| 子どもが毎年すごく楽しみにしている、花火やマロンの里のお祭り | |
| 大竹は祭や様々な行事ごとなどを全力でやりきるところ、なおかつ安心して事故などがないように目も行き届いているところがいいね | |
| 大竹祭、駅前商店街の夜市、コイ・こいフェスティバルなど、家族で参加できるイベントはとても良いと思います。長く続けてほしいです | |
| 充実した公園と祭 | |
| 大竹祭など大切にして協力されて毎年取り組んでおられることは素晴らしい | |
| 石油コンビナートの夜景 | 他3件 |
| 工場夜景のナイトクルーズを増やしたらいいと思います | |
| 80代の男女、特に女性は元気がある | |
| 病院、駅、インターチェンジ、学校など、色々揃っていて便利。都会すぎず田舎すぎない | |
| 小瀬川沿いの遊歩道を毎日犬と散歩をするのですが、とても気持ちが良い好きです | |
| 大竹市の上水道水 | |
| 水はきれいで自慢できます | 他4件 |
| 上水道、下水道が整っている | |
| 市内中央部がコンパクトでほとんどの日常に必要なものが完結する | |
| 石油コンビナートがあり、化学製品の生産で日本経済に貢献している。公害の町、田舎と学生時代は言われ腹がたった | |
| EDIONのような広島にルーツがある企業の存在感。もちろんマツダ、カーブも | |
| 優しい人がたくさんいる | 他9件 |
| 阿多田島 | |
| ゆめタウン大竹 | 他4件 |
| 大竹のゆめタウンに西松屋ができたこと | |
| 大型店があること | |
| 大竹市の救急車の皆様の対応が大変立派で良くて今でも感謝しています | |
| 元気はつらつ教室 | |
| 集会所で皆でお話したり習い事をする時 | |
| 弥栄まんじゅう | 他2件 |
| 川べりの遊歩道 | |
| コミュニティサロンがあること | |
| 小さなまちななので人はとても好きです。みんな知り合いみたいに話してくれます | |
| 山陽自動車道のICが町中にあり、遠出に便利 | |
| 野球場 | |
| 弥栄ダム | |
| 学校が新しくキレイであること | |
| 総合市民会館 | |

| | |
|---|-----|
| 大竹市立図書館 | |
| 玖波公民館 | |
| 図書館はありがたいです | |
| 晴海臨海公園 | 他2件 |
| 小さいながらまとまっている。対策が行き届いている | |
| 市議の人々がしっかりしている | |
| こいこいバスがいいなと思いますが大竹駅停まりでなく大竹会館までにして下さい | |
| 青木線の街路樹 | |
| あたたレモンハマチの美味しさ | |
| 公民館講座にすばらしい先生がおられます。幸せです | |
| 食べ物、特に魚が豊富で美味しい | |
| 良い意味で何もなく落ち着くところです | |
| Plus good Day 玖波にもこんなおしゃれなおいしいカフェがある | |
| 和紙 | |
| 静かな環境が良いです | 他4件 |
| 小さい町なのでどこへ行くのも比較的楽に行くことができ、利用できるということ | |
| 企業も多くまたスーパーや商店も数あり高齢者も近くで買い物ができ、また自然災害もほとんどなく上下水道も良く、整備されていて住むには最適な環境が備わっていると思う | |
| 好きな人 | |
| こいこいバスはとても便利 | |
| 町が明るい | |
| やっぱり地元安心できる | |
| 大竹市はいいところです | |
| たくさんの友人がいるから好きです | |
| 栄公園(毎日散歩に行く、整備されて良いです) | |
| 大竹晴海地域の整備が進んでいるところ | |
| 趣味で集まる時はとても楽しい。大竹会館(コーラス)。書道教室 | |
| 海にたくさん魚が見えるところ | |
| 無料で百性ができていること | |
| 自治会の行事、活動など | |
| 川沿いの散歩道、歩くとホッとする | |
| ご近所争いがないこと | |
| 大竹弁 | 他1件 |
| ストーンアート | 他2件 |
| 県内でも数少ない、ポルダリングの施設がある | |
| 初代大竹市長故二階堂哲朗氏 | |
| 地元の人は何でも知っている。わからないことを聞くとこころよく教えてくれる | |
| 本町保育所の先生方(とても優しく親切です) | |
| 我が家に子ども、孫、全員13名が集合して、会食を年数回開くとき | |
| 賑やかでも静けさも人間関係も自分にとってちょうど良い住みよいところ | |
| 栄公園で皆でランドゴルフをしています | |
| 私の仲間 | |
| 大きい店が多く、買い物がしやすいところ | |
| 給食がおいしい | |
| 体を動かす、地区ごとの体操が良くなること | |
| 野菜を作っている人たちとの語らいが安らぎの時です | |
| 産業が盛ん | |
| 4月のある日突然の出来事で、自分の車が運転出来なくなり、ある事業所へ連絡を入れると快く自宅まで運んで下さり、大竹の温かさを感じました | |
| 自分が経験した良かった事や失敗した事などを話してくれる人。つまりその人の人柄を尊敬してるからでしょうか | |
| 皆さんと体操したり、ゲームしたり、笑ったり、喜びを感じる | |
| こいこいバスは良いと思う | |
| 子どもの医療費助成制度がよい | |
| 消防団の活動が比較的盛んであるところ | |
| コイ・こいフェスティバルなど、楽しいイベントがある | |
| コイ・こいフェスティバル | 他3件 |
| 20数年前親類も知人も誰もいない大竹へ仕事の都合で住み始めたが、ご近所、ママ友やみんな親切でいい人ばかりだった。育児サークルなど市へ電話しても名前を覚えて下さって嬉しかった | |
| 気候が良い | |
| 祖父母 | |
| 地域の方が優しく、子どもを安心して育てることができる | |
| 犬の散歩に小学校の前を通り、昔の古い小学校を思い出す。ジャングルジム、小高い山 | |
| 他県出身で自分の生まれた所に比べて小さい市なのに市役所のみなさんが熱心だと思います。春になると亀居城へ行き桜を見て夏になると阿多田島で泳ぎ、夏と秋にマロン里でソフトクリームを食べ、冬になると玖波でとれたカキを食べる。こんなサイクルで過ごせています | |

| | |
|---|-----|
| 工場の光を見た時、家に帰ったような安心感がでる | |
| 笑顔の広がる | |
| お店が近いので買い物がしやすいです | |
| 昔の事です、大河原山から登ってくる(海から)太陽を見た時 | |
| 二階堂和美 | |
| 何もなさすぎるくらい何も無いところが好き。山とか川とか普通なものしかないところ | |
| 入山市長さんが大好き | 他1件 |
| 大竹市長 課長 市の職員 | |
| 大竹音頭がある | |
| 趣味も同じ、話があう人 | |
| 体育館の使用料が安くて良い | |
| 他所に比べ若さが少ないのんびりしている点が老人に向いていて、住みやすい | |
| 住みやすい | |
| 人が温かく住みやすい町だと思う | |
| 栗谷地域 | |
| 好きでもきれいでもなく、生まれ育ったところだから | |
| マロンの里弥栄から栗谷あたりのサイクリングは本当に気持ちいいです | 他1件 |
| 高齢の方々は目があうと自然に挨拶を交わせるところ | |

5 幸せを感じる時(問5)

◎「どのような時に幸せを感じるか」について

| | |
|--|------|
| いつも元気で食べたり歩いたりできること | 他10件 |
| みんなが元気である時 | |
| 友人や職場の人達と良好な関係でいれて元気で毎日を送れること | |
| 家族が円満であること | 他6件 |
| 家族が元気に毎日笑って生活できること | 他19件 |
| 自分で希望していることが他の人に迷惑をかけずにできたとき。特に家族や友だちと一緒になら最高 | |
| 家族みんなが幸せである時 | |
| 家族がバラバラで生活しているので集まった時に話ができることが幸せだと思います | |
| 家族みんなで楽しく過ごせるイベントや場所に行く時 | |
| 家族と一緒にいる時 | 他7件 |
| 家族がいて、みんなでおいしいものを食べている時、自分の好きなことをさせてもらえる環境があること | |
| 家族がふつうの暮らしができて、皆が何事もなく生活できること | |
| 家族みんなで集まった時にみんな元気で毎日過ごすことができて幸せだと感じた | |
| 友だちや家族と一緒に笑っている時です | 他7件 |
| 親子二人で共にしていますが、とても幸せです。この幸せがいつまでも続きますように願っています | |
| 大竹で家族で住んでいる | |
| 家族全員が揃った中での晩酌 | |
| 家族旅行 | |
| 友だちや家族といえる時 | 他4件 |
| 家庭が安心 | 他1件 |
| 夫婦が元気でいられることです | |
| 高齢の私たち夫婦が健康で気持ちの良い環境で生活できていること。今後も住み続けたいと思っている | |
| 夫婦で温泉旅行 | |
| 夫婦で同じ目的を持って生活すること | |
| 健康で今日もおいしい食事を夫婦でできること | |
| 夕食後、妻と私にまわりつく犬との散歩。その後、テレビを見ることができる毎日 | |
| 子どもの寝顔を見ている時 | |
| 子ども達がかわいい | |
| 独立している子どもが大竹に愛着を感じて、地域に根ざした医療を展開しようと具体的にプランを立てているのを聞く時 | |
| 子や孫と一緒にいる時にホッとする | 他2件 |
| 孫や子どもと一緒に遊んでいる時 | 他2件 |
| 子どもや孫の成長を見ることができて幸せだなと思います | 他11件 |
| 子どもが無事に帰ってきた時。子どもの成長が見れた時。好きなことができること | |
| 子どもを朝送り出した時。いつもの1日を迎えられたことにたいして幸せを感じる | |
| 子どもが隣に住み、相互が確認し合えること | |
| 1日何事もなく平和に子ども達も元気で過ごせていること | |
| 年に1度か2度、遠方に住んでいる子ども達に会える時 | |
| 毎日子どもが元気よく学校に行ってくれ、笑顔で帰ってきてくれること | |
| 元気で買い物ができて、バスに乗って電車に乗って、子ども孫が来てくれたこと | |
| もちろん子ども達と何事もなく普通に毎日過ごせていることが今一番幸せです | |

| | |
|---|------|
| 子どものお迎えで車に乗ってる時の会話に幸せを感じた。子どもからその日の出来事を聞いている時 | |
| 子どもが頑張っている姿を見せてくれること | |
| 家族が多いので嬉しいことが多くあって嬉しいです。最近、誕生日だったのですが子どもみんなで花束をプレゼントしてくれました | |
| 子、孫、ご近所の方々が優しく接してもらえること | |
| 子どもが元気に生活を送っていること | |
| 子や孫たちと食事したり、団らんが楽しいです | 他2件 |
| 子どもや孫の笑顔を見た時 | 他4件 |
| 子の家族の安全 | |
| 娘の運動会を家族みんなで応援に行った時 | |
| 自然の恵 | |
| 自然に囲まれて静かな時間を過ごせる時 | |
| 海、山が近く、ゴルフ、釣りにすぐいけるので、いい場所である。特に老後にとてもいい場所だと思う | |
| 花づくり | 他1件 |
| 庭を花いっぱい(せまいけど)にする楽しみがある幸せです | |
| 美しい花を見た時 | |
| 野菜や花と接している時 | |
| 阿多田島から登る朝陽、大河原山に沈む夕陽を眺める時 | |
| 朝日が上がるのを見ると今日も頑張ろうと思います | |
| 大竹の山に登って、とてもお天気が良く、空気の澄んだ中、鳥のさえずりや生活音がやさしく耳に届いた時幸せだなと感じる | |
| 庭から朝陽の昇るのを見た時 | |
| 健康で暮らせること | 他21件 |
| 年齢相応に行動ができ、健康で三度の食事がとても美味しく不平、不満もなく平穏な生活が送られている | |
| 病院へ見舞いに行った時の自分の健康の有難さ | |
| 毎年健診やがん検診が受けられ、安心して毎日が送られると思います。今年で健康が第一と思います | |
| 広島カーブが勝った時。応援を家族でしている時 | |
| カーブが勝って家族で喜ぶ時 | |
| 家族でカーブの試合をみて、盛り上がった時。特に逆転した時は最高 | |
| カーブが勝った日です | |
| 自分の好きなことをやれること | 他5件 |
| 自分の好きなチームを応援しに行った時 | |
| 日々の何気ない毎日が幸せです | 他15件 |
| 近所の人と仲良く話ができたりすることでしょうか。やはり隣近所なにかあったら助け合わなければと思いました | |
| 自他ともに満足を得ること | |
| 夕食の酒 | |
| ボランティアなど、人とのつながりを感じるとき | |
| 新たな時代、令和を祝って迎えられたこと | |
| 12年ぶりに実家で暮らし始めたこと | |
| 仕事の充実 | |
| 身体が動けること。年寄りにやさしい行政を望む | |
| 話しかけること。食事がおいしいこと | |
| 近所の方に長崎のおいしいピワを頂き食べた時 | |
| 今のところ、食事がおいしく食べられること | 他2件 |
| 美味しい物を食べた時 | 他1件 |
| 病気治療中のため家内がやさしく励ましてくれること | |
| 毎日が幸せです | |
| 自由に動けること | |
| 私は花が好きなので見ているだけで幸せです | |
| ご近所の人に声をかけてもらうこと「幸せ感がある」 | |
| 友だちとおしゃべりをして愚痴を言いあうこと。息子たちも東京にいるので年何回か上京して楽しんでいます | |
| 1日の予定を全てこなし、入浴剤の入ったお風呂に浸かり、その日の活動を思い、明日の予定を考える時 | |
| 人間のモラルが一番大事、ルール・約束など頭のいい悪い関係なく人間のモラルが全て、良く人間関係が一番またそれが全て | |
| 功德を得た時、幸せを感じます。仏教を一生懸命やっています。大竹は治安がよく安心して暮らせるところがいいと思う | |
| 車が大好きなのでFK-TEC大竹店の存在はとてもうれしい | |
| 年金が入った時。やはりお金だよ | |
| 笑ったり、泣いたり、自分自身の感情を出せる時 | |
| ちゃんと眠れること | |
| 仲間とたわいのないおしゃべりをしている時 | |
| 朝目覚めた時、生きていたこと | 他3件 |
| 地区には私を含めお年寄りが多いが頼りにされていると感じたとき | |
| 高齢化対策が充実されつつある | |
| 好きな人や大切な人の笑顔を見られた時 | |
| 日々、仕事や家のこと子育てなど忙しい中でも少しだけ1人でゆっくりすることができた時 | |
| 「ありがとうございます」と言えた時。今日もドアを開けてもらった | |
| 山に自分の足で登って大竹市を見まわした時 | |

| |
|---|
| 欲しかったものを手に入れた時 |
| 花が咲いて近所の方がきれいと言ってくれること |
| 近所の方と会話している時 |
| 安全で平和な中で自分らしく生きることができるのが幸せと思う年齢になりました |
| 近所の方々の気配り |
| 小学生が通学时、挨拶してくれること |
| 知人に手をふったり、笑ったりすることがささやかな幸せです |
| 買い物に行ったところで出会った時に元気にしてたと言ってくれることです |
| お世話してくれる人に感謝します |
| 家族が元気に生活していること。義母から小旅行に際してお小遣いをもらったこと |
| カフェでお茶を飲む時 |
| 年金で贅沢を望まねば終生生活の見通しもつき、今以上の不足はありません。本当に幸せです |
| 大学を卒業した孫が大竹で就職してくれたこと |
| かわらない毎日が幸せだと感じる |
| 大竹市は自然災害が少ないから貧乏人でも暮らしていける |
| 仲間同士の付き合い。友達が病気をした時すぐにかけてお手伝いをして、元気になったこと |
| 感動できる作品に出会えたとき |
| 地域の子も達が笑顔であいさつしてくれる時、とても感動します |
| 後期高齢者となったが元気で趣味を嗜み、ささやかなボランティア活動ができています |
| 我が家の庭で作った花が咲いた時が一番の幸せです |
| 自分の好きな物を食べて、おいしいと満足した時。毎日、好きな物をいつも食べることができること |
| 仲間と一緒にお茶しておしゃべりする時 |
| 夫婦円満で独立している子ども達の心配がなく、弱い体ではあるが、どうにか生きていられる。この頃幸せを感じる |
| 日頃は単調に生活していますが、突然の入院生活、手術を行いました。周囲の配慮に感謝です |
| 心から信じられる人と出会ったとき |
| 当たり前ですが、大きな災害にも遭わず衣食住があり、ありがたいです |
| 毎日ウォーキングを行っているが、公園散歩コースの緑花の成長が楽しみ |
| 近所の皆様が親切にして下さること |
| 子どもから大人、年寄りが活き活きと暮らせていること |
| 仕事で充実感を感じた時。必要とされている認めもらった時 |
| 友人たちとのお茶会 |
| 自分で買い物に行ける |
| 88歳になって歩行するのに2本杖で歩いています。家の中で杖がない時は周りの固定物につかまり歩いて寝たつきでなくなるとか自力で歩いており、幸せを感じます |
| 仕事で疲れて帰ってお風呂に入った時 |
| 充実した時間を過ごせた時 |
| 子どもと参加できるイベントにたくさん参加できて、他の赤ちゃんやお母さんたちを見て、一緒に交流できて、子育てをしているのが自分だけでないんだと感じた時 |
| 歴史が好きです。中国の歴史を漫画で読んでいますと幸せを感じます |
| 職場で認められた時、必要性を感じた |
| たくさんの人と遊ぶ時 |
| 人間関係 |
| 人と心が繋がったと感じたとき |
| 人とのつながりを感じたとき |
| 人の優しさや温かさにつれた時、幸せを感じます。特に家族の中に幸せを感じます |
| 人とのつながりを感じたとき |
| 日々の生活ができています |
| 道を歩いている時、学生さんたちが挨拶してくれること |
| 経済的、体力的にも不満もなく、日々暮らせることを「幸せだな」と感じています |
| 充実した1日を過ごせたとき |
| 余暇活動が充実している。人から褒められた時 |
| 小さな旅というか、バスで出かけて景色の良いところでグランドゴルフをした時と、神社などをみて、なんとなく心穏やかになりました |
| 心から笑えた時 |

他4件

アンケートにご協力ください

※このアンケートは、令和元年5月10日現在、大竹市にお住まいの方に送付しています。

「大竹市民の幸せ感に関するアンケート」



※回答期限：令和元年6月21日(金)まで

日頃から市政にご協力いただき、誠にありがとうございます。
市では、10年間のまちづくりの目標とその実現の方策を示した「第五次大竹市総合計画（わがまちプラン）」を平成23年度に策定し、現在、わがまちプランに基づく様々な取り組みを行っているところです。

このアンケートでは、主に、わがまちプランのテーマでもある、「大竹市に住んでよかった」と皆さんがどれくらい感じているかをいくつかの幸せ感を量る尺度を設定し、お尋ねします。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、本アンケートの趣旨をご理解いただき、是非ともご協力くださいますよう、お願いします。

なお、回答者は、大竹市にお住まいの18歳以上の方の中から、無作為抽出により、1,500人（地区別層化抽出1,000人、20歳以上50歳未満から抽出500人）を選んでいます。（抽出日：令和元年5月10日）

このアンケートは平成30年度の内容についてお尋ねします。

- 最初に、回答者ご自身のことについてお尋ねします。
- 問1では、わがまちプランの基本目標に関連する項目について、皆さんの幸せ感を量る尺度を設定し、それをあなたがどう思っているかをお尋ねします。
- 問2では、市民自治について、あなたがどう思っているかをお尋ねします。
- 問3では、市民の皆さんの幸せ感を高めるためにあなたが大竹市について心配していることをお尋ねします。
- 問4では、あなたが考えている大竹市のよいところをお尋ねします。
- 問5では、あなたがどのような時に幸せを感じるかをお尋ねします。

ご記入にあたってのお願い

- アンケートには、この調査用紙をお送りした封筒に書かれた宛名のご本人がお答えください。（ご本人による回答が困難な場合は、代筆されてもかまいません。）
- お答えは直接この調査用紙にご記入ください。
- 記入後はこの調査用紙を同封の返信用封筒に入れ、6月21日(金)までに切手を貼らずにそのままポストに投函してください。
- 返信用封筒の下部にあるバーコードは、郵便局による仕分け用です。ご本人を特定するものではありません。また、無記名による回答ですので、どなたが書かれたものかはわかりません。率直なご意見をお寄せください。
- 調査結果やご意見は、後日、広報やホームページなどで公開します。

★アンケートのお問い合わせ先★
大竹市総務部企画財政課企画係
電話：0827(59)2125
FAX：0827(57)7130
e-mail：kikaku@city.otake.hiroshima.jp

調 査 票

○ あなた自身のことについてお尋ねします。

次の(1)～(5)について、あてはまる数字に○をしてください。

(1)性別

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | 男 | 2 | 女 |
|---|---|---|---|

(2)年齢

| | | | |
|---|---------|---|---------|
| 1 | 18歳～29歳 | 4 | 50歳～59歳 |
| 2 | 30歳～39歳 | 5 | 60歳～69歳 |
| 3 | 40歳～49歳 | 6 | 70歳以上 |

(3)住所

| | | | |
|---|---|---|---------------------------|
| 1 | 新町, 油見, 本町, 白石, 元町, 大竹町, 木野 | 5 | 防鹿, 穂仁原, 比作, 安条, 前飯谷, 後飯谷 |
| 2 | 西栄, 南栄, 東栄, 北栄 | 6 | 玖波, 玖波町, 湯舟町 |
| 3 | 立戸, 御幸町, 御園, 御園台, 小方, 晴海 黒川, 港町, 三ツ石町, 小方町, 小方ヶ丘 | 7 | 松ヶ原町 |
| | | 8 | 栗谷町 |
| 4 | 阿多田 | | |

(4)何年前から現在の場所に住んでいますか。(過去に大竹市から転出したことがある場合は、転出以前に大竹市に住んでいた期間は除いてください。)

※カッコ内には数字をお書きください。

| | | | |
|---|---------|---|----------------------|
| 1 | 3年未満 | 4 | 21年～30年 |
| 2 | 3年～10年 | 5 | 31年～40年 |
| 3 | 11年～20年 | 6 | 41年以上()年 |

(5)これからも大竹市にお住みになりますか。

| | |
|---|--------------|
| 1 | ずっと住み続けるつもり |
| 2 | 当分の間は住むつもり |
| 3 | 将来的には転居したい |
| 4 | 近いうちに転居するつもり |
| 5 | わからない |

問1

大竹市について、あなたが普段思っていることをお尋ねします。
次の設問に、それぞれ「はい」、「いいえ」の当てはまるほう
に○をしてください。

1. 【生活基盤が整ったまち】について

ここでは、「うれしい」、「便利だ」、「ありがたい」という感情を幸せ感の尺度とします。



わがまちプランの方向「住みたい、住んでよかったと感じるまち」をめざすにあたり、まず働く場である地域産業の振興と暮らしやすい生活基盤の整備が重要であると考えています。

| | | | |
|---|----------------------------------|----|-----|
| a | 地域産業が盛んでまちに元気があると思う | はい | いいえ |
| b | 目的地までの移動がしやすいまちだと思う | はい | いいえ |
| c | 道路、公園、上下水道、水路などの基盤整備が整っていて暮らしやすい | はい | いいえ |

2. 【安全なまち】について

ここでは、「ほっとする」、「ありがたい」という感情を幸せ感の尺度とします。



住みやすいまちを考えるにあたって、安全の確保は皆が望むことです。しかし、危険を全て取り除くことは不可能ですので、愛するわがまちを見守る市民を増やしていきたいと考えています。

| | | | |
|---|---|----|-----|
| d | 災害、犯罪、事故などが少ない安全なまちだと思う | はい | いいえ |
| e | 消防団や自主防災組織等の活動が活発で、地域住民の防災意識、危機管理意識は高いと思う | はい | いいえ |
| f | 自主防災組織の活動、救命講習、交通安全運動などに参加したいと思う | はい | いいえ |

f2

「いいえ」を選択された方は、どんな活動なら参加できそうか、教えてください。

3. 【安心できるまち】について

ここでは、「ほっとする」、「うれしい」、「ありがたい」、「充実感がある」という感情を幸せ感の尺度とします。

いつまでも元気で、住み慣れたまちで暮らせるように、地域を愛し、人を愛する温かい市民とともに、みんなで福祉制度を支えます。
また、自らも元気を保つ生活習慣を身に付けます。



| | | | |
|---|---|----|-----|
| g | 困った時などには、地域に暮らす人同士での助け合いができるつながりがあるので安心だと思う | はい | いいえ |
|---|---|----|-----|

| | | | |
|---|---|----|-----|
| h | 生活習慣の改善に取り組んだり、健康診断や健康づくりに参加したりするなど、自分の健康管理に日頃から気を付けている | はい | いいえ |
|---|---|----|-----|

| | | | |
|---|------------------------------|----|-----|
| i | 地域福祉に関するボランティア活動等に参加してみたいと思う | はい | いいえ |
|---|------------------------------|----|-----|

| | | | |
|----|--|--|--|
| i2 | <p>「はい」を選択された方は、①具体的にどんなボランティア活動に参加してみたいか、あるいは、②今、実際にやっていることを教えてください。</p> <p>①についてお書きください。</p> <p>②についてお書きください。</p> | | |
|----|--|--|--|

4. 【心にゆとりを感じるまち】について

ここでは、「うれしい」、「楽しい」、「心地よい」という感情を幸せ感の尺度とします。

生涯を通して生きがいを持つことで、心にゆとりや豊かさを感じ、生き活きと暮らして欲しいと考えています。
また、市内のどこに行ってもきれいなまちをめざし、大竹を誇りと愛着のもてるまちにしたいと思います。



| | | | |
|---|------------------------------|----|-----|
| j | やりたいことや夢中になれることがあり、生活が充実している | はい | いいえ |
|---|------------------------------|----|-----|

| | | | |
|---|----------------------------------|----|-----|
| k | 地元の歴史、伝統文化、地域行事に市民として誇りや愛着を感じている | はい | いいえ |
|---|----------------------------------|----|-----|

| | | | |
|---|-------------------------------|----|-----|
| l | 環境美化の取り組みが進んでおり、まちがきれいで気持ちがいい | はい | いいえ |
|---|-------------------------------|----|-----|

| | | | |
|----|-----------------------------------|--|--|
| l2 | <p>あなたの環境美化の取り組みがあれば、教えてください。</p> | | |
|----|-----------------------------------|--|--|

問2

「市民自治」について、あなたの考えをお尋ねします。次の設問について、それぞれ「はい」、「いいえ」の当てはまるほうに○をしてください。



わがまちプランでは、市民の皆さんが、自らまちづくりを自分の問題として捉え、行政と一緒に考え、そして行動することで、他の人のために役立つことや地域に貢献できることに喜びや生きがいを感じてほしいと思っています。
この市民自治の精神を持った市民が増えることは、大竹を愛する人が増えることにもつながりますし、住みたい、住んでよかったと感じるまちにも近づいていくと考えます。

| | | | |
|---|---------------------------|----|-----|
| p | あなたの暮らす地域のことに普段から興味をもっている | はい | いいえ |
|---|---------------------------|----|-----|

| | | | |
|---|-------------------------------|----|-----|
| q | 自分もできれば何か地域の役に立てるようなことをやってみたい | はい | いいえ |
|---|-------------------------------|----|-----|

q2 「はい」を選択された方について
 ①やってみたいこと、あるいは、②今、実際にやっていることを教えてください。
 また、③やってみたいと思ってもできない理由があれば、それも教えてください。

①についてお書きください。

②についてお書きください。

③についてお書きください。

問3

あなたが心配に思っていることを次の項目から3つまで選び、
どうすれば、その心配を解消できると思うか、あなたの考えを
教えてください。

- a 地域産業が盛んでまちに元気があると思う
- b 目的地までの移動がしやすいまちだと思う
- c 道路、公園、上下水道、水路などの基盤整備が整っていて暮らしやすい
- d 災害、犯罪、事故などが少ない安全なまちだと思う
- e 消防団や自主防災組織等の活動が活発で、地域住民の防災意識、危機管理意識は高いと思う
- f 自主防災組織の活動、救命講習、交通安全運動などに参加したいと思う
- g 困った時などには、地域に暮らす人同士での助け合いができるつながりがあるので安心だと思う
- h 生活習慣の改善に取り組んだり、健康診断や健康づくりに参加したりするなど、自分の健康管理に日頃から気を付けている
- i 地域福祉に関するボランティア活動等に参加してみたいと思う
- j やりたいことや夢中になれることがあり、生活が充実している
- k 地元の歴史、伝統文化、地域行事に市民として誇りや愛着を感じている
- l 環境美化の取り組みが進んでおり、まちがきれいで気持ちがいい

| | |
|-------|---|
| (記号欄) | (記入欄) 心配に思っていることを具体的にお書きください。 どうすれば解消できるかお書きください。 |
|-------|---|

| | |
|-------|---|
| (記号欄) | (記入欄) 心配に思っていることを具体的にお書きください。 どうすれば解消できるかお書きください。 |
|-------|---|

| | |
|-------|---|
| (記号欄) | (記入欄) 心配に思っていることを具体的にお書きください。 どうすれば解消できるかお書きください。 |
|-------|---|

問4

大竹市でのあなたのイチオシについて教えてください。
好きなひと・もの・こと・とき・ところなど、なんでも構いません。
ひとつだけお書きください。

「幸せ感」とは・・・

ここまでは、皆さんの心配や不安を取り除くよう、市が取り組むことで、少しでも皆さんの幸せ感を高めることができるのではないかと考える項目についてお尋ねしました。

しかし、皆さんが普段感じる幸せ感は、おいしいものを食べたときや、家族の団らん、子どもが笑った顔を見たときなど、ほんの些細なことかもしれません。

問5

最後にお尋ねします。

あなたはどのような時に幸せを感じますか。

最近「幸せだな」と感じたことを教えてください。

(記入欄)

★ 設問は以上で終わりです。

皆さん一人ひとりが感じるささやかな幸せも、それがだんだん大きく広がっていけば、行政の目標である市民全体の幸せに一歩ずつ近づいていくものと考えています。

市では、皆さんの幸せ感を少しでも高められるよう、よいまちの実現に向けて、わがまちプランに基づく取り組みを進めていきます。

このたびは、アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。



「大竹市民の幸せ感に関するアンケート」

※回答期限：令和元年6月21日(金)まで



日頃から市政にご協力いただき、誠にありがとうございます。
市では、まちづくりの目標とその実現の方策を示した「第五次大竹市総合計画（わがまちプラン）」を平成23年度に策定し、現在、わがまちプランに基づく様々な取り組みを行っているところです。

わがまちプランでは、取り組みの成果を確認するための主要指標として「アンケートで幸せ感に関するポイントを上げる」を掲げています。

アンケートは、わがまちプランの計画期間中（平成23年度から令和2年度まで）、2つの方法により毎年実施しています。1つは、無作為抽出による1,500人の市民の皆さんにお気持ちを伺うもの（「一般」）です。もう1つは、あなたに引き受けていただいている、毎年同じ目線から昨年と比較してどうなっているか伺うもの（「モニター」）です。

前年との比較を続けるにあたっては、10年間同じ方をお願いする方が長い間の動きがわかりますので、お忙しいところ誠に恐縮ですが、引き続き令和2年までおつきあいくださいますようお願いいたします。

アンケートは、回答者の負担を軽減するため、「一般」に比べて、設問を簡略化しています。また、この1年間市がしてきたことが少しでもわかるように、平成30年度の当初予算から主要事業を抜粋したものを同封しています。ストレートに質問と結びつくものではありませんが参考にいただき、昨年と比較して今の大竹市がどのような状態にあるかをお答えください。

なお、「モニター」の辞退をご希望の方は、大変お手数ですが、下記の問い合わせ先までご連絡くださるようお願いいたします。

このアンケートは平成30年度の内容についてお尋ねします。

- 最初に、回答者ご自身のことについてお尋ねします。
- 問1では、わがまちプランの基本目標に関連する項目について、皆さんの幸せ感を量る尺度を設定し、それをあなたがどう思っているかをお尋ねします。
- 問2では、市民自治について、あなたがどう思っているかをお尋ねします。

ご記入にあたってのお願い

- アンケートには、この調査用紙をお送りした封筒に書かれた宛名のご本人がお答えください。（ご本人による回答が不可能な場合は、恐れ入りますが、ご家族等の方が下記★までお知らせください。）
- お答えは直接この調査用紙にご記入ください。
- 記入後はこの調査用紙を同封の返信用封筒に入れ、6月21日(金)までに切手を貼らずにそのままポストに投函してください。
- 返信用封筒の下部にあるバーコードは、郵便局による仕分け用です。ご本人を特定するものではありません。また、無記名による回答ですので、回収後にどなたが書かれたものかはわかりません。率直なご意見をお寄せください。
- 調査結果は、後日、広報やホームページなどで公開します。

★アンケートのお問い合わせ先★
大竹市総務部企画財政課企画係
電話：0827(59)2125
FAX：0827(57)7130
e-mail：kikaku@city.otake.hiroshima.jp

調 査 票

○ あなた自身のことについてお尋ねします。

次の(1)～(5)について、あてはまる数字に○をしてください。

(1)性別

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | 男 | 2 | 女 |
|---|---|---|---|

(2)年齢

| | | | |
|---|---------|---|---------|
| 1 | 18歳～29歳 | 4 | 50歳～59歳 |
| 2 | 30歳～39歳 | 5 | 60歳～69歳 |
| 3 | 40歳～49歳 | 6 | 70歳以上 |

(3)住所

| | | | |
|---|---|---|---------------------------|
| 1 | 新町, 油見, 本町, 白石, 元町, 大竹町, 木野 | 5 | 防鹿, 穂仁原, 比作, 安条, 前飯谷, 後飯谷 |
| 2 | 西栄, 南栄, 東栄, 北栄 | 6 | 玖波, 玖波町, 湯舟町 |
| 3 | 立戸, 御幸町, 御園, 御園台, 小方, 晴海 黒川, 港町, 三ツ石町, 小方町, 小方ヶ丘 | 7 | 松ヶ原町 |
| | | 8 | 栗谷町 |
| 4 | 阿多田 | | |

(4)何年前から現在の場所に住んでいますか。(過去、大竹市から転出したことがある場合は、転出以前に大竹市に住んでいた期間は除いてください。)

※カッコ内には数字をお書きください。

| | | | |
|---|---------|---|----------------------|
| 1 | 3年未満 | 4 | 21年～30年 |
| 2 | 3年～10年 | 5 | 31年～40年 |
| 3 | 11年～20年 | 6 | 41年以上()年 |

(5)これからも大竹市にお住みになりますか。

| | |
|---|--------------|
| 1 | ずっと住み続けるつもり |
| 2 | 当分の間は住むつもり |
| 3 | 将来的には転居したい |
| 4 | 近いうちに転居するつもり |
| 5 | わからない |

問1

大竹市について、あなたが普段思っていることをお尋ねします。
 次の「a」～「o」の設問について、「1年前と比べてどうか」という視点で、それぞれあてはまる選択肢を○で囲んでください。

1. 【生活基盤が整ったまち】について

ここでは、「うれしい」、「便利だ」、「ありがたい」という感情を幸せ感の尺度とします。



わがまちプランの方向「住みたい、住んでよかったと感じるまち」をめざすにあたり、まず働く場である地域産業の振興と暮らしやすい生活基盤の整備が重要であると考えています。

| | | | | | | |
|---|---------------------|------|------|---------|---------|--------|
| a | 地域産業が盛んでまちに元気があると思う | そう思う | 少し思う | どちらでもない | あまり思わない | そう思わない |
|---|---------------------|------|------|---------|---------|--------|

| | | | | | | |
|---|---------------------|------|------|---------|---------|--------|
| b | 目的地までの移動がしやすいまちだと思う | そう思う | 少し思う | どちらでもない | あまり思わない | そう思わない |
|---|---------------------|------|------|---------|---------|--------|

| | | | | | | |
|---|----------------------------------|------|------|---------|---------|--------|
| c | 道路、公園、上下水道、水路などの基盤整備が整っていて暮らしやすい | そう思う | 少し思う | どちらでもない | あまり思わない | そう思わない |
|---|----------------------------------|------|------|---------|---------|--------|

2. 【安全なまち】について

ここでは、「ほっとする」、「ありがたい」という感情を幸せ感の尺度とします。



住みやすいまちを考えるにあたって、安全の確保は皆が望むことです。しかし、危険を全て取り除くことは不可能ですので、愛するわがまちを見守る市民を増やしていきたいと考えています。

| | | | | | | |
|---|-------------------------|------|------|---------|---------|--------|
| d | 災害、犯罪、事故などが少ない安全なまちだと思う | そう思う | 少し思う | どちらでもない | あまり思わない | そう思わない |
|---|-------------------------|------|------|---------|---------|--------|

| | | | | | | |
|---|---|------|------|---------|---------|--------|
| e | 消防団や自主防災組織等の活動が活発で、地域住民の防災意識、危機管理意識は高いと思う | そう思う | 少し思う | どちらでもない | あまり思わない | そう思わない |
|---|---|------|------|---------|---------|--------|

| | | | | | | |
|---|----------------------------------|------|------|---------|---------|--------|
| f | 自主防災組織の活動、救命講習、交通安全運動などに参加したいと思う | そう思う | 少し思う | どちらでもない | あまり思わない | そう思わない |
|---|----------------------------------|------|------|---------|---------|--------|

3. 【安心できるまち】について

ここでは、「ほっとする」、「うれしい」、「ありがたい」、「充実感がある」という感情を幸せ感の尺度とします。

いつまでも元気で、住み慣れたまちで暮らせるように、地域を愛し、人を愛する温かい市民とともに、みんなで福祉制度を支えます。
また、自らも元気を保つ生活習慣を身に付けます。



| | | | | | | |
|---|---|------|------|---------|---------|--------|
| g | 困った時などには、地域に暮らす人同士での助け合いができるつながりがあるので安心だと思う | そう思う | 少し思う | どちらでもない | あまり思わない | そう思わない |
| | | | | | | |

| | | | | | | |
|---|---|------|------|---------|---------|--------|
| h | 生活習慣の改善に取り組んだり、健康診断や健康づくりに参加したりするなど、自分の健康管理に日頃から気を付けている | そう思う | 少し思う | どちらでもない | あまり思わない | そう思わない |
| | | | | | | |

| | | | | | | |
|---|------------------------------|------|------|---------|---------|--------|
| i | 地域福祉に関するボランティア活動等に参加してみたいと思う | そう思う | 少し思う | どちらでもない | あまり思わない | そう思わない |
| | | | | | | |

4. 【心にゆとりを感じるまち】について

ここでは、「うれしい」、「楽しい」、「心地よい」という感情を幸せ感の尺度とします。

生涯を通して生きがいを持つことで、心にゆとりや豊かさを感じ、生き活きと暮らしてほしいと考えています。

また、市内のどこに行ってもきれいなまちをめざし、大竹を誇りと愛着のもてるまちにしたいと思います。



| | | | | | | |
|---|------------------------------|------|------|---------|---------|--------|
| j | やりたいことや夢中になれることがあり、生活が充実している | そう思う | 少し思う | どちらでもない | あまり思わない | そう思わない |
| | | | | | | |

| | | | | | | |
|---|----------------------------------|------|------|---------|---------|--------|
| k | 地元の歴史、伝統文化、地域行事に市民として誇りや愛着を感じている | そう思う | 少し思う | どちらでもない | あまり思わない | そう思わない |
| | | | | | | |

| | | | | | | |
|---|-------------------------------|------|------|---------|---------|--------|
| l | 環境美化の取り組みが進んでおり、まちがきれいで気持ちがいい | そう思う | 少し思う | どちらでもない | あまり思わない | そう思わない |
| | | | | | | |



「1年前と比べてどうか」という視点で、お答えください。



5. 【大竹を愛する人づくり】について

ここでは、「うれしい」、「好きだ」という感情を幸せ感の尺度とします。

わがまちプランの方向「よいまち」をつくるのは、人の思いと実行力であると
考えています。

自分のまちが好きであれば、まちのことを自分のこととして考えることができます。
大竹のよいところを知ってもらい、大竹を好きになってくれる人を増やします。

| | | | | | | |
|---|----------------|------|------|---------|-------------|--------|
| m | 大竹のよいところを知っている | そう思う | 少し思う | どちらでもない | あまり 思わない | そう思わない |
|---|----------------|------|------|---------|-------------|--------|

| | | | | | | |
|---|--------------------------|------|------|---------|-------------|--------|
| n | 市外の人に大竹の悪口を言われ たら腹が立つ | そう思う | 少し思う | どちらでもない | あまり 思わない | そう思わない |
|---|--------------------------|------|------|---------|-------------|--------|

| | | | | | | |
|---|---------------|------|------|---------|-------------|--------|
| o | あなたの暮らす地域が好きだ | そう思う | 少し思う | どちらでもない | あまり 思わない | そう思わない |
|---|---------------|------|------|---------|-------------|--------|

問2

「市民自治」について、あなたの考えをお尋ねします。次の「p」、「q」の設問について、
「1年前と比べてどうか」という視点で、それぞれあてはまる選択肢を○で囲んでください。



わがまちプランでは、市民の皆さんが、自らまちづくりを自分の問題として捉え、行政と一緒に考え、そして行動することで、他の人のために役立つことや地域に貢献できることに喜びや生きがいを感じてほしいと思っています。
この市民自治の精神を持った市民が増えることは、大竹を愛する人が増えることにもつながりますし、住みたい、住んでよかったと感じるまちにも近づいていくと考えます。

| | | | | | | |
|---|-------------------------------|------|------|---------|-------------|--------|
| p | あなたの暮らす地域のことに普 段から興味をもっている | そう思う | 少し思う | どちらでもない | あまり 思わない | そう思わない |
|---|-------------------------------|------|------|---------|-------------|--------|

| | | | | | | |
|---|-----------------------------------|------|------|---------|-------------|--------|
| q | 自分もできれば何か地域の役に 立てるようなことをやってみたい | そう思う | 少し思う | どちらでもない | あまり 思わない | そう思わない |
|---|-----------------------------------|------|------|---------|-------------|--------|

問3

大竹市でのあなたのイチオシについて教えてください。
好きなひと・もの・こと・とき・ところなど、なんでも構いません。
ひとつだけお書きください。

★ 設問は以上です。

「幸せ感」とは・・・

このアンケートでは、皆さんの心配や不安を取り除くよう、市が取り組むことで、少しでも皆さんの幸せ感を高めることができるのではないかと考える項目についてお尋ねしました。

しかし、皆さんが普段感じる幸せ感は、おいしいものを食べたときや、家族の団らん、子どもが笑った顔を見たときなど、ほんの些細なことかもしれません。

★ 市では、皆さんの幸せ感を少しでも高められるよう、よいまちの実現に向けて、わがまちプランに基づく取り組みを進めていきます。

このたびは、モニターとしてのアンケートへのご協力、誠にありがとうございました。



大好き  おおたけ
笑顔♪ 元気いつまでも



第2章 総合戦略（後期基本計画実施計画）における重要業績評価指標（KPI）及び指標の達成状況



I 概要

1 内容

後期基本計画では、各「主要な施策」に平成31年度の「数値目標」を設定しています。この「数値目標」に向かって、毎年の「目標値」を実施計画に掲載しています。その「目標値」と「実績値」で達成度を測っていきます。

今回、「実績値（平成30年度）」は、実績値を掲載しました。（147万tの部分です。）特徴的な項目には、表外に分析や取組を掲載しています。

また、「目標値（平成31年度）」は、後期基本計画策定時（平成27年度）の数値ですので、「実績値（平成30年度）」や「目標値（平成30年度）」において、目標を達成している場合もあります。

2 数値の見方

| | | | | | | | | |
|---|---|---------------|-------|-------|-------|-------|---|-------|
| ① | 基本目標1 地域経済を活性化し、安定した雇用創出を実現する 目標1-① 工業の振興 施策1 工業の振興 | 重要業績評価指標(KPI) | | | | | | |
| | | 基準値(H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | |
| ② | 大竹港で取り扱う貨物の量 〔港湾調査(広島県)〕 | 目標値 | — | — | 155万t | 160万t | 160万t | 160万t |
| | | 実績値 | 145万t | 140万t | 138万t | 156万t | 147万t (速報値) | |
| ③ | (1)企業支援事業(214,215) | 指 標 | | | | | | |
| ④ | 産業奨励金の措置指定件数 ※工業・サービス業等複数の業種の合計 | 基準値(H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | |
| | | 目標値 | — | — | 3件 | 5件 | 6件 | 7件 |
| | | 実績値 | 2件 | 1件 | 5件 | 4件 | 1件 | |

◇表中の記載は、説明例として加工したものであり、数値等は実際の事業計画の記載と異なる部分があります。

①：総合戦略の体系です。

3つの「基本目標」・15の「目標」・39の「施策」から構成されています。

「施策」はいくつかの「事業」で構成されます。各施策の方向性や事業の内容は、総合戦略（後期基本計画実施計画）をご覧ください。

②：施策の効果を測る指標です。（施策評価）

施策全体を客観的に評価する目安です。めざすべき姿の実現により得られる効果で評価します。〔 〕は数値の引用元の名称です（資料がある場合のみ）。

目標値：平成26年度を基準値として設定した平成31年度までの目標値です。

実績値：各年度の数値が把握できた時点で記載します（調査時期により、年度が終了しても記載できていないものもあります）。

欄外に、指標に関する分析や事業などを記載しています。なお、KPIによる施策評価は外部委員で構成される推進会議でも実施しています。

③：大事業の名称です。

施策を実現するための複数の「具体的な事業」をまとめたもので、後期基本計画の「大事業」の名称と一致します。

④：大事業の進捗状況や達成状況を測る指標です。（事業評価）

目標値：平成26年度を基準値として、平成31年度までの目標値を記載しています。ただし、新規事業の場合は基準値がありません。

〔 〕は数値の引用元の名称です（資料が有る場合のみ）。

実績値：各年度の数値が把握できた時点で記載します（事業開始前は「－」となっています）。

基本目標1 地域経済を活性化し、安定した雇用創出を実現する

目標1-① 工業の振興

施策1 工業の振興



| 重要業績評価指標 (KPI) | | 基準値(H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 |
|------------------------------|-----|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|---------|
| 従業員4人以上の事業所製造出荷額 〔工業統計調査〕 | 目標値 | — | — | 2,741億円 | 2,761億円 | 2,781億円 | 2,800億円 |
| | 実績値 | 2,394億円 (H25) | 2,730億円 (H26) | 3,007億円 (H27) | 2,615億円 (H28) | 2,996億円 (H29) | |
| 大竹港で取り扱う貨物の量 〔港湾調査(広島県)〕 | 目標値 | — | — | 155万t | 160万t | 160万t | 160万t |
| | 実績値 | 145万t | 140万t | 138万t | 156万t | 147万t (速報値) | |

目標1-② サービス業の振興

施策1 商業等の振興

| 重要業績評価指標 (KPI) | | 基準値(H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 |
|---|-----|--------------------------|-----|----------------------------|------|------|--------------------------|
| 事業所数(卸売業・小売業)の減少率 〔経済センサス[基礎調査][活動調査]〕 | 目標値 | — | — | △10%以下 (H26⇒H28) 2年間 | 未調査年 | 未調査年 | △10% (H26⇒H31) 5年間 |
| | 実績値 | △10% (H21⇒H24) 3年間 | — | △4.4% (H26⇒H28) | — | — | |

| 重要業績評価指標 (KPI) | | 基準値 (H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 |
|--------------------------------------|-----|-----------|-----|-----|---------------------|---------|---------|
| 手すき和紙保存会の収入額【H31新規】 (売上及び体験講座受講料) | 目標値 | — | — | — | — | — | 1,086千円 |
| | 実績値 | — | — | — | 987千円 (H26-28平均) | 1,002千円 | |
| 手すき和紙作業所における体験・見学者の数 【H31新規】 | 目標値 | — | — | — | — | — | 256人 |
| | 実績値 | — | — | — | 233人 (H24-28平均) | 191人 | |
| 手すき和紙作業所で生産される製品の種類 【H31新規】 | 目標値 | — | — | — | — | — | 6種類 |
| | 実績値 | — | — | — | 4種類 | 6種類 | |

目標1-③ 1次産業の振興

施策1 水産業の振興

| 重要業績評価指標 (KPI) | | 基準値 (H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 |
|---|-----|----------------|-----|------|------|------|----------------|
| ※漁業経営体の数 [漁業センサス] ※ 漁業経営体: 過去1年間に利潤または生活の資を得るために生産物を販売することを目的として、海面において水産動植物の採捕または養殖の事業を行った世帯または事業所(ただし、過去1年間における漁業の海上従事日数が30日未満の個人経営体は除く)。 | 目標値 | — | — | 未調査年 | 未調査年 | 未調査年 | 78経営体 (H30) |
| | 実績値 | 78経営体 (H25) | — | — | — | — | |

施策2 農業の振興

| 重要業績評価指標 (KPI) | 基準値 (H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | |
|----------------|-----------|-------|-------|-------|-------|---------|-------|
| 耕作放棄地の面積 | 目標値 | — | — | 4.3ha | 4.2ha | 2.7ha | 2.7ha |
| | 実績値 | 4.5ha | 4.4ha | 2.7ha | 1.9ha | 1.4ha | |
| 給食センターとの契約品目数 | 目標値 | — | — | 2品目 | 5品目 | 10品目 | 10品目 |
| | 実績値 | — | — | 10品目 | 17品目 | ※1 23品目 | |

参考 ※1:【目標値達成】(給食センターとの契約品目)干しシイタケ, サトイモ, ニンジン, サツマイモ, トマト, キャベツ, ナス, ダイコン, ジャガイモ, ロメインレタス, トウガン, ハクサイ, タマネギ, スナップエンドウ, キュウリ, ニンニク, カボチャ, シュンギク, ワサビナ, ユズ, ダイコンバ, レモン, シロネギ

施策3 林業の振興

| 重要業績評価指標 (KPI) | 基準値 (H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | |
|-------------------------|-----------|--------|--------|--------|--------|---------|---------|
| 市全体の森林間伐面積 (昭和61年からの累計) | 目標値 | — | — | 92.1ha | 98.8ha | 105.5ha | 112.2ha |
| | 実績値 | 78.7ha | 87.5ha | 91.9ha | 96.4ha | 103.7ha | |

目標1-④ 雇用の促進

施策1 雇用対策の促進・勤労者福祉の充実

| 重要業績評価指標 (KPI) | 基準値 (H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | |
|-----------------------------------|-----------|-------|-------|-------|-------|----------|-------|
| 有効求人倍率(求職者に対する求人割合) 〔出典:広島労働局〕 | 目標値 | — | — | 0.80倍 | 0.85倍 | 0.95倍 | 1.00倍 |
| | 実績値 | 0.78倍 | 0.80倍 | 0.79倍 | 0.87倍 | ※2 0.88倍 | |

分析 ※2:【目標値未達成】就業地ベースの有効求人倍率は1.76倍と高水準であり, 大手企業の就職が市外で行われている影響と思われる。

基本目標2 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

目標2-① 出会いの場の創出

施策1 勤労青少年の福祉の向上



| 重要業績評価指標 (KPI) | 基準値 (H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | |
|----------------|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 勤労青少年ホームのサークル数 | 目標値 | — | — | 4団体 | 4団体 | 5団体 | 5団体 |
| | 実績値 | 3団体 | 3団体 | 4団体 | 3団体 | 3団体 | |

目標2-② 母子保健環境の充実

施策1 母子保健施策

| 重要業績評価指標 (KPI) | 基準値 (H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | |
|---|-----------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 合計特殊出生率【H30追加】 ※広島県人口動態統計調査(当該年1月～12月)の数値により市 で算出(小数点第3位を四捨五入) | 目標値 | — | — | — | — | 1.47人 (H25-29) | 1.49人 (H26-30) |
| | 実績値 | 1.38人 (H21-25) | 1.42人 (H22-26) | 1.46人 (H23-27) | 1.49人 (H24-28) | 1.50人 (H25-29) | |
| JA広島総合病院の分娩制限の有無 ※産科医師・助産師の人数が不足したことにより、H19年2月から H25年6月まで分娩の受入が制限されていました。 | 目標値 | — | — | 制限なし | 制限なし | 制限なし | 制限なし |
| | 実績値 | 制限なし | 制限なし | 制限なし | 制限なし | 制限なし | |

分析 ※1:【目標値達成】合計特殊出生率は、増加しており、少子化に一定の歯止めがかかっていると思われる。
「合計特殊出生率」とは、15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したものである。1人の女性がその年齢別出生率で一生涯の間に産むとしたときの子どもの数に相当する。

目標2-③ 子育てしやすい環境の整備(幼児期まで)

施策1 幼児期の教育

| 重要業績評価指標 (KPI) | 基準値 (H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | |
|---|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 家庭教育・子育て支援に関する講座の受講者割合【H30変更】 | 目標値 | — | — | — | 28% | 29% | 30% |
| ★目標値変更理由 講座受講者数だけでは、対象者に対する講座の普及の程度が明確でないため。 | 実績値 | 21% | 21% | 27% | 30% | 34% | |

施策2 児童福祉の充実(幼児期まで)

| 重要業績評価指標 (KPI) | 基準値 (H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | |
|---|-----------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 保育所の待機児童数 | 目標値 | — | — | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 |
| | 実績値 | 0人 | 0人 | 0人 | 11人 | ※2 3人 | |
| 地域子育て支援拠点の利用者数(延数) | 目標値 | — | — | 19,000人 | 19,000人 | 19,000人 | 19,000人 |
| | 実績値 | 19,694人 | 18,208人 | 18,230人 | 19,425人 | 19,441人 | |
| 子育て支援に関するホームページのアクセス数 ※ 27年度に子育て支援の専用ページを作成。 | 目標値 | — | — | 2,800件 | 2,800件 | 2,800件 | 2,800件 |
| | 実績値 | — | — | 2,659件 | 2,122件 | 2,062件 | |
| 地域子ども子育て支援事業のうち新規拡充事業の目標値(確保方策)を達成した割合【H31追加】 | 目標値 | — | — | — | 33% | 33% | 100% |
| | 実績値 | — | — | — | 33% | 33% | |

分析 ※2:【目標値未達成】子育て世代のニーズが多様化し、待機児童が発生している。今後、待機児童の解消に向けて取組を行う。

目標2-④ 子育てしやすい環境の整備(小学生以降)

施策1 学校教育の充実

| 重要業績評価指標 (KPI) | 基準値 (H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | |
|--|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 小・中学校の教育活動に満足している保護者・地域の割合 〔学校評価調査〕 | 目標値 | — | — | 75% | 78% | 80% | 85% |
| | 実績値 | 75% | 82% | 83% | 90% | 90% | |

施策2 青少年の健全育成

| 重要業績評価指標 (KPI) | 基準値 (H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | |
|------------------------------|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| ジュニアリーダー育成事業に協力者として参画する高校生の数 | 目標値 | — | — | 3人 | 4人 | 4人 | 5人 |
| | 実績値 | 2人 | 1人 | 2人 | 1人 | 4人 | |

施策3 学校給食を活用した食育の推進

| 重要業績評価指標 (KPI) | 基準値 (H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 |
|----------------------------|-----------|-----|-----|-----|------|------|
| 調理体験の参加者割合【H31削除】 | 目標値 | — | — | — | 100% | — |
| | 実績値 | — | — | — | 100% | 100% |
| 対象児童に対する調理体験の応募者の割合【H31追加】 | 目標値 | — | — | — | — | 5.0% |
| | 実績値 | — | — | — | ※3 | 4.9% |

内容 ※3: 対象児童1,216人に対して、応募者60人。

| 参考値 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 |
|--|--------------|-------|-------|-------|-------|-----|
| 朝ごはんを毎日食べる子どもの割合(小学5年生) 〔基礎基本定着状況調査(広島県)〕 | 実績値 98.6% | 96.4% | 91.5% | 94.6% | 94.2% | |

内容 家庭の個別の事情などの要因があり評価しにくく、評価指標から削除したが、子どもの食に関する重要な指標であるため、参考値とした。

施策4 児童福祉の充実(小学生以降)

| 重要業績評価指標(KPI) | 基準値(H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 |
|---|----------|------|------|-------|------|------|
| 放課後児童クラブの受入率 ※27年度までは低学年における割合。28年度以降は高学年を含む全学年の割合(法改正 27年度) | 目標値 | — | — | 100% | 100% | 100% |
| | 実績値 | 100% | 100% | 93.3% | 100% | 100% |

基本目標3 誰もが健康で生きがいをもち、安心して暮らせる地域を実現する

目標3-① 良好な市域の整備

施策1 良好な市域の整備



| 重要業績評価指標 (KPI) | 基準値 (H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | |
|--|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 「大竹市にずっと住み続けるつもり」と回答した人の割合 大竹市民の幸せ感に関するアンケート(無作為抽出) | 目標値 | — | — | 67.2% | 70.3% | 73.4% | 76.4% |
| | 実績値 | 64.1% | 63.6% | 66.1% | 60.4% | 71.1% | |

施策2 雨水排水対策

| 重要業績評価指標 (KPI) | 基準値 (H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 |
|------------------|-----------|-----|-----|-----|-------|--------|
| 浸水の危険性が改善される市域面積 | 目標値 | — | — | — | 2.0ha | 11.3ha |
| | 実績値 | — | — | — | ※1 — | |

取組 ※1:【目標値未達成】平成30年7月豪雨の影響により、工事に着手できなかった。

施策3 公共交通機関の整備促進

| 重要業績評価指標 (KPI) | 基準値 (H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | |
|---|-----------|-------|-------|-------------------|-------------------|---------------------|---------------------|
| 市が運行・補助する公共交通の運賃収支率 (辺地タクシー, 離島航路を除く) | 目標値 | — | — | 51.0% | 52.0% | 53.0% | 54.0% |
| | 実績値 | 41.4% | 46.7% | 58.9% | 57.1% | 55.8% | |
| 「目的地までの移動がしやすいまち」だと思う人の割合 〔大竹市民の幸せ感に関するアンケート(無作為抽出)〕 | 目標値 | — | — | 55.8% | 57.2% | 58.6% | 60.0% |
| | 実績値 | 53.0% | 49.4% | 50.7% | 50.0% | 51.3% | |
| 玖波・黒川地域に転入・転居した人数 (累計) ※ 対象地域: 玖波駅の利用が多いと思われる, 玖波1~8丁目, 湯舟町, 玖波町, 黒川1~3丁目 | 目標値 | — | — | 520人 (H27-H28) | 780人 (H27-H29) | 1,040人 (H27-H30) | 1,300人 (H27-H31) |
| | 実績値 | 256人 | 293人 | 639人 | 960人 | 1,274人 | |

施策4 公園・緑地の整備

| 重要業績評価指標 (KPI) | 基準値 (H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | |
|-----------------------------------|-----------|----------|----------|----------|----------|----------------------------|----------|
| 公園の利用者数 (晴海臨海公園とさかえ公園の利用者数の合計) | 目標値 | — | — | 137,000人 | 144,200人 | 151,500人 | 158,800人 |
| | 実績値 | 122,392人 | 161,814人 | 158,344人 | 152,747人 | ※ ² 206,114人 | |

取組 ※2:【目標値達成】晴海臨海公園に大型複合遊具広場を整備した。

施策5 環境美化の推進

| 重要業績評価指標 (KPI) | 基準値 (H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | |
|---|-----------|-------|-------|-------|-------|-------------------------|-------|
| 「環境美化の取り組みが進んでおり、まちがきれいで気持ちがいい」と感じる人の割合 〔大竹市民の幸せ感に関するアンケート(無作為抽出)〕 | 目標値 | — | — | 62.0% | 63.0% | 64.0% | 65.0% |
| | 実績値 | 61.2% | 60.3% | 61.6% | 62.8% | ※ ³ 70.1% | |

取組 ※3:【目標値達成】公衆衛生推進協議会との連携による「花いっぱい運動」の拡大、ごみステーションの適正な管理、不法投棄防止への取組や「コイ・こいフェスティバルinおおたけ」で環境ブースを設置するなどの情報発信等を行った。

施策6 環境の保全

| 重要業績評価指標 (KPI) | 基準値 (H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | |
|---|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 環境基準(大気)に適合している項目の数 〔広島県環境白書〕 ※ 環境基準の対象となる大気汚染物質:二酸化硫黄, 二酸化窒素, 光化学オキシダント, 浮遊粒子状物質, 微小粒子状物質, ベンゼン, トリクロロエチレン, テトラクロロエチレン, ジクロロメタンの9物質。 | 目標値 | — | — | 7項目 | 7項目 | 7項目 | 7項目 |
| | 実績値 | 7項目 | 7項目 | 8項目 | 8項目 | 8項目 | |

施策7 交通安全対策の充実

| 重要業績評価指標 (KPI) | 基準値 (H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | |
|--|-----------|------|-----|-------|-------|-------|-------|
| 市内での交通人身事故の発生件数(高速道路を除く) 〔広島県警察 交通事故統計〕 | 目標値 | — | — | 95件以下 | 95件以下 | 95件以下 | 95件以下 |
| | 実績値 | 100件 | 92件 | 77件 | 67件 | 43件 | |

施策8 広域連携による効率的な行財政運営

| 重要業績評価指標 (KPI) | 基準値 (H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 |
|--|-----------|-----|-----|-------|-------|--------|
| 他の地方公共団体と連携する事業の実施割合 ※連携中枢都市制度を活用し、広島広域都市圏内市町と本市が一緒に取り組む「(ウ)生活関連機能サービス向上事業」の実施割合。 | 目標値 | — | — | 61.9% | 90.5% | 100.0% |
| | 実績値 | — | — | 61.9% | 61.9% | 90.9% |

目標3-② 良質な住宅・宅地の供給促進

施策1 良質な住宅・宅地の供給促進

| 重要業績評価指標 (KPI) | 基準値 (H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 |
|---|-----------|-------|------|-------|-------|-------|
| 晴海住宅地の分譲区画数 | 目標値 | — | — | 29区画 | 32区画 | 36区画 |
| | 実績値 | 26区画 | 28区画 | 31区画 | 32区画 | 39区画 |
| 高齢者が居住する住宅のバリアフリー化割合 〔住宅・土地統計調査〕 ※ バリアフリー化住宅:2力以上の手すり設置や屋内の段差解消などに該当する住宅。 | 目標値 | — | — | — | — | 53.4% |
| | 実績値 | 47.6% | — | — | — | — |
| 新耐震基準(S56年)を満たす住宅の割合 | 目標値 | — | — | 60.5% | 67.0% | 82.1% |
| | 実績値 | — | — | 73.5% | — | — |
| リフォームを実施した住宅の割合 〔住宅・土地統計調査〕 | 目標値 | — | — | — | — | 34.0% |
| | 実績値 | 32.0% | — | — | — | — |

目標3-③ 高齢者が元気に暮らせる地域づくり

施策1 高齢者施策の充実

| 重要業績評価指標 (KPI) | 基準値 (H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | |
|---|-----------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 訪問型サービスBの稼働数 | 目標値 | — | — | — | 1カ所 | 2カ所 | 3カ所 |
| | 実績値 | — | — | — | 0カ所 | 0カ所 | |
| 通所型サービスBの設置数 | 目標値 | — | — | — | 2カ所 | 6カ所 | 10カ所 |
| | 実績値 | — | — | — | 0カ所 | 0カ所 | |
| 生活支援コーディネーターの数 ※生活支援コーディネーター：高齢者の生活支援サービス体制の整備のために配置する人。地域支え合い推進員。 | 目標値 | — | — | 1人 | 2人 | 3人 | 4人 |
| | 実績値 | 0人 | 1人 | 1人 | 1人 | 1人 | |
| 離島介護サービスの利用者数 | 目標値 | — | — | 3人 | 7人 | 10人 | 10人 |
| | 実績値 | 3人 | 4人 | 9人 | 11人 | ※4 7人 | |
| 大竹市シルバー人材センターの就業人数(延数) | 目標値 | — | — | 54,000人 | 57,000人 | 57,000人 | 57,000人 |
| | 実績値 | 53,595人 | 56,772人 | 56,146人 | 53,681人 | 54,207人 | |
| 地域介護予防自主グループの稼働数 | 目標値 | — | — | — | 5カ所 | 15カ所 | 25カ所 |
| | 実績値 | — | — | — | 13カ所 | 17カ所 | |
| 敬老会の参加者数※ 【H30追加】 ※平成30年度より事業指標から移行 | 目標値 | — | — | 3,550人 | 3,600人 | 3,700人 | 3,800人 |
| | 実績値 | 3,501人 | 3,561人 | 3,634人 | 3,838人 | 3,632人 | |

分析 ※4:【目標値未達成】施設入所や転居等により、サービスを受けていた人が減少したため。

施策2 地域福祉の推進

| 重要業績評価指標 (KPI) | | 基準値 (H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 |
|--|-----|----------------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 地域福祉の推進を目的としたボランティア団体数 | 目標値 | — | — | 1団体 | 3団体 | 4団体 | 5団体 |
| | 実績値 | 1団体 | 1団体 | 3団体 | 5団体 | 6団体 | |
| 地域活動及びボランティアへの参加意向の割合 (2)の事業で実施するアンケート結果 | 目標値 | — | — | 60.0% | 60.0% | 65.0% | 70.0% |
| | 実績値 | 58.8% (H24) | — | 44.7% | 73.5% | 62.1% | |
| 困ったときに助け合える近所つきあいをしている人の割合 (2)の事業で実施するアンケート結果 | 目標値 | — | — | 25.0% | 30.0% | 35.0% | 40.0% |
| | 実績値 | 22.0% (H24) | — | 29.2% | 27.8% | 16.4% | |
| 地域見守り協定締結の団体数(累計) | 目標値 | — | — | 2団体 | 3団体 | 4団体 | 5団体 |
| | 実績値 | 0団体 | 1団体 | 3団体 | 6団体 | ※5 6団体 | |
| 総合福祉センターの利用者数(延数) | 目標値 | — | — | 32,000人 | 33,000人 | 34,000人 | 35,000人 |
| | 実績値 | 30,977人 | 34,092人 | 39,658人 | 33,284人 | 33,892人 | |
| 生活支援コーディネーターの数(再掲) | 目標値 | — | — | 1人 | 2人 | 3人 | 4人 |
| | 実績値 | 0人 | 1人 | 1人 | 1人 | 1人 | |
| はいかい高齢者SOSネットワーク登録者数(累計) | 目標値 | — | — | 20人 | 25人 | 30人 | 35人 |
| | 実績値 | 17人 | 24人 | 29人 | 35人 | 38人 | |

内容 ※5:【目標値達成】(地域福祉の推進等に関する包括連携協定締結企業)山口県東部ヤクルト販売株式会社、日本郵便株式会社大竹市内郵便局
(高齢者等地域見守活動に関する協定締結企業)株式会社広島銀行大竹支店、株式会社もみじ銀行大竹支店
中国電力株式会社大竹電力所、佐伯中央農業協同組合

目標3－④ 地域力の向上

施策1 地域安全対策の充実

| 重要業績評価指標 (KPI) | 基準値 (H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | |
|--|-----------|------|------|------|------|------|------|
| 犯罪の発生率 (人口1,000人あたりの犯罪発生件数) 〔広島県警察「犯罪統計資料」から算出〕 | 目標値 | — | — | 6.6‰ | 6.4‰ | 6.2‰ | 6.0‰ |
| | 実績値 | 6.9‰ | 5.9‰ | 5.6‰ | 5.1‰ | 4.9‰ | |
| ‰[パーミル] | | | | | | | |

施策2 消防力の強化

| 重要業績評価指標 (KPI) | 基準値 (H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | |
|-----------------|-----------|-----|------|-------|-------|-------|------|
| 条例定数に対する消防団員の割合 | 目標値 | — | — | 100% | 100% | 100% | 100% |
| | 実績値 | 95% | 100% | 99.4% | 99.3% | 99.7% | |

施策3 災害・危機に強いまちづくり

| 重要業績評価指標 (KPI) | 基準値 (H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | |
|--|-----------|-------|-------|-------|-------|----------|-------|
| 地域での自主的な防災訓練や防災教室の実施率 (自治会・自主防災組織単位) | 目標値 | — | — | 38.0% | 44.0% | 47.0% | 50.0% |
| | 実績値 | 35.0% | 29.0% | 37.0% | 34.0% | ※6 40.0% | |
| 水や食糧を3日分程度備蓄している人の割合 ※26年度:説明会等の参加者アンケート / 27年度:大竹市民の 幸せ感に関するアンケート / 28年度以降:イベント会場でのアン ケート調査。 | 目標値 | — | — | 18.0% | 45.0% | 47.0% | 50.0% |
| | 実績値 | — | — | 39.0% | 32.0% | 33.3% | |
| 地震時のために家具等の転倒防止策を施している人 の割合 ※26年度:説明会等の参加者アンケート / 27年度:大竹市民の 幸せ感に関するアンケート / 28年度以降:イベント会場でのアン ケート調査。 | 目標値 | — | — | 15.0% | 50.0% | 55.0% | 60.0% |
| | 実績値 | — | — | 47.0% | 40.0% | 37.3% | |

分析 ※6:【目標値未達成】近年の気象傾向や他市町の被災状況による、地域の防災意識の高まりにより平成29年度より増加した。

施策4 救急・救助体制の充実

| 重要業績評価指標 (KPI) | 基準値 (H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | |
|-----------------|-----------|-------|-------|-------|-------|----------|-------|
| 救急講習の受講率 (対人口比) | 目標値 | — | — | 24.0% | 26.0% | 28.0% | 30.0% |
| | 実績値 | 20.0% | 23.6% | 25.2% | 27.2% | ※7 30.5% | |

分析 ※7:【目標値達成】全国的な災害や熱中症等が発生する中、自治会や小中学校からの救急講習の要請が増加した。

施策5 医療体制の充実

| 重要業績評価指標 (KPI) | 基準値 (H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | |
|---|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 休日診療所及び在宅当番医の診療科目数 ※ 診療4科目:内科, 外科, 眼科, 耳鼻咽喉科 | 目標値 | — | — | 4科目 | 4科目 | 4科目 | 4科目 |
| | 実績値 | 4科目 | 4科目 | 4科目 | 4科目 | 4科目 | |

施策6 地域活動の促進

| 重要業績評価指標 (KPI) | 基準値 (H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | |
|---|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 自治会の加入率 (全世帯に対する自治会活動助成金の交付対象世帯数の割合) | 目標値 | — | — | 82.0% | 83.0% | 82.5% | 82.5% |
| | 実績値 | 81.8% | 81.2% | 83.2% | 81.5% | 79.1% | |

施策7 市民主体のまちづくりの推進

| 重要業績評価指標 (KPI) | 基準値 (H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | |
|--|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 「自分もできれば何か地域の役に立てるようなことをやってみたいと思う」人の割合 〔大竹市民の幸せ感に関するアンケート(無作為抽出)〕 | 目標値 | — | — | 47.3% | 48.2% | 44.2% | 44.2% |
| | 実績値 | 45.5% | 40.3% | 39.2% | 39.9% | 40.4% | |

目標3－⑤ 健康づくりの推進

施策1 健康づくりの推進と医療保険事業の安定化

| 重要業績評価指標 (KPI) | 基準値 (H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | |
|----------------|-----------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------|
| がん検診の平均受診率 ※ | 目標値 | — | — | 15.6% | 20.0% | 26.0% | 32.0% |
| | 実績値 | (25.6%) | 12.4% | 12.3% | 12.0% | 20.2% | |
| 特定健康診査の受診率 | 目標値 | — | — | 37.0% | 45.0% | 45.0% | 45.0% |
| | 実績値 | 24.7% (H26確定値) | 26.6% (H27確定値) | 33.1% (H28確定値) | 34.6% (H29確定値) | 33.5% (H30速報値) | |

※がん検診の受診率の算出方法が、平成27年度と平成30年度に変更となりました。26年度の受診率は、新しい算出方法で算定できないため、従来の算出方法のまま掲載しています。
(指標の各がん検診の受診率も、同様です。)

施策2 食育の推進

| 重要業績評価指標 (KPI) | 基準値 (H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | |
|----------------|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 食生活改善推進員の人数 | 目標値 | — | — | 40人 | 43人 | 43人 | 45人 |
| | 実績値 | 35人 | 35人 | 46人 | 38人 | 36人 | |

目標3-⑥ 文化やスポーツに親しみ、趣味や人間関係を広げる

施策1 社会教育の推進

| 重要業績評価指標 (KPI) | 基準値 (H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | |
|----------------------|-----------|--------|--------|--------|--------|-----------------------|--------|
| 公民館等で開催する講座の受講者数(延数) | 目標値 | — | — | 5,300人 | 5,300人 | 5,300人 | 5,300人 |
| | 実績値 | 5,338人 | 5,294人 | 5,749人 | 5,568人 | ※ ⁸ 6,703人 | |

分析 ※8:【目標値達成】ららんカレッジ参加者の増加や公民館まつり等のイベントとタイアップした講座への参加者増加のため。

施策2 生涯学習の充実

| 重要業績評価指標 (KPI) | 基準値 (H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | |
|----------------------|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 生涯学習施設の年間利用者の割合(人口比) | 目標値 | — | — | 11.3倍 | 11.3倍 | 11.4倍 | 11.5倍 |
| | 実績値 | 11.1倍 | 10.7倍 | 10.8倍 | 10.6倍 | 10.5倍 | |

施策3 スポーツの推進

| 重要業績評価指標 (KPI) | 基準値 (H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | |
|-------------------|-----------|----------|----------|----------|----------|-------------------------|----------|
| スポーツ大会等の参加者(利用者)数 | 目標値 | — | — | 187,000人 | 191,000人 | 196,000人 | 200,000人 |
| | 実績値 | 177,759人 | 193,295人 | 210,075人 | 204,151人 | ※ ⁹ 187,885人 | |

内容 ※9:【目標値未達成】晴海臨海公園の工事の影響により約10,000人が減少、学校開放施設利用者が約5,000人減少した。

施策4 芸術・文化活動の推進

| 重要業績評価指標 (KPI) | 基準値 (H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | |
|----------------|-----------|------|------|------|------|------|------|
| 市文化祭への出展者数 | 目標値 | — | — | 280人 | 290人 | 300人 | 300人 |
| | 実績値 | 276人 | 277人 | 252人 | 252人 | 274人 | |

目標3－⑦ 情報発信力の向上

施策1 積極的な情報発信

| 重要業績評価指標 (KPI) | 基準値 (H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | |
|-------------------|-----------|----------|----------|----------|----------|-----------------|----------|
| 市ホームページのアクセス数(延数) | 目標値 | — | — | 339,000件 | 354,000件 | 369,000件 | 384,000件 |
| | 実績値 | 290,717件 | 303,004件 | 781,855件 | 809,197件 | ※10 944,729件 | |
| 市内への観光客数(延数) | 目標値 | — | — | 367,592人 | 377,592人 | 387,592人 | 398,800人 |
| | 実績値 | 337,592人 | 389,170人 | 394,390人 | 393,590人 | 432,120人 | |

内容 ※10:【目標値達成】平成28年度に行ったホームページのリニューアルによる影響。

Ⅲ 指標の達成状況

1-①工業の振興

基本目標1 地域経済を活性化し、安定した雇用創出を実現する

目標1-① 工業の振興

施策1 工業の振興



(1)企業支援事業 (214,215)

| 指 標 | 基準値(H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | |
|--------------------------------------|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 産業奨励金の措置指定件数 ※ 工業・サービス業等複数の業種の合計 | 目標値 | — | — | 3件 | 5件 | 6件 | 7件 |
| | 実績値 | 2件 | 1件 | 5件 | 4件 | 1件 | |
| 融資件数(設備近代化資金) ※ 工業・サービス業等複数の業種の合計 | 目標値 | — | — | 3件 | 4件 | 4件 | 5件 |
| | 実績値 | 2件 | 0件 | 0件 | 2件 | 0件 | |
| 技能者等人材育成事業の増加(H27比)受講者数 | 目標値 | — | — | 15人 | 20人 | 25人 | 30人 |
| | 実績値 | — | 18人 | 7人 | 30人 | △3人 | |

(2)工業用水道設備維持管理事業 (227)

| 指 標 | 基準値(H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | |
|---------------------------------|----------|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 給水を制限・停止した件数(天災地変等やむを得ない場合を除く。) | 目標値 | — | — | 0件 | 0件 | 0件 | 0件 |
| | 実績値 | 0件 | 0件 | 0件 | 0件 | 0件 | |

1-①工業の振興・1-②サービス業の振興

(3) 港湾施設管理事業 (224)

| 指 標 | 基準値(H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | |
|-------------------------|----------|--------|----------|----------|----------|-----------------|----------|
| 大竹港(東栄地区)入港船舶数 | 目標値 | — | — | 3,950隻 | 4,000隻 | 4,000隻 | 4,000隻 |
| | 実績値 | 3,759隻 | 3,612隻 | 3,629隻 | 3,850隻 | 3,638隻 (速報値) | |
| 大竹港(東栄地区)岸壁使用料収入【H29追加】 | 目標値 | — | — | 17,000千円 | 17,500千円 | 17,500千円 | 17,500千円 |
| | 実績値 | — | 16,224千円 | 15,635千円 | 16,088千円 | 17,323千円 | |

目標1-② サービス業の振興

施策1 商業等の振興

(1) 商業振興事業 (214,215)

| 指 標 | 基準値(H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | |
|---|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 地元商店などで新規に取り組む事業の数 | 目標値 | — | — | 1件 | 6件 | 6件 | 6件 |
| | 実績値 | — | 0件 | 4件 | 3件 | 3件 | |
| 創業支援事業による [*] 創業者(起業者)数 (累計) ※ 商業に限定しません。 | 目標値 | — | — | 4人 | 8人 | 12人 | 17人 |
| | 実績値 | — | 0人 | 1人 | 2人 | 5人 | |

(2) 伝統文化生産性付加事業 (214,215)

| 指 標 | 基準値(H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 |
|----------------------------|----------|-----|-----|-----|-----|------|
| 手すき和紙作業所改修工事進捗率 【H31新規】 | 目標値 | — | — | — | — | 100% |
| | 実績値 | — | — | — | 0% | 100% |

目標1-③ 1次産業の振興

施策1 水産業の振興

(1) 養殖漁業経営支援事業 (213)

| 指 標 | 基準値(H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 |
|---------------------------|----------|----------|---------|---------|---------|---------|
| 漁協が自営事業として実施するブランドハマチ事業の数 | 目標値 | — | — | 1事業 | 1事業 | 1事業 |
| | 実績値 | 0事業 | 0事業 | 1事業 | 1事業 | 1事業 |
| かきの採苗量 | 目標値 | — | — | 必要量の確保 | 必要量の確保 | 必要量の確保 |
| | 実績値 | 必要量の2割程度 | 概ね必要量確保 | 概ね必要量確保 | 概ね必要量確保 | 概ね必要量確保 |

(2) 漁港施設管理事業 (224)

| 指 標 | 基準値(H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 |
|--|----------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 漁港施設で対策が必要な [※] 箇所のうち、改修等に着手した箇所数（累計） ※平成26年度に広島県から移譲を受けた時にa判定評価であった箇所及び移譲後に新たなa判定評価となった修繕箇所が対象。 | 目標値 | — | — | — | 5 | 6 |
| | 実績値 | — | — | — | 3 | 4 |

施策2 農業の振興

(1) 集落営農担い手育成事業 (211)

| 指 標 | 基準値(H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 |
|---|----------|-----|-----|-----|-----|-----|
| ※人・農地プランの作成件数 ※人・農地プラン(地域農業マスタープラン):持続可能な力強い農業を実現するために、基本となる人と農地の問題を一体的に解決しようとするためのプランです。集落や地域でしっかりと話し合い、農地の問題を解決するための「未来の設計図」を作ります。 | 目標値 | — | — | 1件 | 1件 | 1件 |
| | 実績値 | 0件 | 0件 | 0件 | 0件 | 0件 |

(2) 農業振興対策事業 (211)

| 指 標 | 基準値(H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 |
|---------------------|----------|-------|-------|---------|---------|-------|
| イノシシによる農作物被害額(農済集計) | 目標値 | — | — | 680千円 | 595千円 | 510千円 |
| | 実績値 | 850千円 | 794千円 | 1,160千円 | 1,026千円 | 663千円 |
| 農地パトロール実施地域【H29追加】 | 目標値 | — | — | 全地域 | 全地域 | 全地域 |
| | 実績値 | — | 全地域 | 全地域 | 全地域 | 全地域 |

(3) 農業施設維持補修事業 (211)

| 指 標 | 基準値(H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 |
|--------------------------|----------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 農道・農水路の保全計画の策定数(地区ごとに策定) | 目標値 | — | — | — | 1地区 | 1地区 |
| | 実績値 | — | — | — | 0地区 | |

1-③1次産業の振興

(4)ひろしま給食地産地消促進事業 (211)

| 指 標 | 基準値(H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | |
|------------------------|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 給食センター用農作物のマロンの里への出荷者数 | 目標値 | — | — | 10人 | 30人 | 40人 | 50人 |
| | 実績値 | — | — | 10人 | 30人 | 30人 | |

施策3 林業の振興

(1)森づくり普及促進事業 (212)

| 指 標 | 基準値(H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | |
|-----------------------|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 里山整備事業により整備した里山の数(累計) | 目標値 | — | — | 1カ所 | 1カ所 | 1カ所 | 2カ所 |
| | 実績値 | 0カ所 | 0カ所 | 1カ所 | 1カ所 | 1カ所 | |

(2)森林保育事業 (212)

| 指 標 | 基準値(H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | |
|--------------------------|----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 玖波財産区の森林間伐面積(昭和61年からの累計) | 目標値 | — | — | 38.6ha | 40.1ha | 41.6ha | 43.1ha |
| | 実績値 | 35.6ha | 37.1ha | 37.1ha | 37.1ha | 37.1ha | |

目標1-④ 雇用の促進

施策1 雇用対策の促進・勤労者福祉の充実

(1)雇用対策事業 (216)

| 指 標 | 基準値(H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | |
|--------------------------------|----------|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 公共職業安定所などと新規に連携して取り組んだ事業の数(累計) | 目標値 | — | — | — | 1件 | 1件 | 2件 |
| | 実績値 | — | — | — | 1件 | 1件 | |

(2)勤労者福祉事業 (216)

| 指 標 | 基準値(H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | |
|--------------------------------|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 労働金庫新規融資件数 | 目標値 | — | — | 14件 | 16件 | 18件 | 20件 |
| | 実績値 | 10件 | 19件 | 12件 | 5件 | 3件 | |
| 働き方改革推進・女性活躍促進セミナーの参加者数【H30変更】 | 目標値 | — | — | 20人 | 30人 | 30人 | 30人 |
| | 実績値 | — | 30人 | 22人 | 45人 | 46人 | |

2-①出会いの場の創出・2-②母子保健環境の充実

基本目標2 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

目標2-① 出会いの場の創出

施策1 勤労青少年の福祉の向上



(1) 勤労青少年ホーム運営事業 (113)

| 指 標 | 基準値(H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | |
|--|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 勤労青少年ホーム周知回数 (広報紙・ホームページなどの情報発信媒体への掲載数) | 目標値 | — | — | 13回 | 14回 | 15回 | 15回 |
| | 実績値 | 12回 | 12回 | 18回 | 14回 | 13回 | |

目標2-② 母子保健環境の充実

施策1 母子保健施策

(1) 医療体制整備事業 (422)

| 指 標 | 基準値(H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | |
|-----------------|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| JA広島総合病院の産科医の人数 | 目標値 | — | — | 5人 | 5人 | 5人 | 5人以上 |
| | 実績値 | 5人 | 6人 | 6人 | 5人 | 5人 | |
| JA広島総合病院の助産師の人数 | 目標値 | — | — | 26人 | 26人 | 26人 | 26人以上 |
| | 実績値 | 26人 | 30人 | 26人 | 26人 | 25人 | |

2-②母子保健環境の充実

(2) 母子保健事業 (421)

| 指 標 | 基準値(H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 |
|---------------------------------|----------|------|-------|--------|-------|-------|
| 不妊治療助成制度の利用者数【H30新規】 | 目標値 | — | — | — | 10人 | 10人 |
| | 実績値 | — | — | — | 8人 | |
| 妊娠11週までに妊娠届を行う割合 | 目標値 | — | — | 94.0% | 95.0% | 96.0% |
| | 実績値 | 94% | 91% | 95.9% | 93.8% | 96.2% |
| 妊産婦健康診査等支援制度の利用者数【H30変更】 | 目標値 | — | — | 208人 | 210人 | 200人 |
| | 実績値 | 204人 | 200人 | 183人 | 188人 | 146人 |
| 妊産婦健康診査等支援制度の利用率 | 目標値 | — | — | 95.0% | 96.0% | 97.0% |
| | 実績値 | — | 94.3% | 107.0% | 97.4% | 91.8% |
| 阿多田地区妊産婦健康診査交通費助成制度の利用者数【H30変更】 | 目標値 | — | — | 1人 | 2人 | 2人 |
| | 実績値 | — | — | 0人 | 1人 | 2人 |
| 妊産婦歯科健康診査の受診率(妊婦) | 目標値 | — | — | 40.0% | 50.0% | 50.0% |
| | 実績値 | — | 38.0% | 43.8% | 47.0% | 47.0% |
| 妊産婦歯科健康診査の受診率(産婦) | 目標値 | — | — | 30.0% | 40.0% | 40.0% |
| | 実績値 | — | 22.0% | 35.2% | 25.2% | 47.0% |
| 乳児一般健康診査(医療機関で実施)の受診率 | 目標値 | — | — | 80.0% | 81.0% | 82.0% |
| | 実績値 | — | 79.2% | 75.5% | 77.0% | 71.4% |

2-②母子保健環境の充実

| 指 標 | 基準値(H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | |
|----------------------------------|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 生後4カ月までに赤ちゃん訪問を実施する割合 【H30変更】 | 目標値 | — | — | 96.0% | 98.0% | 98.0% | 98.0% |
| | 実績値 | 95.0% | 98.0% | 96.4% | 95.3% | 95.0% | |
| 乳児健康相談の受診率 | 目標値 | — | — | 95.0% | 96.0% | 96.0% | 97.0% |
| | 実績値 | 95% | 94% | 97.0% | 96.3% | 95.9% | |
| 1歳6か月児健康診査の受診率 | 目標値 | — | — | 96.0% | 96.0% | 96.0% | 96.0% |
| | 実績値 | 96.0% | 95.0% | 97.1% | 96.1% | 96.5% | |
| 3歳児健康診査の受診率 | 目標値 | — | — | 91.0% | 92.0% | 93.0% | 94.0% |
| | 実績値 | 90.0% | 90.0% | 97.0% | 97.5% | 95.0% | |

(3) 乳幼児保健事業 ≪(2)母子保健事業に統合したため【H29削除】≫

(4) 食育推進事業 ≪3⑤2(1)食育推進事業と統合したため【H29削除】≫

2-③子育てしやすい環境の整備(幼児期まで)

目標2-③ 子育てしやすい環境の整備(幼児期まで)

施策1 幼児期の教育

(1)家庭教育・子育て支援事業 (111)

| 指 標 | 基準値(H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 |
|--|----------|------|------|------|------|------------|
| 家庭教育・子育て支援に関する講座数 ※ 家庭教育や子育て支援に関する講座は、前期基本計画期間中(H23-27年度)に大幅に増加させているため維持とします。 | 目標値 | — | — | 13講座 | 13講座 | 13講座 ※13講座 |
| | 実績値 | 13講座 | 12講座 | 12講座 | 16講座 | 13講座 |

施策2 児童福祉の充実(幼児期まで)

(1)子ども・子育て支援事業計画の推進 (412)

| 指 標 | 基準値(H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 |
|---|----------|-----|-----|-----|-----|----------|
| 地域子ども子育て支援事業のうち新規拡充事業の目標値(確保方策)を達成した割合 | 目標値 | — | — | — | 33% | 33% 100% |
| | 実績値 | — | — | — | 33% | 33% |
| 子育て短期支援事業(ショートステイ)の年間利用可能日数(延数) 〔大竹市子ども・子育て支援事業計画〕 | 目標値 | — | — | — | 14日 | 14日 14日 |
| | 実績値 | — | — | — | 14日 | 14日 |
| 利用者支援事業の実施箇所 〔大竹市子ども・子育て支援事業計画〕 | 目標値 | — | — | — | — | 1カ所 |
| | 実績値 | — | — | — | — | — |
| ファミリーサポートセンター事業の年間利用日数(延数) 〔大竹市子ども・子育て支援事業計画〕 | 目標値 | — | — | — | — | 50日 |
| | 実績値 | — | — | — | — | — |

2-③子育てしやすい環境の整備(幼児期まで)

(2)こども医療費助成事業 (412)

| 指 標 | 基準値(H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 |
|-------------------|----------|-----|-----|------|------|------|
| 医療費助成拡充対象者への申請勧奨率 | 目標値 | — | — | 100% | 100% | 100% |
| | 実績値 | — | — | 100% | 100% | 100% |

(3)特別保育の実施 (412)

| 指 標 | 基準値(H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 |
|-----------------------|----------|------|------|------|------|------|
| 延長保育を実施する保育所等の数 | 目標値 | — | — | 3力所 | 3力所 | 3力所 |
| | 実績値 | 3力所 | 3力所 | 3力所 | 3力所 | 3力所 |
| 休日保育を実施する保育所等の数 | 目標値 | — | — | 0力所 | 0力所 | 1力所 |
| | 実績値 | 0力所 | 0力所 | 0力所 | 0力所 | 0力所 |
| 病児・病後児保育利用可能人数(年間延人数) | 目標値 | — | — | 750人 | 750人 | 750人 |
| | 実績値 | 750人 | 750人 | 750人 | 750人 | 750人 |

(4)安全な保育に向けて (412)

| 指 標 | 基準値(H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 |
|---|----------|-----|-------|-------|-------|-------|
| 保育所アンケート安心度【H30変更】 | 目標値 | — | — | 60.0% | 60.0% | 85.0% |
| | 実績値 | — | 79.6% | 84.3% | 76.0% | 70.2% |
| 保育所メールシステムの登録率 ※登録率は、保育所入所児童数に対する割合。 | 目標値 | — | — | 95.0% | 95.0% | 95.0% |
| | 実績値 | — | — | 96.5% | 97.0% | 98.0% |

2-④子育てしやすい環境の整備(小学生以降)

目標2-④ 子育てしやすい環境の整備(小学生以降)

施策1 学校教育の充実

(1)不登校等の対策 (112)

| 指 標 | 基準値(H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | |
|------------|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 不登校の児童・生徒数 | 目標値 | — | — | 25人 | 23人 | 20人 | 17人 |
| | 実績値 | 27人 | 20人 | 25人 | 28人 | 30人 | |

(2)小中学校施設整備事業<<H28完了⇒H29削除>>

◆学校施設の耐震化率 <<事業完了のためH29削除>>

●玖波小学校施設整備事業<<H28完了⇒H29削除>>

2-④子育てしやすい環境の整備(小学生以降)

(3)教育推進事業 (112)

| 指 標 | 基準値(H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | |
|--|----------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 「基礎・基本」定着状況調査の平均通過率 (県平均との比較) | 目標値 | — | — | ±0.0 ポイント | +1.0 ポイント | +2.0 ポイント | +3.0 ポイント |
| | 実績値 | +1.3 ポイント | △1.3 ポイント | △1.2 ポイント | △0.8 ポイント | 実施無 | |
| 全国学力・学習状況調査の平均正答率 (県平均との比較) | 目標値 | — | — | +1.3 ポイント | +1.5 ポイント | +2.0 ポイント | +3.0 ポイント |
| | 実績値 | +0.4 ポイント | +1.3 ポイント | △1.0 ポイント | △0.4 ポイント | △0.6 ポイント | |
| 体力・運動能力テストで県平均以上の項目数 ※ 全項目数:34項目 ※ 評価対象:小学校5年生男子・女子, 中学校2年生男子・女子 | 目標値 | — | — | 13項目 | 13項目 | 13項目 | 16項目 |
| | 実績値 | 10項目 | 12項目 | 10項目 | 17項目 | 17項目 | |
| 特別支援教育支援員を配置した割合 | 目標値 | — | — | 100% | 100% | 100% | 100% |
| | 実績値 | 100% | 100% | 100% | 100% | 100% | |
| いじめの認知件数 | 目標値 | — | — | 15件 | 13件 | 10件 | 10件 |
| | 実績値 | 17件 | 11件 | 12件 | 14件 | 24件 | |
| 学級支援員の配置数 | 目標値 | — | — | 11人 | 12人 | 12人 | 12人 |
| | 実績値 | 9人 | 9人 | 11人 | 12人 | 10人 | |
| 読書活動推進員の配置数 | 目標値 | — | — | 2人 | 2人 | 2人 | 2人 |
| | 実績値 | 2人 | 2人 | 2人 | 2人 | 2人 | |
| 中学3年生の英検3級以上取得者割合【H30追加】 | 目標値 | — | — | — | — | 40.0% | 50.0% |
| | 実績値 | — | — | 11.7% | 31.4% | 29.7% | |

2-④子育てしやすい環境の整備(小学生以降)

(4)奨学金返還免除制度 (113)

| 指 標 | 基準値(H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | |
|-----------|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 免除制度の利用者数 | 目標値 | — | — | 43人 | 45人 | 47人 | 50人 |
| | 実績値 | 28人 | 41人 | 41人 | 41人 | 43人 | |
| 新規貸付者数 | 目標値 | — | — | 15人 | 15人 | 15人 | 15人 |
| | 実績値 | — | 9人 | 5人 | 3人 | 6人 | |

施策2 青少年の健全育成

(1)21世紀を担う人材育成事業 (113)

| 指 標 | 基準値(H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | |
|---------------------------------|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| ジュニアリーダー育成事業の参加者数 (小・中学生) | 目標値 | — | — | 25人 | 25人 | 25人 | 25人 |
| | 実績値 | 15人 | 29人 | 44人 | 21人 | 22人 | |
| ジュニアリーダー育成事業のリピーター人数 (小・中学生) | 目標値 | — | — | 15人 | 15人 | 15人 | 15人 |
| | 実績値 | 6人 | 13人 | 18人 | 18人 | 10人 | |
| 中学生交歓交流事業の参加者数 (大竹市分)【H30変更】 | 目標値 | — | — | 12人 | 12人 | 10人 | 10人 |
| | 実績値 | 10人 | 10人 | 14人 | 14人 | 13人 | |

2-④子育てしやすい環境の整備(小学生以降)

(2)子ども居場所づくり事業(113)

| 指 標 | 基準値(H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | |
|-----------------------------|----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| おおたけっ子らんらんカレッジの教室数 | 目標値 | — | — | 41教室 | 41教室 | 42教室 | 43教室 |
| | 実績値 | 41教室 | 39教室 | 41教室 | 36教室 | 42教室 | |
| おおたけっ子らんらんカレッジ(企業・学校連携)の教室数 | 目標値 | — | — | 9教室 | 9教室 | 10教室 | 10教室 |
| | 実績値 | 8教室 | 8教室 | 8教室 | 8教室 | 10教室 | |
| おおたけっ子らんらんカレッジの参加者数 | 目標値 | — | — | 1,100人 | 1,100人 | 1,100人 | 1,100人 |
| | 実績値 | 1,024人 | 1,275人 | 1,333人 | 1,082人 | 1,330人 | |
| 放課後子ども教室の数 | 目標値 | — | — | 10教室 | 10教室 | 10教室 | 10教室 |
| | 実績値 | 8教室 | 10教室 | 10教室 | 9教室 | 10教室 | |
| 放課後子ども教室の登録者数 | 目標値 | — | — | 130人 | 140人 | 150人 | 160人 |
| | 実績値 | 128人 | 174人 | 166人 | 170人 | 185人 | |

2-④子育てしやすい環境の整備(小学生以降)

施策3 学校給食を活用した食育の推進

(1)学校における食育の推進 (513)

| 指 標 | 基準値(H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | |
|-------------------------|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 学校給食における地場産物(広島県産)の使用割合 | 目標値 | — | — | 26% | 27% | 28% | 30% |
| | 実績値 | 25% | 25% | 25% | 26% | 27% | |

施策4 児童福祉の充実(小学生以降)

(1)子ども・子育て支援事業計画の推進(再掲) (412)

| 指 標 | 基準値(H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | |
|---|----------|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 地域子ども子育て支援事業のうち 新規拡充事業の目標値(確保方策)を達成した割合 | 目標値 | — | — | — | 33% | 33% | 100% |
| | 実績値 | — | — | — | 33% | 33% | |
| 子育て短期支援事業(ショートステイ)の年間利用日数(延数) 〔大竹市子ども・子育て支援事業計画〕 | 目標値 | — | — | — | 14日 | 14日 | 14日 |
| | 実績値 | — | — | — | 14日 | 14日 | |
| 利用者支援事業の実施箇所 〔大竹市子ども・子育て支援事業計画〕 | 目標値 | — | — | — | — | — | 1力所 |
| | 実績値 | — | — | — | — | — | |
| ファミリーサポートセンター事業の年間利用日数(延数) 〔大竹市子ども・子育て支援事業計画〕 | 目標値 | — | — | — | — | — | 50日 |
| | 実績値 | — | — | — | — | — | |

2-④子育てしやすい環境の整備(小学生以降)

(2)こども医療費助成事業(再掲)(412)

| 指 標 | 基準値(H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 |
|------------------|----------|-----|-----|------|------|------|
| 医療費助成拡充対象者の申請勧奨率 | 目標値 | — | — | 100% | 100% | 100% |
| | 実績値 | — | — | 100% | 100% | 100% |

(3)放課後児童クラブの運営(412)

| 指 標 | 基準値(H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 |
|-----------------------|----------|-----|-----|-------|-------|-------|
| 放課後児童クラブにおける低学年の待機児童数 | 目標値 | — | — | 0人 | 0人 | 0人 |
| | 実績値 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 | 0人 |
| 放課後児童クラブメールシステムの登録率 | 目標値 | — | — | 95.0% | 95.0% | 95.0% |
| | 実績値 | — | — | 98.0% | 98.0% | 98.0% |

基本目標3 誰もが健康で生きがいをもち、安心して暮らせる地域を実現する

目標3-① 良好な市域の整備

施策1 良好な市域の整備



(1)小方地区のまちづくり事業 (221)

| 指 標 | 基準値(H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | |
|---|----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 小方地区の人口 ※ 対象地区:立戸1~4丁目, 御幸町, 御園1・2丁目, 御園台, 小方1・2丁目, 小方ヶ丘, 晴海1・2丁目, 黒川1~3丁目, 港町1・2丁目, 湯舟町, 三ツ石町, 阿多田, 小方町黒川 | 目標値 | — | — | 8,700人 | 8,750人 | 8,800人 | 9,000人 |
| | 実績値 | 8,475人 | 8,365人 | 8,227人 | 8,061人 | 7,905人 | |

(2)都市計画(都市計画に関する基本的な方針)の見直し (221)

| 指 標 | 基準値(H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 |
|----------------------|----------|-----|-----|-----|------|-----|
| 都市計画マスタープラン(見直し)の策定率 | 目標値 | — | — | — | 100% | |
| | 実績値 | — | — | — | 59% | |

施策2 雨水排水対策

(1)河川保全事業 (311)

| 指 標 | 基準値(H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | |
|------------------------|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 改善事業に着手した浸水対策対象地区数(累計) | 目標値 | — | — | 1地区 | 2地区 | 2地区 | 2地区 |
| | 実績値 | — | — | 1地区 | 1地区 | 1地区 | |

施策3 公共交通機関の整備促進

(1) 地域公共交通整備事業 (223)

| 指 標 | 基準値(H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | |
|--|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| こいこいバスと支線交通の利用者数 | 目標値 | — | — | 108,300人 | 156,000人 | 156,000人 | 156,000人 |
| | 実績値 | 103,822人 | 120,315人 | 153,927人 | 155,327人 | 149,643人 | |
| 大竹・栗谷線と坂上線の利用者数【H30変更】 ※ 大竹・栗谷線と坂上線は、利用者が減少傾向のため、目標値は基準値より低くなっています。 | 目標値 | — | — | 26,000人 | 26,000人 | 25,500人 | 25,000人 |
| | 実績値 | 26,935人 | 26,557人 | 25,641人 | 24,167人 | 23,230人 | |

(2) 玖波駅西口駅舎維持管理事業 (223)

| 指 標 | 基準値(H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | |
|-----------------|----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 玖波駅の乗車人数(1日あたり) | 目標値 | — | — | 1,866人 | 1,878人 | 1,889人 | 1,900人 |
| | 実績値 | 1,844人 | 1,845人 | 1,823人 | 1,798人 | 1,726人 | |
| 玖波・黒川地域の住宅新築戸数 | 目標値 | — | — | 5戸以上 | 5戸以上 | 5戸以上 | 5戸以上 |
| | 実績値 | 5戸 | 20戸 | 19戸 | 11戸 | 23戸 | |

(3) 大竹駅周辺整備事業 (223)

| 指 標 | 基準値(H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | |
|---|----------|-------|-------|------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 大竹駅の整備率 (事業費ベース) ※ 指標の数値は総合戦略策定時の見込値です。概算事業費の算定後、変更になる可能性があります。 | 目標値 | — | — | — | 20.2% | ※39.1% | |
| | 実績値 | 18.8% | 19.2% | 19.6% | 20.2% | 20.2% | |
| 大竹駅周辺エリアの転入・転居者数(累計) 対象地区:北栄, 西栄1・2・3丁目, 東栄1・2丁目, 南栄1・2・3丁目, 立戸4丁目, 新町1・2丁目, 油見3丁目 | 目標値 | — | — | 920人 (H27-28) | 1,320人 (H27-29) | 1,720人 (H27-30) | 2,100人 (H27-31) |
| | 実績値 | 413人 | 695人 | 1,158人 | 1,623人 | 2,154人 | |

施策4 公園・緑地の整備

(1)都市公園整備事業 (226)

| 指 標 | 基準値(H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 |
|-----------------------|----------|--------------------|--------------------|-------|-------|-------|
| 晴海臨海公園の整備率(面積)【H30変更】 | 目標値 | — | — | 31.3% | 33.8% | 49.0% |
| | 実績値 | 31.3% (I期工事完了時) | 31.3% (I期工事完了時) | 31.6% | 36.4% | 45.1% |

(2)公園緑地維持管理事業 (226)

| 指 標 | 基準値(H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 |
|-----------------------------------|----------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 公園施設の修繕・更新数(長寿命化計画に基づく優先順位に沿った整備) | 目標値 | — | — | 30件 | 30件 | 30件 |
| | 実績値 | 0件 | 14件 | 25件 | 28件 | 30件 |

施策5 環境美化の推進

(1)環境衛生・美化推進事業 (531)

| 指 標 | 基準値(H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | |
|--|----------|------|------|------|------|------|------|
| 市民花壇の設置箇所数(累計) (市民や市民団体などが管理する花壇の数) | 目標値 | — | — | 27カ所 | 28カ所 | 29カ所 | 30カ所 |
| | 実績値 | 24カ所 | 27カ所 | 33カ所 | 37カ所 | 39カ所 | |

施策6 環境の保全

(1)環境保全事業 (532)

| 指 標 | 基準値(H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | |
|------------------------------------|----------|---------|--------|---------|---------|---------|---------|
| 公害に関する苦情件数 | 目標値 | — | — | 33件 | 32件 | 31件 | 30件 |
| | 実績値 | 35件 | 27件 | 40件 | 41件 | 22件 | |
| 温室効果ガス排出量 (市の業務に関連した二酸化炭素等の排出量) | 目標値 | — | — | 10,250t | 10,150t | 10,050t | 10,000t |
| | 実績値 | 10,398t | 9,974t | 9,870t | 9,828t | 9,680t | |

(2)環境学習事業 (532)

| 指 標 | 基準値(H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | |
|----------------|----------|------|------|--------|--------|--------|--------|
| 環境学習会の参加者数(延数) | 目標値 | — | — | 420人 | 1,600人 | 2,200人 | 2,800人 |
| | 実績値 | 308人 | 668人 | 1,015人 | 2,285人 | 3,710人 | |

3-①良好な市域の整備・3-②良質な住宅・宅地の供給促進

施策7 交通安全対策の充実

(1)道路施設維持事業 (222)

| 指 標 | 基準値(H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 |
|--|----------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 歩道床版改修事業における整備対象箇所の数【H30変更】 (整備対象6路線のうち平成31年までに優先3路線を整備する。) | 目標値 | — | — | 1路線 | 2路線 | 2路線 |
| | 実績値 | 1路線 | 1路線 | 1路線 | 1路線 | 1路線 |

施策8 広域連携による効率的な行財政運営

(1)連携中枢都市圏制度の活用事業 (621)

| 指 標 | 基準値(H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 |
|--------------------------------|----------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 広島広域都市圏内における他の地方公共団体との連携協約締結状況 | 目標値 | — | — | 締結済 | 締結済 | 締結済 |
| | 実績値 | 未締結 | 締結済 | 締結済 | 締結済 | 締結済 |

目標3-② 良質な住宅・宅地の供給促進

施策1 良質な住宅・宅地の供給促進

(1)市営住宅整備事業 (225)

| 指 標 | 基準値(H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 |
|-----------------------|----------|-----|-----|-------|-------|-------|
| 市営御園団地整備事業の進捗率【H30追加】 | 目標値 | — | — | — | 86.0% | 95.0% |
| | 実績値 | 0% | 0% | 43.8% | 84.2% | 95.3% |

3-②良質な住宅・宅地の供給促進

(2)住宅改修等補助業務 (225)

| 指 標 | | 基準値(H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 |
|-------------------------------|-----|----------|-----|-----|-----|-----|-----|
| リフォーム補助事業の申請件数(年間) 【H30変更】 | 目標値 | — | — | 50件 | 37件 | 14件 | 14件 |
| | 実績値 | 24件 | 24件 | 19件 | 20件 | 14件 | |

(3)空き家対策業務 (225)

| 指 標 | | 基準値(H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 |
|-----------------------|-----|----------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 空き家バンク登録件数(累計)【H30変更】 | 目標値 | — | — | 2件 | 4件 | 5件 | 10件 |
| | 実績値 | 0件 | 0件 | 0件 | 0件 | 0件 | |

(4)市営住宅管理事業 (225)

| 指 標 | | 基準値(H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 |
|---------------|-----|----------|------|------|------|------|------|
| 市営木造平屋住宅の管理戸数 | 目標値 | — | — | 238戸 | 233戸 | 228戸 | 223戸 |
| | 実績値 | 287戸 | 243戸 | 239戸 | 233戸 | 218戸 | |

(5)道路施設新設, 改良事業 (222)

| 指 標 | | 基準値(H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 |
|---------------|-----|----------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 狭あい道路を改善した箇所数 | 目標値 | — | — | — | 2箇所 | 4箇所 | 6箇所 |
| | 実績値 | — | — | — | — | — | |

目標3-③ 高齢者が元気に暮らせる地域づくり

施策1 高齢者施策の充実

(1)介護保険地域支援事業(411)

| 指 標 | 基準値(H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | |
|--|----------|------|------|------|------|------|------|
| 現行の訪問介護相当実施率 (現行の訪問介護相当サービス実施事業者数/訪問介護事業所数) | 目標値 | — | — | — | 100% | 100% | 100% |
| | 実績値 | — | — | — | 100% | 100% | |
| 現行の通所介護相当実施率 (現行の通所介護相当サービス実施事業者数/通所介護事業所数) | 目標値 | — | — | — | 100% | 100% | 100% |
| | 実績値 | — | — | — | 100% | 100% | |
| 地域介護予防自主グループの設置数 | 目標値 | — | — | — | 5力所 | 10力所 | 10力所 |
| | 実績値 | — | — | — | 13力所 | 17力所 | |
| 地域ケア会議の開催件数(事例数) | 目標値 | — | — | 3件 | 4件 | 4件 | 5件 |
| | 実績値 | 1件 | 2件 | 2件 | 8件 | 5件 | |
| 認知症初期集中支援チームの訪問件数 | 目標値 | — | — | 15件 | 20件 | 25件 | 30件 |
| | 実績値 | 1件 | 19件 | 17件 | 10件 | 17件 | |
| 緊急通報システム登録者数 | 目標値 | — | — | 340人 | 350人 | 355人 | 360人 |
| | 実績値 | 327人 | 323人 | 314人 | 300人 | 253人 | |

(2)介護保険地域支援事業(包括的支援事業) <<(1)に統合したため削除>>

(3)介護保険地域支援事業(任意事業) <<(1)に統合したため削除>>

3-③高齢者が元気に暮らせる地域づくり

(4)シルバー人材センター活動促進事業 (411)

| 指 標 | 基準値(H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | |
|----------------|----------|------|------|------|------|------|------|
| シルバー人材センターの会員数 | 目標値 | — | — | 505人 | 520人 | 535人 | 550人 |
| | 実績値 | 499人 | 511人 | 505人 | 476人 | 493人 | |

(5)在宅老人対策事業 (411)

| 指 標 | 基準値(H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | |
|----------------|----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 単位老人クラブの会員数 | 目標値 | — | — | 1,580人 | 1,585人 | 1,590人 | 1,600人 |
| | 実績値 | 1,572人 | 1,414人 | 1,328人 | 1,284人 | 1,210人 | |
| 単位老人クラブ数 | 目標値 | — | — | 48クラブ | 48クラブ | 48クラブ | 48クラブ |
| | 実績値 | — | 48クラブ | 43クラブ | 43クラブ | 43クラブ | |
| 敬老会の開催数【H30追加】 | 目標値 | — | — | — | — | 23カ所 | 23カ所 |
| | 実績値 | — | — | — | 17カ所 | 25カ所 | |
| 老人集会所設置数 | 目標値 | — | — | 40カ所 | 40カ所 | 40カ所 | 40カ所 |
| | 実績値 | — | 40カ所 | 40カ所 | 40カ所 | 40カ所 | |

施策2 地域福祉の推進

(1)地域福祉事業 (415)

| 指 標 | 基準値(H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | |
|-------------------|----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 民生委員・児童委員定数 | 目標値 | — | — | 68人 | 68人 | 68人 | 68人 |
| | 実績値 | 67人 | 67人 | 68人 | 68人 | 68人 | |
| 地域福祉活動支援員(協力員)の数 | 目標値 | — | — | — | — | 10人 | 20人 |
| | 実績値 | — | — | — | — | — | |
| 地域福祉支援システム情報の蓄積件数 | 目標値 | — | — | 1,400件 | 1,600件 | 1,800件 | 2,000件 |
| | 実績値 | 1,259件 | 1,300件 | 1,280件 | 1,960件 | 2,573件 | |

(2)地域福祉担い手育成事業 (415)

| 指 標 | 基準値(H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | |
|-------------------------------|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 地域デビュー応援講座の開講数 | 目標値 | — | — | — | 3回 | 3回 | 3回 |
| | 実績値 | — | — | — | 3回 | 5回 | |
| 地域デビュー応援事業の支援が決定した団体数 (累計) | 目標値 | — | — | 2団体 | 4団体 | 6団体 | 8団体 |
| | 実績値 | — | — | 2団体 | 4団体 | 6団体 | |

(3)地域福祉推進のための連携事業 <<(1)に統合したため【H28削除】>>

目標3-④ 地域力の向上

施策1 地域安全対策の充実

(1)地域安全対策事業 (312)

| 指 標 | 基準値(H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | |
|---------------------------------|----------|------|------|------|------|------|------|
| 青色回転灯パトロール実施車の登録車両台数 【H30変更】 | 目標値 | — | — | 17台 | 18台 | 9台 | 10台 |
| | 実績値 | 8台 | 8台 | 8台 | 8台 | 9台 | |
| 青色回転灯パトロール実施者証保持者数 【H30変更】 | 目標値 | — | — | 325人 | 350人 | 250人 | 260人 |
| | 実績値 | 216人 | 219人 | 230人 | 193人 | 269人 | |

施策2 消防力の強化

(1)消防団の強化 (322)

| 指 標 | 基準値(H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | |
|------------------------|----------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 消防団の資機材の更新計画達成率【H30変更】 | 目標値 | — | — | 80.0% | 85.0% | 87.0% | 92% |
| | 実績値 | 75.0% | 75.0% | 79.0% | 88.0% | 92.0% | |
| 消防団員の教育・研修受講率 | 目標値 | — | — | 25.0% | 28.0% | 30.0% | 33.0% |
| | 実績値 | — | 21.2% | 38.0% | 26.0% | 30.0% | |
| 消防団員の訓練参加者数(延数) | 目標値 | — | — | 1,300人 | 1,400人 | 1,500人 | 1,500人 |
| | 実績値 | — | 1,154人 | 1,341人 | 1,240人 | 1,255人 | |

施策3 災害・危機に強いまちづくり

(1)防災体制整備事業 (324)

| 指 標 | 基準値(H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | |
|---------------------------------------|----------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 食糧・日用品・避難場所等災害時の応援協定を締結している民間事業者数(累計) | 目標値 | — | — | 6事業者 | 7事業者 | 8事業者 | 9事業者 |
| | 実績値 | — | 5事業者 | 6事業者 | 6事業者 | 10事業者 | |
| 防災情報メールシステムの登録者数(累計) | 目標値 | — | — | 2,500人 | 4,000人 | 5,500人 | 7,000人 |
| | 実績値 | — | 1,400人 | 1,800人 | 2,300人 | 2,829人 | |
| 自主防災組織の加入率 | 目標値 | — | — | 65.0% | 70.0% | 75.0% | 80.0% |
| | 実績値 | 62.0% | 62.0% | 62.0% | 62.0% | 62.5% | |
| 要支援者を支援する人の割合 | 目標値 | — | — | 65.0% | 70.0% | 75.0% | 80.0% |
| | 実績値 | 50.0% | 50.0% | 50.0% | 50.0% | 50.0% | |
| 市と地域の連携による防災訓練・防災学習会・防災講演会等の実施件数 | 目標値 | — | — | 1件 | 2件 | 5件 | 5件 |
| | 実績値 | — | 1件 | 1件 | 5件 | 9件 | |

(2) 自主防災組織の育成指導事業 <<(1)に統合したため【H28削除】>>

(3) 避難行動要支援者支援事業 <<(1)に統合したため【H28削除】>>

(4)災害時の相互応援(給水) (324)

| 指 標 | 基準値(H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | |
|-----------|----------|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 災害訓練の実施回数 | 目標値 | — | — | 4回 | 4回 | 4回 | 4回 |
| | 実績値 | 4回 | 4回 | 4回 | 4回 | 2回 | |

施策4 救急・救助体制の充実

(1)救急・救助体制の充実 (323)

| 指 標 | 基準値(H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | |
|---------------------|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 普通救命講習修了証の保有率(対人口比) | 目標値 | — | — | 9.3% | 10.2% | 11.1% | 12.0% |
| | 実績値 | 7.5% | 8.2% | 8.3% | 9.0% | 10.2% | |
| 救急車への救急救命士の乗車率 | 目標値 | — | — | 99.0% | 100% | 100% | 100% |
| | 実績値 | 97.0% | 97.0% | 97.0% | 97.0% | 97.6% | |

施策5 医療体制の充実

(1)医療体制整備事業 (422)

| 指 標 | 基準値(H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 |
|--|----------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 救急医療体制に関する年間周知回数 (広報紙など) | 目標値 | — | — | 13回 | 14回 | 14回 |
| | 実績値 | 13回 | 13回 | 13回 | 13回 | 13回 |
| 休日診療所の数 | 目標値 | — | — | 1力所 | 1力所 | 1力所 |
| | 実績値 | 1力所 | 1力所 | 1力所 | 1力所 | 1力所 |
| 広島西二次保健医療圏域で、二次及び三次救急医療を担う医療機関数 ※ 広島西二次保健医療圏域(大竹市・廿日市市) | 目標値 | — | — | 2力所 | 2力所 | 2力所 |
| | 実績値 | — | 2力所 | 2力所 | 2力所 | 2力所 |
| 休日在宅当番医制を行う診療科目の数 | 目標値 | — | — | 2科目 | 2科目 | 2科目 |
| | 実績値 | — | 2科目 | 2科目 | 2科目 | 2科目 |
| へき地診療所の数 | 目標値 | — | — | 2力所 | 2力所 | 2力所 |
| | 実績値 | 2力所 | 2力所 | 2力所 | 2力所 | 2力所 |

(2)へき地医療体制 <<(1)へ統合のため【H28削除】>>

施策6 地域活動の促進

(1)地域活動の促進 (611)

| 指 標 | 基準値(H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | |
|--------------------------------|----------|-------------------|-------------------|-------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 集会所建設等補助金を活用して改修などをした自治会の数(累計) | 目標値 | — | — | 8自治会 (H25-H28) | 10自治会 (H25-H29) | 12自治会 (H25-H30) | 14自治会 (H25-H31) |
| | 実績値 | 2自治会 (H25-H26) | 6自治会 (H25-H27) | 8自治会 (H25-H28) | 8自治会 (H25-H29) | 19自治会 (H25-H30) | |

(2)コミュニティ活動の支援 (611)

| 指 標 | 基準値(H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | |
|-------------------------------|----------|------------------|------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 宝くじ助成事業で備品等を整備したコミュニティ団体数(累計) | 目標値 | — | — | 10団体 (H23-H28) | 12団体 (H23-H29) | 14団体 (H23-H30) | 16団体 (H23-H31) |
| | 実績値 | 6団体 (H23-H26) | 8団体 (H23-H27) | 9団体 (H23-H28) | 10団体 (H23-H29) | 12団体 (H23-H30) | |

施策7 市民主体のまちづくりの推進

(1)協働のまちづくり推進事業 (612)

| 指 標 | 基準値(H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | |
|--|----------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 新規に発足した団体数(累計) (スタート支援助成金の交付を受けた団体の累計数) | 目標値 | — | — | 19団体 (H19-H28) | 21団体 (H19-H29) | 23団体 (H19-H30) | 25団体 (H19-H31) |
| | 実績値 | 16団体 (H19-H26) | 17団体 (H19-H27) | 20団体 (H19-H28) | 25団体 (H19-H29) | 25団体 (H19-H30) | |
| 市民活動助成金の交付を受けた団体を対象とした情報交換会の開催数(累計) | 目標値 | — | — | 1回 (H28) | 1回 (H28-H29) | 2回 (H28-H30) | 2回 (H28-H31) |
| | 実績値 | — | — | 1回 (H28) | 1回 (H28-H29) | 2回 (H28-H30) | |

(2)協働のまちづくり推進事業 <<(1)に統合のため削除>>

目標3-⑤ 健康づくりの推進

施策1 健康づくりの推進と医療保険事業の安定化

(1)健康づくり推進事業 (421)

| 指 標 | 基準値(H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 |
|--|----------|-------|-------|---------|---------|----------------|
| 「生活習慣の改善に取り組んだり、健康診断や健康づくりに参加したりするなど、自分の健康管理に日頃から気を付けている」と回答した人の割合 〔大竹市民の幸せ感に関するアンケート(無作為抽出)〕 | 目標値 | — | — | 70.0%以上 | 70.0%以上 | 70.0%以上 |
| | 実績値 | 78.0% | 66.4% | 67.5% | 70.1% | 83.0% |
| 節目歯科健診の受診率【H30新規】 ※ 受診率は、40歳から70歳までの10歳刻みに達した方を対象とした受診者により算出 | 目標値 | — | — | — | 15.0% | 20.0% |
| | 実績値 | — | — | — | 16.2% | |
| 胃がん検診の受診率 ※ 受診率は、H28年度までは40歳から69歳、H29年度より50～69歳までの受診者により算出 ※H30年度より国保被保険者の受診率 | 目標値 | — | — | 5.0% | 10.0% | 15.0% |
| | 実績値 | 9.8% | 4.1% | 6.5% | 5.9% | 9.4% (速報値) |
| 肺がん検診の受診率 ※ 受診率は、40歳から69歳までの受診者により算出 ※H30年度より国保被保険者の受診率 | 目標値 | — | — | 8.0% | 10.0% | 15.0% |
| | 実績値 | 14.8% | 6.5% | 5.6% | 6.2% | 14.5% (速報値) |
| 大腸がん検診の受診率 ※ 受診率は、40歳から69歳までの受診者により算出 ※H30年度より国保被保険者の受診率 | 目標値 | — | — | 15.0% | 20.0% | 30.0% |
| | 実績値 | 31.6% | 11.9% | 11.3% | 11.9% | 26.9% (速報値) |
| 乳がん検診の受診率 ※ 受診率は、40歳から69歳までの受診者により算出 ※H30年度より国保被保険者の受診率 | 目標値 | — | — | 25.0% | 30.0% | 35.0% |
| | 実績値 | 35.9% | 19.0% | 18.4% | 17.1% | 26.3% (速報値) |
| 子宮頸がん検診の受診率 ※ 受診率は、20歳から69歳までの受診者により算出 ※H30年度より国保被保険者の受診率 | 目標値 | — | — | 25.0% | 30.0% | 35.0% |
| | 実績値 | 36.1% | 20.3% | 19.6% | 18.9% | 23.9% (速報値) |

3-⑤健康づくりの推進

| 指 標 | 基準値(H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | |
|-------------|----------|-------|--------|--------|--------|-----------------|--------|
| 特定健康診査の受診者数 | 目標値 | — | — | 1,850人 | 2,250人 | 2,250人 | 2,250人 |
| | 実績値 | — | 1,454人 | 1,731人 | 1,721人 | 1,578人 (速報値) | |
| 特定保健指導の実施率 | 目標値 | — | — | 54.0% | 60.0% | 60.0% | 60.0% |
| | 実績値 | 31.3% | 57.4% | 20.9% | 51.9% | 41.9% (速報値) | |

(2) 特定健康診査等事業, 健康づくり事業 <<(1)に統合のため【H28削除】>>

施策2 食育の推進

(1) 食育推進事業 (513)

| 指 標 | 基準値(H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | |
|---------------------|----------|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 広報紙への掲載回数 | 目標値 | — | — | 1回 | 3回 | 3回 | 3回 |
| | 実績値 | 0回 | 3回 | 2回 | 2回 | 2回 | |
| 離乳食講座(もぐぱくひろば)の参加組数 | 目標値 | — | — | 85組 | 90組 | 95組 | 100組 |
| | 実績値 | — | 72組 | 81組 | 60組 | 71組 | |

3-⑥文化やスポーツに親しみ、趣味や人間関係を広げる

目標3-⑥ 文化やスポーツに親しみ、趣味や人間関係を広げる

施策1 社会教育の推進

(1)社会教育推進事業 (114)

| 指 標 | 基準値(H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | |
|-----------------------------------|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 地域の課題などの解決を目的とした講座数 | 目標値 | — | — | 8講座 | 9講座 | 10講座 | 10講座 |
| | 実績値 | 7講座 | 9講座 | 12講座 | 13講座 | 16講座 | |
| 公民館等で開催する講座数 (社会教育・生涯学習に関する講座) | 目標値 | — | — | 100講座 | 100講座 | 100講座 | 100講座 |
| | 実績値 | 101講座 | 100講座 | 103講座 | 83講座 | 102講座 | |

施策2 生涯学習の充実

(1)生涯学習推進事業 (511)

| 指 標 | 基準値(H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | |
|-----------------------------|----------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 公民館まつり・総合市民会館まつりの展示・発表グループ数 | 目標値 | — | — | 120グループ | 120グループ | 120グループ | 120グループ |
| | 実績値 | 140グループ | 126グループ | 116グループ | 118グループ | 123グループ | |
| 市民1人あたりの図書貸出冊数 | 目標値 | — | — | 4.9冊 | 4.9冊 | 5.0冊 | 5.0冊 |
| | 実績値 | 4.9冊 | 4.4冊 | 4.6冊 | 4.5冊 | 4.4冊 | |

3-⑥文化やスポーツに親しみ、趣味や人間関係を広げる

施策3 スポーツの推進

(1)スポーツ推進事業 (512)

| 指 標 | 基準値(H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | |
|----------------------|----------|------|------|------|------|------|------|
| スポーツ教室への子どもの参加者数(延数) | 目標値 | — | — | 190人 | 230人 | 260人 | 300人 |
| | 実績値 | 119人 | 203人 | 205人 | 239人 | 345人 | |
| 市民参加型のニュースポーツ大会の開催数 | 目標値 | — | — | 3件 | 3件 | 3件 | 4件 |
| | 実績値 | 3件 | 3件 | 3件 | 3件 | 3件 | |
| スポーツ推進委員の人数 | 目標値 | — | — | 19人 | 19人 | 20人 | 20人 |
| | 実績値 | 18人 | 18人 | 20人 | 20人 | 19人 | |

(2)スポーツ推進委員育成事業 <<(1)に統合のため【H28削除】>>

施策4 芸術・文化活動の推進

(1)文化祭等開催事業 (522)

| 指 標 | 基準値(H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | |
|-----------|----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 市文化祭の来場者数 | 目標値 | — | — | 3,200人 | 3,300人 | 3,400人 | 3,500人 |
| | 実績値 | 3,316人 | 3,069人 | 2,426人 | 3,385人 | 3,146人 | |

(2)文化財保存・継承事業 (521) 【H30新規】

| 指 標 | 基準値(H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 |
|----------------------------------|----------|------|------|------|------|------|
| 手すき和紙ボランティア活動への延べ参加者数 【H30追加】 | 目標値 | — | — | — | 290人 | 300人 |
| | 実績値 | 203人 | 356人 | 267人 | 445人 | 334人 |

目標3-⑦ 情報発信力の向上

施策1 積極的な情報発信

(1) 市政広報事業・観光事業 (215,623)

| 指 標 | | 基準値(H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 |
|---------------------------------------|-----|----------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 情報発信回数 (特に、定住促進・子育て支援・観光資源等に関するもの) | 目標値 | — | — | 12回 | 12回 | 12回 | 12回 |
| | 実績値 | — | 10回 | 12回 | 12回 | 12回 | |

(2) 情報公開促進事業(市議会) (623)

| 指 標 | | 基準値(H26) | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 |
|-------------------------------|-----|----------|-----|-----|-----|-----|-----|
| ケーブルテレビ・ホームページで発信する本会議・委員会の情報 | 目標値 | — | — | 5 | 6 | 7 | 7 |
| | 実績値 | 3 | 3 | 5 | 7 | 7 | |

問い合わせ先

大竹市総務部企画財政課企画係

電 話 : 0827 (59) 2125

F A X : 0827 (57) 7130

E- m a i l : kikaku@city.otake.hiroshima.jp